

朝鮮智異山植物目録

岡本省吾

Shōgo OKAMOTO

List of The Flowering Plants and
Ferns of The Mt. Chirii in Korea

目次

緒言	1	Ⅲ 植物目録	9
Ⅰ 智異山の位置, 地形, 地質, 気候の大要	2	Ⅳ 学名索引	163
Ⅱ 植生の概況	2	Ⅴ 和名索引	175

緒言

智異山は朝鮮半島の南部に存する最高峰で古くから南鮮の靈山として知られていた風光に富んだ山で、東京、京都、九州の3国立大学の演習林があつたところである。この山を初めに調査されたのは故中井博士で、博士は1913年(大正2年)朝鮮総督府の命によつて主として南面を踏査して1915年にその報告書が発行され、470種の植物が明らかにされた。その後約20年を経て当時九大に居られた初島住彦氏もこの南面を占める九大演習林内の植物を調査して、1934年に報告書を出し621種を発表している。私は1929年から1935年の間に4回京大演習林であつた主として北面について調査をなす機会を得、846種の多数を知り、その調査報告も出す筈であつたが諸事情のため遂に出版出来なかつたことは甚だ残念であつた。それ以後既に25年の歳月は流れ去り、且つ数年にわたる戦禍もあつて、智異山の植生も大分変化を來たしていることとは思うが、過去の記録として残して置くことは學術研究上非常に重要なものと考えるので当時の原稿では特に学名の変更が多いので種々改めて発表することにした。

この調査には武田久吉博士及び大井次三郎博士は共に親しく現地を歩いていただいたもので、標本の同定にも少なからず厄介になつた。殊に朝鮮植物の權威であつた故中井猛之進博士には終始標本の同定をわずらわし、又故小泉源一博士をはじめ現在京大に教鞭をとつて居られる北村・田川の両博士にもそれぞれ専門部門の植物について大変御厄介になつたもので、ここに厚く感謝する次第である。尚現地調査では当時の朝鮮演習林主任であつた山崎次男博士、山本吉之助氏に非常に御世話になつたことは勿論、当時この演習林に勤務していた半田史郎氏をはじめ多くの職員に随分厄介になつた。合せて厚く御礼申上げる次第である。

I 智異山の位置、地勢、地質、気候の概要

智異山は朝鮮唯一の霊山で、その最高峰（天王峯）は1915mで北緯約35°、東経約127°30′を略中心として東西に長く横たわる山塊である。そして本山彙は釜山で海に注ぐ洛東江と、慶南、全南の境、河東を過ぎて海に注ぐ蟾津江との源流地域で山は何れも急峻の所が多く主として片麻岩や花崗岩からなつて居り、基岩は諸所に露出して居つて非常に石礫に富む山である。従つて表土は一般に浅い。気候は冬期において割合凛烈であるが今5個の観測所の測定結果からその概要を知ることにした。これらの観測所のうち河東、光陽の2箇所は南面の山麓をややへだてた海岸に近い所だが他の3箇所は北面の智異山麓のものである。南面のもは共に海拔20m内外の平地であるが、北面の観測所は最も低い所が170mで最も高い所は455mである。従つて智異山に近い事と、ある程度の高度にあることとで智異山の気象を知るに最も適していると思われる。次にこれら観測所の観測結果の概要を示せば第1表の通りである。

第1表 智異山の気候

観測所		咸陽	雲峰	馬川	河東	光陽
位置	北緯	35°31′	35°27′	35°24′	35°04′	34°58′
	東経	127°43′	127°32′	127°40′	127°04′	127°35′
海拔高 m.		169	455	265	20	15
年平均気温		13.8	11.6	12.4	14.4	13.3
最高	平均	18.4	15.3	18.0	19.1	18.0
	極	7月 8月 35° 38°	7月 8月 30° 35°	7月 8月 37° 内外		7月 8月 30° 34°
最低	平均	6.4	4.9	7.9	9.7	9.1
	極	1月 2月 -13° -16°	1月 2月 -18° -24°	1月 2月 -13° -16°		1月 2月 -10° 内外
降水量 mm	年間	1280.2	2552.5	1914.3	2017.5	1423.8
	最月多及 の量	7~8月 250 内外 9, 6, 5の順	7~8月 300~700 6 = 9, 5これに次ぐ	7~8月 250~700 9, 6の順	6~8月 200~330 5, 9の順	7~8月 260~360 6, 9の順
初霜		10月上旬	9月下旬	10月中旬	10月中旬	10月下旬
終霜		5月上旬	5月上旬	4月下旬	3月上旬	3月下旬
初雪		11月上旬	11月上旬	11月上旬	12月下旬	11月上旬
終雪		3月下旬	3月下旬	3月下旬	3月上旬	3月下旬
主风向 の	夏 冬	東北 西	北 北西	南 西	南東 北西	南 北西

II 植生の概況

智異山は大体温帯であつて南部山足地帯に多少暖帯要素が入っているに過ぎない。頂上は冬期の凛烈な気象のため森林は存在しないが尚高山帯というには至らない。今海拔高によつてその植生状態を

見るに約 800m 以下の山麓地帯はアカマツによつて代表され、これにアベマキ林やシデ林が介在し、所々に草生地が見られる。多くは火田が発達し耕作が行われ地味は一般に瘠悪である。こうした下部の森林に普通見られるものはイヌシデ、アカシデ、アベマキ、ケヤキ、コナラ等でゲンカイツツジ、チョウセンヤマツツジ、ナツハゼ、チョウセンキハギ、ミヤマハギ等の低木類が多く、草地や路傍にはトダンバ、オガルガヤ、ウシノケグサ、ススキ等のイネ科植物が多い。又疎林地にはネズミサシ、ナラガシワ、カシワ、マメナシ、アキグミ、イヌザンショウ、コゴメウツギ、サルトリイバラ、ズミ、ハルニレ、チョウセンイヌガヤ、クズ、アオツヅラフジ、オミナエシ、オトコエシ、センボンヤリ、オトコヨモギ、イヌヨモギ、アブラガヤ、オカトラノオ、メドハギ、ヒメハギ、クララ、イワギク、スズサイコ、アリノトウグサ、ヤハズソウ、ヒカゲスゲ、オケラ、シラヤマギク、アツモリソウ、ヤマボクチ、ノガリヤス、アキカラマツ、タチシオデ、アカヒメユリ、イヌハギ、キバナノカワラマツバ、チョウセンニワフジ等が見られる。

アベマキ林やシデ林は地況に支配されること多く各所にあられるが、火災跡地には良く小面積のアベマキ林が成立し、岩礫の累積するような地域にはシデ林の成立する場合が多い。次に臥雲谷下部のコナラ及びアベマキを主とする森林と碧松寺下のシデ林の形相を樹高階別本数配分表で示せば第 2 表及び第 3 表の通りである。

このようにシデ類を主とする森林にあられる主な植物は高木類ではイタヤカエデ、ケヤキ、コナラ等が多く、小高木のハクウンボク、エゴノキ、カナクギノキ、エノキ、クマノミズキ、チョウセントネリコ、クリ、チョウセンハウチワカエデ等がこれにつぎ、低木類ではダンコウバイが最も多く、ミツバウツギ、ムラサキシキブ、イヌザンショウ、チョウセンバイカウツギ等が良く目につく、草本ではスズビトハギ、サツマスゲ、アオスゲ、ウスギトリカブト、ヤブレガサ、トリアシショウマ、オオアブラススキ、イヌヨモギ、ミズヒキグサ、タニガワスゲ、フジカンゾウ、ヒヨドリバナ、ツルニンジシ、チジミザサ、オオチゴユリ、ササバギンラン、ミチシバ等が多い。

中腹の森林は大体チョウセンミズナラで代表出来る。この森林は海拔約 800~1300m の間に見られるが特に 1000~1200m 付近に最も優勢を示すものであつて地況によつては 500m 付近まで下り、又 1600m 付近に上昇していることもある。このように智異山の中腹を占めるチョウセンミズナラ林は最も面積が広く、その材積も又第 1 位であるが谷間や大岩石の多い地況ではヤチダモ、カエデ類、ミズキ等を混ざる森林になつている。今説明の便宜上次の 2 つに分けて述べることとする。

- 1 ヤチダモ、カエデ類、シデ類、ナラ類等の森林。
- 2 チョウセンミズナラ林。

1 ヤチダモ、カエデ類、シデ類、ナラ類等の森林

この森林は下部と中部とを結ぶもので海拔 500~1200m 付近に見られるもので谷間では時に 1500m の高所に及ぶ所もある。トネリコ属 (*Fraxinus*) のうちチョウセントネリコは低所から中部の下方で優勢を示しているが、ヤチダモは中部で優勢を示している。カエデ属 (*Acer*) としてはチョウセンハウチワカエデ及びイタヤカエデが最も多く共に低部から上部の針葉樹林まで達し、チョウセンミネカエデは中部から上部にわたつて生ずるが特に上部に多く、マンシユウカエデ、チドリノキ、オガラバナ、ウスゲカエデはチョウセンミネカエデと同じく中部から上部の針葉樹林まで及んでいる。尚中部の 1000~1400m. 付近にはチョウセンウリハダカエデがまれにある。コナラ属 (*Quercus*) はチョウセンミズナラ及びコナラでカバノキ属 (*Betula*) ではオノオレ、チョウセンミネバリ等を生じ、やや高度を増せばダケカンバが見られる。又この森林に見られる針葉樹はチョウセンモミ、サイシユウモミ、チョウセンゴヨウ、アカマツ等で海拔 900~1000m 付近には下部から入つて来たチョウセンモミと下降したサイシユウモミとが相交錯して居りチョウセンゴヨウは低部にも良く見るが中部からやや上部にかけて優勢でサイシユウモミと共に重要な樹種で尾根通りの岩石地等には少量のアカマツが

第2表 臥雲谷下コナラ, アベマキを主とする森林 樹高階別本数配分表 (0.1 ha)

階層	樹種	樹高 m.										計
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	
高木層	コナラ	7	10	17	17	13	16	15	27	11	1	128
	アベマキ	1	2	5	2	5	4	15	7	1		42
	チョウセントネリコ	4	4	11	16	10	5	2				52
	イタヤカエデ	5	7	15	7	5						39
	アカシデ		2	5	12	3	1	3	1			27
	ハルニレ	2	2	6	2	1		1				14
	ケヤキ	6		3	2	1		1				13
	アムールシナノキ	5		5	2		1		1			14
	イヌエンジュ				4	2	3	1				10
	ヤマハシノキ				1		4	5				10
	クマノミズキ			1	2	1	1	1		1		7
	ヤマザク			2	1				1			4
小高木層	エゴノキ	3	7	16	18	11					55	
	ハクウンボク		6	8	10	3					27	
	アオダモ	8	4	6	4						22	
	ナツツバキ	5		3	2	4					14	
	チョウセンハウチワカエデ		6	4	1	1					12	
	カナクギノキ	8					1				9	
	ミズキ						1				1	
オノオレ				1						1		
低木層	ダンコウバイ	13	30	19	4						66	
	ムラサキシキブ	71									71	
	コマユミ	17	1								18	
	ツノハシバミ	4	3	3	3						13	
	コウライウツギ	9									9	
	チョウセンイヌガヤ	4									4	
	アズキナシ	3		1	1						5	
	アワブキ	2			1						3	
	ヤママダラ	2	1								3	
	サワフタギ		4								4	
	バイカウツギ	2	1								3	
	サワシバ			1							1	
	ケナシアオハダ			1							1	
	イヌザンショウ		1								1	
	サンショウ	1									1	
	ウリノキ	1									1	
	アカマツ	1									1	
蔓	ク	ズ	1								1	
計	38種	185	91	137	110	66	35	39	30	13	1	707

備考 次の草本があつた。シベリアコンギク, カワミドリ, ダイモンジソウ, Arisaema sp.

第3表 碧松寺下ンデ林 樹高階別本数配分表 (2×60m.)

階層	樹種	3m.以下	10m.	15m.	20m.	25m.	計
高木層	アベマキ	3				2	5
	イヌシデ	65	1	1	1		68
	ケヤキ	22	1	1			24
	イタヤカエデ	33	1				34
	エノキ	7	1				8
低木層	ダンコウバイ	62					62
	ハクウンボク	14					14
	ミツバウツギ	7					7
	ムラサキシキブ	7					7
	マンシュウウ	7					7
	フシノハアワブキ	6					6
	ニシキギ	5					5
	キハダ	5					5
	チュウセンバイカウツギ	3					3
	エゴノキ	3					3
	ウリノキ	3					3
	イヌザンショウ	2					2
	カナクギノキ	2					2
	クサギ	2					2
	アカシデ	2					2
	ヤマコウバシ	2					2
	タラノキ	1					1
	キハダ	1					1
コマユミ	1					1	
ノイバラ	1					1	
ケンボナシ	1					1	
ツノハシバミ	1					1	
蔓	サルトリイバラ	3					3
	ノブドウ	3					3
	ツルウメモドキ	2					2
	マタタビ	1					1
	サルナシ	1					1
計	32種	278	4	2	1	2	287

備考 アベマキは 胸高直径 40~100cm.
 イヌシデは ク 13~30cm.
 ケヤキは ク 14~60cm.
 イタヤカエデは ク 12~14cm.
 エノキは ク 16cm.

見られる。

これらの森林を構成する高木はミズキ、クマノミズキ、チュウセンミズキ、ヤマハンノキ、アムールシナノキ、キハダ、チュウセンヤマザクラ、カライヌエンジュ、クリ、イヌシデ、アカシデ等で小高木としてはカナクギノキ、ハクウンボク、ホソバアオダモ、ハリギリ等を生まれにコハクウンボクがある。低木類にはダンコウバイ、サワフタギ、マンシュウウハシドイ(下方)、チュウセンハ

シドイ（上方）、ツノハシバミ、チョウセンキハギ、マルバハギ、ウリノキ、イワウツギ、チョウセンウツギ、トウウツギ、コウライウツギ、コウライスズタケ、サワアジサイ、クロフネツツジ、ゲンカイツツジ、オオヤマレンゲ、チョウセンバイカウツギ、ザリコミ、モミジスグリ、コゴメシモツケ、ナツハゼ、ツリバナ、ヒロハツリバナ等が多い。又草本の主なものはワラビ、ヘビノネゴザ、オシダ、シラネワラビ、ミヤマノキンノブ、ジュウモンジシダ、ナンタイシダ、フクロシダ、ミヤマベニシダ、クサノオウバノヤクシソウ、ユキワリソウ、シロカネソウ、フウロソウの類、ジラヤマギク、アキノキリンソウ、カタクリ、タガネソウ、チイサントガネソウ、ツシマママコナ、チョウレイアザミ、ススキ、オオアブラススキ、ヒロハノドジョウツナギ、クサアジサイ、マルカメバヒキオコシ、トリアシショウマ、チョウセンイワブキ、ダイモンジソウ、タニソバ、オクモミジハグマ、イヌヤマブキノウ等で蔓性のものではクロヅルが最も多く、サルナシ、ミヤママタタビ、チョウセンゴミシ等である。

2 チョウセンミズナラ林

この森林は海拔 1000~1300m 付近に最も優勢を示し純林を形成すること多く、かつ其の領域は本山麓中下部のアカマツ林について広く、蓄積や大径級の林木も多く比較的谷間に多いヤチダモ、トネリコヤチダモ、チョウセンミネバリ等と共に直径 70~80cm に及び且つ非常に美しい林相を呈する所が多い。従つてチョウセンミズナラは智異山の森林資源としては最も重要な樹種で交通発達の上は現在（1935）の薪炭材及び椎茸原木としてのみの利用が用材に好転するものと思われる。併しこうした美しい森林もその成因は大低山火によるもので火に強い樹皮を持つた本種が残つたのは当然であつて、こうした美しい純林内に入つて見ると、低木層にはチョウセンキハギ、ミヤマハギ等のハギ類が最も多く、これについてタンナサワフタギが多い。しかし成林後相当長年月にわたつて火災の厄にかからぬ林分ではアムールシナノキ、ダケカンバ、チョウセンミネバリ、イタヤカエデ、チョウセンハウチワカエデ、ホソバアオダモ等を混じ、又サイシュウモミ、チョウセンゴヨウ等の針葉樹を生ずるようになる。かような林分ではこれ等針葉樹の稚樹が良く発生して近き将来には針葉樹林に遷移するもの如く感じられる。又このような森林内に見られる草本はオオホタルサイコ、シオガマギク、ムカエバシオガマギク、オクモミジハグマ、エゾマンテマ、マルカメバヒキオコシ、イワギク、シラヤマギク、クサノオウバノヤクシソウ、アキノキリンソウ、オシダ、シラネワラビ、ナンタイシダ、ホソイノデ等でやや上部にはチョウセンナツユキソウ、ヒガノコソウ、チイサントリカブト、モリトリカブト等がある。

中腹を過ぎて海拔約 1300m 以上となれば針葉樹林があらわれてくる。最も多い樹種はサイシュウモミでこれにエゾマツがつぎ広葉樹としてはダケカンバが優勢で

- 1 サイシュウモミとダケカンバの森林
- 2 サイシュウモミとエゾマツの森林

が見られ、時に美しい草原（細石付近）を出現して居る所もある。

1 サイシュウモミとダケカンバの森林

この森林は海拔 1300~1600m に発達して居り、チョウセンゴヨウ、エゾマツ、イチイ等の針葉樹をも多少混じている。広葉樹としては、チョウセンミネカエデ、アムールシナノキ、ミズキ、チョウセンミズナラ、エゾノコリンゴ、エゾノウワミズザクラ、チョウセンヤマザクラ、チョウセンハウチワカエデ、イタヤカエデ、ヤチダモ等が見られる。又この森林内の地況を見るに表土の深い所、浅い所、或いは岩石の累積する所等様々でそこに成立する植生も又自ら或る程度変つて居ることを知る。すなわち表土の深い所にはカエデ類、チョウセンミズナラ、エゾノコリンゴ、エゾノウワミズザクラ等が多く、針葉樹は少ないか或いはほとんどなく、地床植物にはエゾマンテマ、レイジンソウ、フウ

ロソウの類、ヒガノロソウ、チョウセンナツユキソウ等がある。表土の浅い所は深い所と出現する植物は大体同じであるが、その成長は悪く、累々とした岩石地ではオオヤマレンゲ、チョウセンザリコミ、チョウセンウツギ等の低木類が多く、これらの岩隙にはオシダ、ホソイノデ、ジュウモンジシダ、ホソバトウゲシバ等のシダ類を生ずる。

今この森林中に見られた主な植物をあげれば、アムールシナノキ、ミズキ、チョウセンミズナラ、エゾノコリンゴ、チョウセンミネカエデ、イタヤカエデ、ヤチダモ、エゾノウワミズザクラ、チョウセンヤマザクラ、チョウセンハウチワカエデ等の外ホソバアオダモ、キハダ、ナナカマド、チョウセンアサノハカエデ、ウスゲオガラバナ、マンジュウウリハダ、チョウセンハシドイ、ミヤマビヤクシン、クロフネツツジ、ゲンカイツツジ、オオヤマレンゲ、ツノハシバミ、ヤブクロウメモドキ、オオベニウツギ、チイサンウツギ、チョウセンウツギ、チョウセンザリコミ、ヒロハツリバナ、イトマユミ、コゴメシモツケ、チョウセンハリブキ、シロバナシヤクナゲ、コメツツジ、チョウセンウスノキ、ベニバナヒョウタンボク、ネムロブシダマ、オオバメギ、チイサンウコギ、タンナヤナギ等でミヤマビヤクシンやコメツツジは峰通りの岩石地にのみ生えている。又蔓茎では、クロヅルが最も多くミヤママタタビ、これにつぎ地床植物としてはコンゴウソウ、マイヅルソウ、ヒメマイヅルソウ、エゾマンテマ、マルカメバヒキオコシ、オオホタルサイコ、オクモミジハグマ、チョウレイアザミ、ミヤマアキノノゲシ、ホクチアザミ、モクシラネアザミ、ヒメシラネアザミ、シラヤマギク、アキノキリンソウ、チイサントリカブト、モリトリカブト、フブキシヨウマ、ミヤマカラマツ、カラキンレイカ、シオガマギク、ムカエバシオガマギク、カタクリ、ツバメオモト、タチクルマユリ、アオチゴユリ、フサガヤ、コメガヤ、イブキスカボ、ヒロハノハネガヤ、ヤマヂスゲ、チョウセンカサスゲ、アオスゲ、イトスゲ、ハクトウスゲ、ミヤマイトスゲ、ホソバトウゲシバ、オシダ、ホソイノデ、シラネワラビ等を見、トウウチソウ、イワギク、カラキンレイカ、チョウセンイワキンバイ、チャボツメレンゲ、ウンゼンマンネングサ、ダイモンジソウ、チョウセンイワブキ等は岩石地や岩面に小群落をしている。

2 サイシュウモミとエゾマツの森林

海拔 1500~1600m 以上の急峻な岩石地に多く見られるものであるが、般若峰又は地藏堂上の様な緩斜面の山頂部にも亦良く成立するのを見る。そしてこの2種の混交歩合は下部ではサイシュウモミがやや多く、上部ではエゾマツがやや多い傾向を示して居り、少量のチョウセンマツもあれば岩面にミヤマビヤクシンの生ずるのも見られる。これら針葉樹林に侵入する広葉樹は主としてダケカンパで低木にはシロバナシヤクナゲ、チョウセンハリブキ、オオバメギ等があり、やや密林内にはほとんど広葉樹は見られないがマイヅルソウや可憐なカモメラン等を見ることが出来る。又疎林地には上記のダケカンパをはじめチョウセンミネカエデ、ナナカマド、ネムロブシダマ、クロフネツツジ、ゲンカイツツジ、オガラバナ、ベニバナヒョウタンボク、エゾノコリンゴ、チョウセンウスノキ等が生じ、まれにチョウセンミズナラ、ヤマハンノキ等を見る。これらの間にはツシマママコナ、チョウセンヤマラツキヨウ、チシマセンブリ、モリトリカブト、イワノガリヤス等も見られるが、こうした陽性の草本類は草生地での主要植物となる。

最後に草生地について少し述べる。この草生地は下部から上部にわたって各所に存在するが、その成因は下部のものは採草を目的としたものや火災によつて生じたものであるが中腹以上は主として火災によつて生じたものようである。ここでは下部のものを除き上部の草生地や低木群の状態についてのみ簡単に述べる。

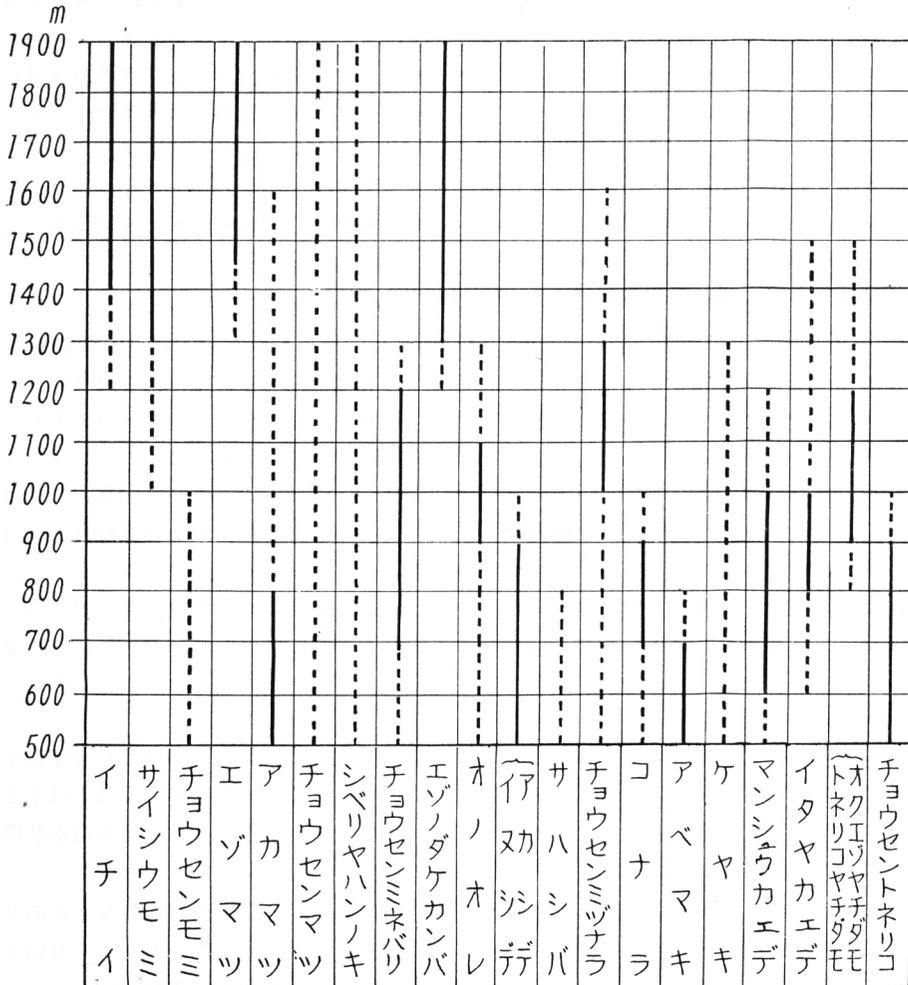
これら草生地は時に広い原野状(細石)を呈する所や樹林地の間に介在するものなどがあり、種々様々であるが瘠悪な地域では夏期でも尚丈低いイネ科やカヤツリグサ科の類を主とする貧弱な植生であるがやや地味の良い表土の深い所では、次に示すような種々の草本類が繁茂して夏期には身を没す

るような大形草本をも交え歩行すら困難を感じるような所もある。

かような草生地に見られる主な種類はノガリヤス、サイシュウノガリヤス、ヤマスカボ、コメガヤ、ヤマヂスゲ、チョウセンカササゲ、アオスゲ、ハクトウスゲ、ミヤマイトスゲ、イブキトラノオ、チイサントリカブト、エゾノヨロイグサ、オニカサモチ、マイヅルソウ、ショウジョウバカマ、オオシユロソウ、バイケイソウ、チョウセンヤマラッキョウ、チョウセンフウロ、チシマセンブリ、オオホタルサイコ、トウチソウ、タチコゴメグサ、ムラサキベンケイソウ、イワギク、シラヤマギク、オタカラコウ、シベリアコンギク、チョウレイアザミ、ハタザオ、ニッコウキスゲ等で低木群が散在するような所ではその間にカモメラン、コツマトリソウ、ワダソウ、ハクサンハタザオ(ツルタガラジ)等を見、やや湿気あるか、又は水流に沿う処にはアイヌワサビ、バイケイソウ、ミヤマリュウキンカ、オタカラコウ等の生ずるを見る。

低木群を構成する主なものはクロフネツツジ及びゲンカイツツジの2種でキバナヒョウタンボク、ベニバナヒョウタンボク、カンボク、タンナヤナギ、ヤブクロウメモドキ、オオベニウツギ、チョウセンウスノキ等が多く、又チョウセンミネカエデ、エゾノコリンゴ、ダケカンバ等の低木状をなすものも多く智異山頂上及び般若峰頂上付近では低木状のダケカンバ多く葉も小さくなりその一型チャボ

智異山北面に於ける有用樹木の垂直的分布



エゾノダケカンバ、トネリコヤチダモ、オクエゾヤチダモに改む。
 サイシウモミ、サイシウモミ、シベリアハンノキ、ヤマハンノキ

ダケカンバとして知られている。蔓茎類ではクロヅル多く山嶺部では蔓状とならず 1m 内外の低木状となるものが多い。これら低木群は草生地に散在する場合や密に相接続する場合等があつて後者の場合は身を没する程度の処多く、それに点々エゾマツ、サイシュウモミ、チョウセンゴヨウ等の針葉樹の侵入を見、又広葉樹の抜きいずるものを見ることもある。かように密生する低木群ではその間にほとんど草本の生ずる余地を与えないがそれでも少数の草本を見る。

次に智異山における有用樹木の垂直的分布の状態を示せば前頁の通りで、実線部は多く点線部は少ないことを意味する。

III 植 物 目 録

PTERIDOPHYTA シダ植物

LYCOPODIACEAE ヒカゲノカズラ科

Lycopodium L. ヒカゲノカズラ属

- | | |
|---|---|
| 1 | { 茎は長く葡萄する……………ヒカゲノカズラ
{ 茎は斜上または直立する…………… 2 |
| 2 | |
| 3 | { 葉は披針形あるいは長楕円状披針形、鋸歯縁……………ホソバトウゲシバ
{ 葉は線形、全縁……………ヒメスギラン |

Lycopodium chinense Christ—Tagawa, J. P. 8 (1959).

ヒメスギラン. 中腹の針広混交林内の岩面などにまれに生ず。

採集地. 般若峰。 分布. 樺一九, 朝, 満。

Lycopodium clavatum L. var. *nipponicum* Nakai, B. M. T. 39 : 197 (1925)—Ohwi, F. J. P. 10 (1957)—Tagawa, J. P. 12 (1959).

ヒカゲノカズラ. 中腹の広葉樹林内にまれに生ず。

採集地. 臥雲。 分布. 樺一台, 朝, 満。

Lycopodium obscurum L.—Ohwi, F. J. P. 10 (1957)—Tagawa, J. P. 13 (1957).

マンネンズギ. タチマンネンズギ. 中腹の針広混交林内にまれに生ず。

採集地. 地藏堂北面。 分布. 樺一琉, 朝, 満, 北米。

Lycopodium serratum Thunb. var. *serratum*—Tagawa, J. P. 10 (1959).

ホソバトウゲシバ. 中腹以上の森林内にまれに生ず。

採集地. 上峰谷, セコル山, 馬巖一天王峰, 般若峰, 細石。

分布. 樺一台, 朝, 満, 中国, ハワイ。

SELAGINELLACEAE イワヒバ科

Selaginella Beauv. イワヒバ属

Selaginella rossi Warburg.—Nakai, Fl. Kor. II, 424 (1911)—Hatusima, Rep. Fl. Nansen Exp. Forest, 37 (1934).

イワクラマゴケ. 海拔 1300 m 附近の岩面にまれに生ず。

分布. 朝, 満, 中国。

EQUISETACEAE トクサ科

Equisetum L. トクサ属

Equisetum arvense L.—Nakai, Fl. Kor. II, 421 (1911)—Tagawa, J. P. 23 (1957).

スギナ. 下部路傍, 耕地等に普通。

採集地. 山德里, 白武洞, 咸陽。

分布. 樺一九, 朝, 満, 中国, アムール, カムチャッカ, ダフリア, シベリア, ヨーロッパ, 北米, 北アフリカ, カナリー島, ヒマラヤ。

OPHIOGLOSSACEAE ハナヤスリ科

Japonobotrychium Masam. ナツノハナワラビ属

Japonobotrychium virginianum Nishida—Tagawa, J. P. 30 (1959).

ナツノハナワラビ. 各部の森林内にまれに生ず。

採集地. 般若峰, 碧松寺。

分布. 北一九, 朝, 満。

Sceptridium Lyon オオハナワラビ属

Sceptridium ternatum Lyon—Tagawa, J. P. 27 (1959).

フユノハナワラビ. 下部林地に極めてまれに生ず。

採集地. 三丁里, 正嶺峠, 白武洞。 分布. 北一台, 朝, 満, ヒマラヤ, アルゼンチン。

備考. 上記2種の区別点は次の通りである。

{ 裸葉は大きく3角形, 径10~20cm, 4回羽裂, 終裂片は長楕円形, 鋭頭……………ナツノハナワラビ
 { 裸葉は小さく径10cm内外, 3~4回羽裂, 終裂片は長楕円形あるいは倒卵形, おおむね, 鈍頭
 { ……………フユノハナワラビ

OSMUNDACEAE ゼンマイ科

Osmunda L. ゼンマイ属

Osmunda japonica Thunb.—Tagawa, J. P. 34 (1959).

ゼンマイ. 下部草地にまれに生ず。

採集地. 浮雲里, 白武洞, 三峰山下部, 法華山, 浮雲峠, 雲峰。

分布. 北一台, 朝, 中国, ヒマラヤ。

Osmundastrum Pr. ヤマドリゼンマイ属。

Osmundastrum cinnamomeum Pr. var. *fokiense* Tagawa, J. P. 35 (1959).

ヤマドリゼンマイ. 株生のやや大形シダで中腹以上の湿性草地にまれに生ず。

採集地. 霊源嶺, 般若峰, 地藏堂北面, 浮雲峠, 城山(五峰), ウンボンモデミ。

分布. 樺一九, 朝, 満, 中国, アムール, ウスリー, アメリカ。

HYMENOPHYLLACEAE コケシノブ科

Gonocormus v. d. Bosch. ウチワゴケ属

Gonocormus minutus v. d. Bosch.—Tagawa, J. P. 44 (1959).

ウチワゴケ. 中腹の広葉樹林内の岩面にまれに生ず。

採集地. 臥雲。

分布. 北一台, 朝, 満, 中国, 熱帯アジア, マダカスカル, アフリカ。

Mecodium Copel. ホソバコケシノブ属

- 葉は3~4回羽裂, 裂片はせまい……………コケシノブ
 葉は1~2回羽裂, 全形やや小……………ホソバコケシノブ

Mecodium polyanthos (Sw.) Copel.—Tagawa, Index Pterid. Jap. 42, (1959).

ホソバコケシノブ. 中腹以上の森林内の岩面に着生する。コウライコケシノブ (*Hymenophyllum coreanum* Nakai) は本種のいじけた形である由。

採集地. 般若峰, 白武洞。 分布. 本一九, 朝鮮。

Mecodium wrightii Copel.—Ohwi, F. J. P. 26 (1957)—Tagawa, J. P. 42 (1959).

コケシノブ. 中腹以下の岩面についている。

採集地. 上峰谷。 分布. 北一九, 朝。

PTERIDACEAE イノモトソウ科

Dennstaedtia Moore コバノイシカグマ属

- 葉には一面に長い軟毛がある……………イヌシダ
 葉は無毛状だがルーベで見得るような小毛がまばらにある……………オウレンシダ

Dennstaedtia hirsuta Mett.—Tagawa, J. J. B. 14: 705 (1938)—J. P. 49 (1959).

イヌシダ. 人家附近の石垣または路傍の陽地にまれに生ず。

採集地. 浮雲峠, 臥雲谷, 白武洞。 分布. 北一台, 朝, 満, 中国, 東部シベリア。

Dennstaedtia wilfordii Koidz.—Tagawa, J. J. B. 13: 181 (1937)—J. P. 49 (1959).

オウレンシダ. 下部のやや湿潤な谷間や林内あるいは石垣の間等に生ず。

採集地. 蛇谷, 上峰谷, 三峰山, 九竜里—碧松寺, 悟道—馬川, 三丁里, 昌元里。

分布. 北一九, 朝, 満, 中国, 東部シベリア。

Pteridium Scopoli ワラビ属

Pteridium aquilinum Kuhn var. *latiusculum* Und.—Tagawa, A. P. G. 16: 23 (1955)—J. P. 55 (1959)—Ohwi, F. J. P. 37 (1957).

ワラビ. 各所の原野に生ず。

採集地. 法華山, 江安里。

分布. 本邦各地, 北半球に広く分布し北米からヨーロッパ, 東アジアでは中国南部から台湾まで南下している。

DAVALLIACEAE シノブ科

Davallia Smith シノブ属

Davallia mariesii Moore—Ohwi, F. J. P. 46 (1957)—Tagawa, J. P. 67 (1959).

シノブ. 中腹以下の樹木や岩面に着生する。

採集地. 碧松寺—艾嶺, 江清里, 三峰山。 分布. 本一九, 朝, 満, 中国北部。

ASPIDIACEAE オシダ科

Athyrium Roth メシダ属

- 1 { 中軸や羽軸(または羽片の中肋)の表面にある溝の両縁は羽片や小羽片の(または裂片の中肋)の分岐点で中断されている。多細胞の軟毛はない…………… 2
 { 上記の如く溝の両縁は中断されない。多細胞の軟毛がある…………… 8

- 2 { 葉は単羽状複生，羽片は羽状中一深裂またはやや全裂する……………3
 葉は2～3回羽状複生……………4
- 3 { 裂片の巾1.5～2mm，孢子囊群は小さく包膜は全縁である……………ヘビノネゴザ
 裂片の巾3～4mm，孢子囊群は大きく包膜は縁に不規則なギザギザがある……………イワイヌワラビ
- 4 { 羽片は無柄かまたはほとんど無柄……………5
 羽片に柄がある。短いものでも5mm位……………6
- 5 { 葉柄や中軸はやや紅紫色となる。包膜は全縁か多少のギザギザがある……………ヤマイヌワラビ
 葉柄や中軸は紅紫色をおびない。包膜は全縁，葉柄基部の鱗片は披針形から線形。
 ………………ヘビノネゴザ
- 6 { 鱗片は葉柄から中軸の下半部までつき下部のものは広披針形，裂片の巾はせまい。
 ………………ミヤマシダ
 鱗片は葉柄の下部だけにある。包膜はかぎ形や馬蹄形のものが多い……………7
- 7 { 根茎は斜上，羽片の柄はおおむね5mm以下。葉先きはあまりせまくなならない
 ………………ヤマイヌワラビ
 根茎ははう，羽片の柄は著しい。葉さきは急にせまくなつて尾状にのびる……………イヌワラビ
- 8 { 葉身の巾は通例5cm以下，羽片は羽状浅一中裂……………ホソバシケンダ
 葉身の巾は通例10cm以上，羽片は羽状中一深裂……………9
- 9 { 羽片は中一深裂，裂片は相接近する……………10
 羽片は深裂，裂片は多少間隔がある……………11
- 10 { 葉身の下部は著しくせまくなる。葉はかたまつて生える……………ミヤマシケンダ
 葉身の下部はほとんどせまくなならない。葉はばらついて出る。葉下面の脈上以外や
 包膜の表面は無毛である……………シケンダ
- 11 { 羽片の巾3～4cm，小羽片は羽状浅一中裂し側脈は羽状に分岐する……………オオメシケンダ
 羽片の巾1.5～2.5cm。小羽片は浅い鈍鋸歯縁，側脈は2岐し分かれぬものもある
 ………………コウライイヌワラビ

Athyrium conilii Tagawa, J. J. B. 14 : 104 (1938)—J. P. 130 (1959).

ホソバシケンダ。中腹以下の谷間の森林内に生ず。

採集地。馬川—白武洞，般若峰，臥雲，上峰谷，蛇谷。 分布。北—九，朝。

var. **oldhami** Tagawa, J. J. B. 14 : 104 (1938)—J. P. 130 (1959).

ヤブシダ。葉柄や中軸に鱗片も毛もほとんどない型だが中間形が多くて区別し難い。

Athyrium crenatum Rupr. var. **glabrum** Tagawa, A. P. G. 11 : 238 (1942)—J. P. 128 (1959).

ミヤマシダ。下部林地にまれに生ず。

採集地。臥雲谷。 分布。北，本，朝。

Athyrium henryi Diels—Tagawa, J. P. 131 (1959).

コウライイヌワラビ，下部の林地や林縁に生ず。

採集地。臥雲，セコル山，雲峰—徳頭山，上峰谷。 分布。本，九，朝，満。

Athyrium japonicum Copel.—Ohwi, F. J. P. 116 (1957)—Tagawa, J. P. 129 (1959).

シケンダ。下部谷間の陰地にまれに生ず。

採集地。悟道峠—馬川。 分布。本—琉，朝，中国，インドから熱帯アジア。

Athyrium nikkoense Makino, B. M. T. 17 : 43 (1903)—Ohwi, F. J. P. 122 (1957)—Tagawa, J. P. 123 (1959).

イワイヌワラビ。森林内の乾燥する岩上に生ず。

採集地. 三峰山上部。 分布. 北, 本, 朝。

Athyrium niponicum Hance—Ohwi, F. J. P. 122 (1957)—Tagawa, J. P. 125 (1959).

イヌワラビ. 下部の人家附近や谷間に生ず。

採集地. 臥雲, 昌元里, 登九峠, 江清里, 三峰山。

分布. 北—九, 台, 朝, 満, 中国。

Athyrium pterorachis Christ—Ohwi, F. J. P. 114 (1957)—Tagawa, J. P. 130 (1959).

オオメシダ. 中腹以上の広葉樹林内にまれに生ず。

分布. 千—九, 朝, 南満, 中国。

Athyrium pycnosorum Christ—Ohwi, F. J. P. 115 (1957)—Tagawa, J. P. 130 (1959).

ミヤマシケシダ. ハクモウイノデ. 下部谷間の森林内に生ず。

採集地. 蛇谷, 三丁里, 上峰谷, 五峰, 臥雲谷, 達宮。

分布. 樺—九, 台, 朝, 満, 中国。

Athyrium rubripes Kom.—Nakai, Bull. Nat. Sci, Mus. no. 27. 12 (1949)—Tagawa, A. P. G. 16 : 54 (1955).

コウライメシダ. 中腹以下の森林内に生ず。

採集地. 達宮, セコル山, 般若峰, 臥雲谷, 三丁里, 上峰谷, 白武洞奥, 地藏堂—白武洞, 三峰山, 細石—碧宮嶺, 蓮洞越, 碧松寺—艾嶺。 分布. 朝, 満。

Athyrium tashiroi Tagawa, A. P. G. 2 : 21 (1933)—J. P. 123 (1959).

ウスバヘビノネゴザ. 中腹の広葉樹林に普通生ず。

採集地. 般若峰, 白武洞, ウンボンモデミ, 臥雲, 三丁里。 分布. 九, 朝。

Athyrium vidalii Nakai, B. M. T. 39 : 110 (1925)—Ohwi, F. J. P. 122 (1959)—Tagawa, J. P. 124 (1959).

ヤマイヌワラビ. 中腹以下の谷間の森林に生ず。

採集地. 臥雲, セコル山。 分布. 北—九, 台, 朝, 中国。

Athyrium yokoscense Christ—Nakai, Fl. Kor. II. 403 (1911)—Ohwi, F. J. P. 120 (1957)—Tagawa, J. P. 123 (1959).

ヘビノネゴザ. 各所の林地に生ず。

採集地. 蛇谷, 雲峰, 般若峰, 正嶺峠, 臥雲, 法華山, 三丁里。

分布. 樺—九, 朝, 満, 中国, アムール。

Cornopteris Nakai シケチンダ属

Cornopteris coreana Nakai, B. M. T. 45 : 96 (1931).

コウライイッポンワラビ 中腹の森林内にまれに生ず。

採集地. 三丁里。 分布. 朝。

Dryopteris Adans オンダ属

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | { | 1 回羽裂, 羽片は線形, 羽状中裂, 下部のものは次第に小形となる。胞子は上部の羽片につき包膜は円腎形…………… タニヘゴ |
| | | 2 回羽裂, 葉柄は太く褐色鱗片を密生す…………… 2 |
| | | 3 回羽裂…………… 4 |
| 2 | { | 鱗片は褐色, 胞子は上部の羽片にのみ生ず。胞子を生じない葉の下面は帯白色を呈す…………… クマワラビ |
| | | 鱗片は褐色又は黒褐色, 全形やや大, 葉の下面は淡緑色, 胞子を生ずる羽片は他のものと同形である…………… 3 |

- 3 { 中軸には暗褐色の毛及び鱗片を密生する。羽片は密，終裂片は鋸齒縁，鈍端……………オンダ
 { 中軸には淡褐色の毛及び鱗片を生ずる。羽片はやや疎……………ミヤマベニシダ
- 4 { 葉柄の鱗片は漆黒色又は黒褐色，披針形又は広披針形……………5
 { 葉柄の鱗片は褐色で密生する。葉は卵状楕円形或は長楕円形……………シラネワラビ
- 5 { 中軸，葉柄等の鱗片は線形又は披針形で密生する……………ナンカイイタチシダ
 { 鱗片は散生，羽片の終裂片は狭い……………ホソバイタチシダ

Dryopteris austriaca Woyner, — Kitagawa, Cont. Cogn. Fl. Mansh. 58 (1935) — Ohwi, F. J. P. 79 (1957) — Tagawa, J. P. 98 (1959).

シラネワラビ. ナガバノシラネワラビ. 中腹以上の森林内各所に多く生ず。

採集地. 上峰谷，般若峰，艾嶺—馬巖，臥雲，細石，白武洞。

分布. 樺一九，朝，満，中国，北半球の温帯。

Dryopteris chinensis Koidz., Fl. Symb. Or.-Asia, 39 (1930) — A. P. G. 4 : 96 (1935) — Ohwi, F. J. P. 89 (1957) — Tagawa, J. P. 99 (1959).

ミサキカグマ. ホソバノイタチシダ. 中腹以下の森林内に生ず。

採集地. 上峰谷，三峰山，達宮，雲峰—山德里，蓮洞越。 分布. 北一九，朝，中国。

Dryopteris crassirhizoma Nakai — Tagawa, A. P. G. 16 : 48 (1955) — J. P. 95 (1959).

オンダ. 中腹以上の森林内に生ず。

採集地. 三峰山，地藏堂—細石，馬巖—天王峰，達宮，般若峰，臥雲，碧松寺—艾嶺。

分布. 千—四，朝，満，アムール。

Dryopteris lacera O. Kuntze — Nakai, Fl. Kor. II. 391 (1911) — Ohwi, F. J. P. 81 (1957) — Tagawa, J. P. 96 (1959).

クマワラビ. キレコミクマワラビ. 下部人家附近の陽地にまれに生ず。

採集地. 水落，昌元里。 分布. 本一九，朝，中国。

Dryopteris monticola C. Chr. — Nakai, Fl. Kor. II. 389 (1911) — Ohwi, F. J. P. 82 (1957) — Tagawa, J. P. 94 (1959).

ミヤマベニシダ. 中腹の広葉樹林内にまれに生ず。

採集地. 臥雲，五峰。 分布. 樺—四，朝，満。

Dryopteris tokyoensis C. Chr. — Nakai, Fl. Kor. II. 393 (1911) — Ohwi, F. J. P. 82 (1957) — Tagawa, J. P. 94 (1959).

タニヘゴ. 南面では知られているが北面には見当らない。

分布. 北一九，朝。

Dryopteris varia O. Kuntze — Kitagawa, Cont. Cog. Fl. Mansh. 55 (1953) — H. Ito, Fil. Jap. t. 246 (1944) — Tagawa, A. P. G. 8 ; 25 (1939) — J. P. 100 (1959).

ナンカイイタチシダ. 下部森林内に生ず。

採集地. 達宮，五峰，臥雲谷，三峰山，白武洞，上峰谷。

分布. 本—台，朝，満，中国，印度。

Lastrea Bory オオバシヨリマ属

{ 葉柄は着色，滑沢，鱗片は疎生，羽片の脈は分岐しない。包膜は円腎形で宿存する。

{ ……………ハリガネワラビ

{ 葉柄はワラ色，平滑，羽片の脈はおおむね2叉す。包膜は円腎形，落ちやすい……………ヒメシダ

Lastrea japonica Copel. — Ohwi, F. J. P. 98 (1957) — Tagawa, J. P. 110 (1959).

ハリガネワラビ. 中腹以下の谷間の林内に生ず。

採集地. 三峰山, 上峰谷, 臥雲谷。 分布. 北一九, 台, 朝, 中国。

Lastrea thelypteris Boby—Ohwi, F. J. P. 97 (1957)—Tagawa, J. P. 111 (1959).

ヒメシダ. 下部の湿潤な原野に生ず。

採集地. 三峰山, 雲峰—山德里, 馬川—白武洞。

分布. 樺一四, 朝, 満, 中国, シベリア, ヨーロッパ, 北米等世界に広く分布する。

Matteuccia Todaro クサソテツ属

Matteuccia orientalis Trev.—Nakai, Fl. Kor. II. 387 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 22 (1915)—Ohwi, F. J. P. 54 (1957)—Tagawa, J. P. 74 (1959).

イヌガンソク. 中腹以下の原野に生ず。

採集地. 三峰山, 三丁里, 臥雲—般若峰, 上峰谷。

分布. 千一九, 朝, 満, 中国, ヒマラヤ。

Onoclea L. コウヤワラビ属

Onoclea sensibilis L. var. interrupta Maxim.—Kitagawa, Fl. Mansh. 52 (1935)—H. Ito, Fil. Jap. t. 94 (1944)—Tagawa, J. P. 75 (1959).

コウヤワラビ. センマイワラビ. 下部林地, 路傍等にまれに生ず。

採集地. 悟道峠, 三峰山下部。

分布. 樺一九, 朝, 満, シベリア。

Phegopteris Fée ミヤマワラビ属

根茎は長くは葉はまばらに出る。葉柄は針金状で長い。葉面は3角状卵形, 最下羽片が

一番長い……………ミヤマワラビ

根茎は短かい。葉は集つて出る。葉柄は短かく葉面は狭披針形。下部羽片はやや短くなる。

……………ゲジゲジシダ

Phegopteris decursive-pinnata Fée—H. Itō, Pol.-Dry. 153 (1939)—Tagawa, A. P. G. 14: 192 (1952)—J. P. 107 (1959).

ゲジゲジシダ. 下部路傍にまれに生ず。

採集地. 三峰山下部。

分布. 本一台, 朝, 中国, 北印度。

Phegopteris polypodioides Fée—H. Itō, Pol.-Dry. 151 (1939)—Tagawa, J. P. 107 (1959).

ミヤマワラビ. 中腹以上の森林内に生ず。

採集地. 天王峰, 細石, 般若峰, 上峰谷, 馬嶽—天王峰。

分布. 樺一九, 朝, 満, アムール, カムチャッカ, シベリア, 小アジア, コーカサス, ヒマラヤ, ヨーロッパ, アメリカ北部。

Polystichum Roth. イノデ属

葉は最下部に側出する1対の羽片を有し, 羽軸には鱗片を散生す……………ジュウモンジシダ

葉は2回羽裂, 基部の羽片は小さくなる。羽軸は褐色鱗片を密生する……………ホソイノデ

Polystichum braunii Fée—Ohwi, F. J. P. 67 (1957)—Tagawa, J. P. 83 (1959).

ホソイノデ. 中腹以上の森林内に普通。

採集地. 細石—碧宵嶺, 地藏堂北面, 上峰谷, 臥雲谷, 般若峰, 達宮, 三丁里。

分布. 樺一本, 朝, 満, 中国, シベリア—ヨーロッパ, 北米。

Polystichum tripterum Pr.—Nakai, Fl. Kor. II. 399 (1911)—Ohwi, F. J. P. 62 (1957)—Tagawa, J. P. 79 (1959).

ジュウモンジシダ. 中腹の森林内に生ず。

採集地. 地藏堂—白武洞, 三峰山, 上峰谷, 臥雲谷, 般若峰。

分布. 樺一台, 朝, 満, 中国, ウスリー。

備考. 中井博士は智異山植物調査報告 p. 22 で *Polystichum aculeatum* Schott. var. *coraiense* Christ = *P. retroso-paleaceum* Tagawa var. *coraiense* Tagawa イワシロイノデの産することを報じているが筆者は発見することが出来なかつた。

Polystichopsis J. Sm. カナワラビ属

〔葉面はやや3角形或は卵状3角形で毛はない。3回羽状に中又は全裂する……………ナンタイシダ
葉面はやや5角状卵形, 表裏共に毛がある。4回羽状に中又は全裂する……………ナライシダ

Polystichopsis maximowiczii Tagawa, J. J. B. 33: 94 (1958)—J. P. 88 (1959).

ナンタイシダ. 中腹以上の森林内に生ず。

採集地. 上峰谷, 地藏堂—白武洞, 臥雲—般若峰, 馬巖—天王峰。

分布. 北, 本, 朝。

Polystichopsis miqueliana Tagawa, J. J. B. 33: 94 (1958)—J. P. 88 (1959).

ナライシダ. 下部林地にまれに生ず。

採集地. 臥雲, セコル山。 分布. 北—九, 朝, 中国。

Woodsia R. Br. イワデンダ属

〔葉は軟, 2回羽状深裂, 包膜は白色袋状で縁毛はない。葉柄には関節がない……………フクロシダ
葉は硬, 1回羽裂, 包膜は腕状で縁毛がある。葉柄の頂端に関節がある……………イワデンダ

Woodsia manchuriensis Hook.—Nakai, Fl. Kor. II. 386 (1911)—Ohwi, F. J. P. 56 (1957)
—Tagawa, J. P. 76 (1959).

フクロシダ. 各所に生ず。

採集地. 馬川—白武洞, 上峰谷, 正嶺峠, 臥雲, 馬巖—天王峰, ウンボンモデミ, 三峰山, 艾嶺。

分布. 北—九, 朝, 満, 中国, アムール, ウスリー。

Woodsia polystichoides Eat.—Ohwi, F. J. P. 56 (1957)—Tagawa, J. P. 76 (1959).

イワデンダ. 中腹以下の岩隙のようなところに生ず。

採集地. 三丁里, 白武洞, 九竜里—碧松寺, セコル山, 臥雲, 上峰谷, 馬川—白武洞, 扉峠。

分布. 樺一台, 朝, 満, 中国, アムール, ウスリー。

ASPLENIACEAE チャセンシダ科

Asplenium L. トラノオシダ属

Asplenium incisum Thunb.—Nakai, Fl. Kor. II. 407 (1911)—Tagawa, A. P. G. I: 160 (1932)—J. P. 149 (1959).

トラノオシダ. 下部路傍, 石垣の間等にまれに生ず。

採集地. 悟道峠, 江清里, 馬川—白武洞。 分布. 樺一台, 朝, 満, 中国, カムチャッカ。

POLYPODIACEAE ウラボシ科

Crypsinus Pr. ミツデウラボシ属

Crypsinus hastatus Copel.—Tagawa, A. P. G. 15: 142 (1954)—J. P. 164 (1959).

ミツデウラボシ. 下部の陽地又は岩面に生ず。

採集地. 三峰山下部。 分布. 北—台, 朝, 中国。

Lepisorus Ching ノキシノブ属

Lepisorus ussuriensis Ching var. *distans* Tagawa, A. P. G. 11: 236(1942)—J. P. 157(1959).

ミヤマノキシノブ. 中腹以上の樹幹や岩面に着生する。

採集地. ウンボンモデミ, 白武洞, 上峰谷, 三峰山, 地藏堂—白武洞。

分布. 千一九, 朝, 満, ウスリー。

Pyrosia Mirbel ヒトツバ属

Pyrosia linearifolia Ching—Ohwi, F. J. P. 151 (1957)—Tagawa, J. P. 160 (1959).

ヒロウドシダ. 下部の樹幹又は岩上に着生する。

採集地. 咸陽。 分布. 北一九, 朝, 満。

MARSILEACEAE テンジソウ科

Marsilea L. デンジソウ属

Marsilea quadrifolia L.—Nakai, Fl. Kor. II. 420 (1911)—Ohwi, F. J. P. 163 (1957)—
Tagawa, J. P. 170 (1959).

テンジソウ. 池沼中に生ず。

採集地. 山德里。

分布. 本一九, 朝, ヨーロッパから印度北部, アジア東部にわたつて分布する。

SALVINIACEAE サンショウモ科

Salvinia Adans. サンショウモ属

Salvinia natans All.—Nakai, Fl. Kor. II. 420 (1911)—Ohwi, F. J. P. 163 (1957)—
Tagawa, J. P. 171 (1959).

サンショウモ. 池沼, 水田等に生ず。

採集地. 雲峰。

分布. 本一九, 朝, ヨーロッパから印度北部, アジア東部にわたつて分布する。

SPERMATOPHYTA 種子植物

GYMNOSPERMAE 裸子植物

TAXACEAE イチイ科

Taxus L. イチイ属

Taxus cuspidata Sieb. et Zucc. ; Nakai, Fl. Kor. II. 384 (1911),—Veg. Mt. Chirisan. 23 (19
15)—Iwata & Kusaka, C. J. 86 (1954)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 38 (1959).

イチイ. 上部峯通りの森林にサイシュウモミと混生するか或はまれに小面積の純林を形成する。

採集地. 地藏堂北面, 地藏堂—細石, 馬巖—天王峰, 般若峰。

分布. 樺一九, 朝, 満, アムール。

CEPHALOTAXACEAE イヌガヤ科

Cephalotaxus Sieb. et Zucc. イヌガヤ属

Cephalotaxus koreana Nakai, B. M. T. 44 : 508 (1930).

チョウセンイヌガヤ. 常緑低木, 果実は紅熱しその汁液は美味である。下部の岩石の多い低木群や疎林地にはえる。

採集地. 三峰山, 高基里, 地藏堂—白武洞, 法華山。 分布. 朝。

PINACEAE マツ科

Abies Mill. モミ属

- { 葉は鋭頭, 毬果は緑色……………チョウセンモミ
 { 葉は先端2裂, 毬果は紫色……………サイシュウモミ

Abies holophylla Maxim. ; Nakai, Fl. Kor. II. 381 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 23 (1915)—Mori, E. P. C. 27 (1922)—Uyeki, Cor. Timb. Trees. 108 (1926).

チョウセンモミ. 下部森林内に生ず。

採集地. 霊源寺, 白武洞。 分布. 朝, 満。

Abies koreana Wils.—Mori, E. P. C. 27 (1922)—Uyeki, Cor. Timb. Trees. 117 (1926).

サイシュウモミ. 新条は僅か有毛, 葉は短, 先端2裂す。海拔 1500m. 附近以上の森林の主林木で尾根通りでは時に純林を形成する。下限は約900m. 附近でチョウセンモミの上限は此の附近である。

採集地. 上峰谷, 艾嶺—馬巖, 三丁里, 般若峰。 分布. 朝鮮南部。

備考. 中井博士は智異山植物調査報告でトウシラベ *Abies nephrolepis* Maxim. を記録するがサイシュウモミは記録されていない。これはおそらくサイシュウモミの間違いであろうと思う。

Picea A. Dietr. トウヒ属

Picea jezoensis Carr.—Uyeki, Cor. Timb. Trees. 92 (1926)—Iwata & Kusaka, 138 (1954)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 43 (1959).

エゾマツ. 上部の森林に生ずる常緑高木でサイシュウモミと混じているが, ときに小面積の純林を形成する場合もある。

採集地. 馬巖—天王峯, 般若峰。 分布. 樺一本, 朝, 満, 沿海州, シベリア東部。

Pinus L. マツ属

- { 2葉松, 樹皮は赤褐色……………アカマツ
 { 5葉松, 樹皮は暗灰色……………チョウセンゴヨウ

Pinus densiflora Sieb. et Zucc.—Nakai, Fl. Kor. II. 380 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 23 (1915)—Iwata & Kusaka, 159 (1954)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 45 (1959).

アカマツ. 中腹以下の林地にやや多く見られる常緑高木で上限は1200~1300m. 附近である。

採集地. 浮雲峠。 分布. 本—九, 朝, 満。

備考. 本種にはウツクシマツ形や毬果の多数集合して着生するセンナリマツ等の形があるもこれらは主として低地に分布している。

Pinus koraiensis Sieb. et Zucc.—Nakai, Fl. Kor. II. 379 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 23 (1915)—Mori, E. P. C. 29. 148 (1954)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 45 (1959).

チョウセンゴヨウ. チョウセンマツ. 中腹以上の森林に見られる常緑高木でチョウセンミズナラと混交する機会が多い。

採集地. 地藏堂—白武洞, 百丈庵, 般若峰。 分布. 本州, 朝, 満, 中国, シベリア。

CUPRESSACEAE ヒノキ科

Juniperus L. ビャクシン属

- { 葉は針形, 3片輪生す。直立性小高木……………ネズミサシ
 { 葉は鱗状であるが針形のものも多少混ざる。匍匐性低木……………ミヤマハイビャクシン

Juniperus rigida Sieb. et Zucc.—Nakai, Fl. Kor. II. 383 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 49 (1959).

ネズ. ムロ. ネズミサン. 低地の疎林内にまれに生ずる常緑小高木。

採集地. 三丁里, 孔安里。 分布. 北一九, 朝, 満, 蒙, 中国。

Juniperus saigentii Takeda—Koidz., B. M. T. 31 : 204 (1919)—Mori, E. P. C. 27, 1922.,
—Uyeki, Cor. Timb. Trees. 137. (1926)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed 49 (1959).

ミヤマビャクシン. ミヤマハイビャクシン. 上部の主として岩崖に生ずる匍匐性常緑低木で盆栽に仕立て, 観賞用として貴ばれる。

ANGIOSPERMAE 被子植物

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物

ARCHICHLAMYDEAE 古生花被類

SAURURACEAE ドクダミ科

Houttuynia Thunb. ドクダミ属

Houttuynia cordata Thunb.—Ohwi, Fl. Jap. 393, (1953).

ドクダミ. 臭気ある多年草で南面の谷間にまれに生ず。

分布. 北一台, 朝, 中国, ヒマラヤ, ジャバ。

CHLORANTHACEAE センリョウ科

Chloranthus Swartz. センリョウ属

Chloranthus japonicus Sieb.—Nakai, Fl. Kor. II. 176 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 395 (1959).

ヒトリシズカ. 中腹以下の林地にまれに生ず。

採集地. 五峰, 法華山。 分布. 樺一九, 朝, 満。

SALICACEAE ヤナギ科

Populus L. ハコヤナギ属

Populus davidiana Dode—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 18 : 189 (1939).

チョウセンヤマナラシ. 低地のやや稜部をなす斜面にまれに生ず。

採集地. 蛇谷。 分布. 朝, 満, 中国, ウスリー。

Salix L. ヤナギ属

- | | | | |
|---|---|--|------------|
| 1 | { | 若葉は多毛, 秋期にも尚毛がある…………… | 2 |
| | { | 春葉でもほとんど毛がない…………… | 3 |
| 2 | { | 葉は広楕円形, 低木又は小高木, 峯通りに多い…………… | タンナヤナギ |
| | { | 葉は長楕円状披針形又は披針形, 低木, 低地の水辺に生ず…………… | ネコヤナギ |
| 3 | { | 葉は通例対生, 狭披針形又は倒狭披針形, 低木, 分枝多く, 湿潤地に生ず…………… | コリヤナギ |
| | { | 葉は互生, 狭披針形, 先端長く尖る, 高木…………… | 4 |
| 4 | { | 枝は稍垂れる…………… | コウライシダレヤナギ |
| | { | 枝はたれない…………… | コウライヤナギ |

Salix gracilistyla Miq.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 18. 104 (1930)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 407 (1959).

ネコヤナギ. 中腹以下の水辺に生ずる低木。

採集地. ウンボンモデミ, 九竜里—碧松寺. 地藏堂—白武洞, 金盤里, 白武洞, 細石, 水落, 五峰,

三丁里, 雲峰。 分布. 北一九, 朝, 満, 中国。

備考. 葉の中やや広く毛はないか又はほとんどないものがある。ウンボンモデミ及び咸陽でとる。

Salix hallaisanensis Lév.—Nakai, Veg. Mt. Chirisan 28 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 18, 129 (1930).

タンナヤナギ. 中腹以上の峯通りに多い, 低木又は小高木。

採集地. 碧松寺—扉峠, 般若峰, セコル山, 上峰谷, 地藏堂附近, 三峰山, 達宮, 九竜里—碧松寺, 白武洞, 地藏堂—白武洞, 馬川—楸城里, 扉峠—馬巖。 分布. 朝。

備考. 本種の葉は円形乃至楕円形であるが, 長形で倒披針形又は長楕円形をなし両端尖るものがある。これをナガバタンナヤナギ *forma longifolia* Nakai in B. M. T. 32: 30 (1918)—Fl. Sylv. Kor. 18: 130 (1930) と云い, 又老成葉でも下面に白色絨毛を密生するものをコウライバツコヤナギ *var. orbicularis* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 18. 131. (1930). といい朝鮮各地の外, 満州, ウスリー方面にも分布する。

Salix koreensis Anders.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 18. 164 (1930)—Veg. Mt. Chirisan 28 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 402 (1959).

コウライヤナギ. 低地に普通見られる落葉高木。

採集地. 人參谷, 三峰山, 三丁里, 楸城里, 臥雲, 蛇谷。

分布. 本州(西), 九, 朝, 満, 中国。

Salix koriyanagi Kimura—Hara, B. M. T. 48: 799 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 466 (1959).

コリヤナギ. 各所の原野特に水湿地に生ず。

採集地. 浮雲峠, 達宮, 細石, 五峰, 扉峠, 般若峰, 白武洞, 三峰山, 金盤里, 山德里, 九竜里—碧松寺, 水落。 分布. 北一九, 朝, 広く植栽する。

備考. 中井博士は智異山植物調査報告でアカメヤナギ (*Salix chaenomeloides* Kimura = *Salix glandulosa* Seem.) を記録しているが余は遂に発見することを得なかつた。ただし咸陽に栽培しているものはある。

Salix pseudo-lasiogyne Lév.—Nakai, Fl. Kor. II. 213 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 18. 168 (1930).

コウライシダレヤナギ. 下部人家附近に稀に見られる落葉高木でシダレヤナギ (*S. babylonica* L.) 程しだれない。

採集地. 三丁里, 馬川, 咸陽, 九竜里—碧松寺。 分布. 朝。

JUGLANDACEAE クルミ科

Platycarya Sieb. et Zucc. ノグルミ属

Platycarya strobilacea Sieb. et Zucc.—Nakai, Fl. Kor. II. 200 (1911)—Veg. Mt. Chirisan, 28 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 409 (1959).

ノグルミ. ノブノキ. 下部林地特に陽地に生ずるも少ない。

採集地. 三峰山, 碧松寺, セコル山, 楸城里, 七仙洞, 靈源寺。

分布. 本一台, 朝, 中国。

BETULACEAE カバノキ科

Alnus Mill. ハンノキ属

- 1 { 葉は長楕円状卵形, 微鋸齒縁……………ハンノキ
葉は略円形, 欠刻縁……………2

- 2 { 葉下面多毛……………ケヤマハンノキ
葉下面は脈腋だけ有毛……………ヤマハンノキ

Alnus japonica Steud.—Nakai, Fl. Kor. II. 204 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 2: 38 (1915),—Ohwi, Fl. Jap. 418 (1953).

ハンノキ. 下部水辺の林地にまれに生ずる落葉高木。

採集地. 山徳里。 分布. 北—台, 朝, 満, ウスリー。

Alnus hirsuta Turcz.—Mori, E. P. C. 114 (1922)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 417 (1959).

ケヤマハンノキ. 下部谷間の林地に稀に生ずる落葉高木。

採集地. 臥雲。 分布. 樺—九, 朝, 満, ウスリー, シベリア東部, カムチャッカ。

var. **sibirica** C. K. Schn.—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 417 (1959).

ヤマハンノキ. 各所の林地に普通見られる落葉高木。

採集地. 天王峰, 上峰谷, 伴仙洞, 三峰山, 地藏堂—白武洞, 斗地洞, 臥雲, 九竜里—碧松寺。

分布. 種に同じ。

Betula L. シラカンバ属

- 1 { 樹皮は白色, 灰色又は灰褐色, 紙状に剥脱す。葉裏に腺点を布き種子は有翅……………2
樹皮は粗く鱗片状に脱落す。葉は卵状楕円形, 楔脚, 鋭頭, 不正細鋸歯縁, 側脈は10対内外,
種子はほとんど無翅……………オノオレ

- 2 { 葉は卵形, 広卵形或は心状卵形, 不正鋸歯縁, 側脈は9対内外……………3
葉は卵状楕円形, 側脈は10~13対, 下面腺点散在, 樹皮は灰白色, 樹幹稍通直, 大木を産す。
……………チョウセンミネバリ

- 3 { 果苞は3本槍形に裂ける。有毛……………4
果苞は然らず, 葉は広楔脚又は稍円脚, 樹皮は稍灰白色……………コノオレ

- 4 { 葉長5~8cm.……………ダケカンバ
葉長3cm.以下……………チャボダケカンバ

Betula costata Trautv.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 2. 33 (1915)—Veg. Mt. Chirisan 28 (1915).

チョウセンミネバリ. 中腹以下の森林内に生じ, チョウセンミズナラ, シデ類等と混生す。

採集地. 艾嶺—馬巖, 靈源寺, 上峰谷。 分布. 朝, 満。

Betula dahurica Pall.—Nakai, Fl. Kor. II. 203 (1911),—Mori, E. P. C. 115 (1922)—

Mak. et Nem., Fl. Jap. 182 (1931),—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 414 (1959).

コノオレ. ヤエガワカンバ. 中腹以下の比較的陽地に点生する落葉高木で葉は卵形。側脈は10対内外, 顕著, 僅か有毛, 冬芽は長卵形, 種子の翅は広い。

採集地. 三峰山, 五峰, 法華山, 楸城里。 分布. 北, 本, 朝, 満, ウスリー, アムール。

Betula ermani Cham.—Nakai, Fl. Kor. II. 201 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 28 (1915)—

Fl. Silv. Kor. 2: 31 (1915).—Ohwi, Fl. Jap. 415. (1959).

ダケカンバ. 中腹以上の森林に生じ上部ではサイシュウモミ, エゾマツ等と混交し, 又峯通りの焼跡などでは純林を形成する。

採集地. 馬巖—天王峰, 艾嶺—馬巖, 白武洞, ウンボンモデミ, 地藏堂—天王峰, 細石, 般若峰, 地藏堂。 分布. 樺—四, 朝, 満, カムチャッカ。

備考. 天王峰附近は凡ての樹木が低木形となり小形のものが多い。チャボダケカンバ, サイトウカンバ. **B. saitoana** Nakai in Fedde, Rep. Spec. Nov. 13. 249 (1914)—Fl. Sylv. Kor. 2: 32 (1915)—Veg. Mt. Chirisan. 28 (1915)—Mori, E. P. C. 116 (1922) はその一形である。

採集地. 天王峰, 般若峯。

Betula schmidtii Regel—Nakai, Fl. Kor. II. 20 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 2: 34 (1915)—Veg. Mt. Chirisan 28 (1915),—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 414 (1959).

オノオレ. ミネバリ. 中腹以下の森林に普通見られる落葉高木で火田跡地のような処には多数発生することが多い。

採集地. 上峰谷, 碧松寺—艾嶺, 靈源寺, 白武洞, 臥雲—般若峰, 臥雲, 靈源嶺, 三峰山, 浮雲里。

分布. 本, 朝, 満, ウスリー。

備考. 初島氏はチイサンシナカンバ *Betula chinensis* Maxim. forma *linearisquama* Hatusima, Rep. 45, 1934. を記録している。

Carpinus L. クマンデ属

- | | | |
|---|-------------------------------------|--|
| 1 | 葉の幅広く心状卵形又は心状楕円形, 果実の苞は相接し密に生ず…………… | サウシバ |
| | | 葉は卵形, 卵状楕円形又は楕円形等, 果実の苞は隔離しまばらに生ず…………… |
| 2 | 葉は無毛, まれに僅か有毛…………… | アカシデ |
| | | 葉は有毛…………… |
| 3 | 果穂の柄は長く, 果実は全体に毛を有す…………… | トウイヌシデ |
| | | 果穂の柄はみじかく, 果実は上部のみ有毛…………… |

Carpinus cordata Blume—Nakai, Fl. Kor. II. 205 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 2: 16 (1915)—Veg. Mt. Chirisan 28 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 412 (1959).

サウシバ. 主として中腹以上の谷間の森林に生ずる落葉小高木。

採集地. 艾嶺—馬巖, 楸城里, 細石—碧宵嶺, 臥雲, 咸陽, 三丁里。

分布. 北—九, 朝, 満, 中国, ウスリー。

Carpinus fargesiana H. Winkl.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 2. 18 (1915).

トウイヌシデ. 下部林地に極めて稀に見る落葉高木でイヌシデに似ているが花被は果実の $\frac{1}{4}$ — $\frac{1}{8}$ である。

採集地. 高基里。 分布. 朝, 中国。

Carpinus laxiflora Blume—Nakai, Fl. Kor. II. 205 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 28 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 411 (1959).

アカシデ. 中腹以下の森林に生ずる落葉高木。主として谷間に生ず。

採集地. 白武洞, 三峰山, 達宮, 臥雲, 地藏堂—白武洞, 碧松寺。 分布. 北—九, 朝。

備考. 本種の葉の大形なものをオオアカシデ, var. *macrophylla* Nakai in B. M. T. 45: 112 (1931) という。極めて稀にこの形のものを見る。又葉はアカシデと同様だが果穂の長さ(果梗共) 15~20cm. に及び苞も又大きく長さ 2~2.5cm. に達するものがある。蓮洞越で採集した。

Carpinus tschonoskii Maxim.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 2. 15(1914)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 411 (1959).

イヌシデ. 中腹以下の森林に生ずる落葉高木。

採集地. 臥雲, 浮雲峠, 碧松寺, 知安峠, 咸陽。 分布. 本—九, 朝, 中国。

備考. 本種には葉も果穂も共に大形となるものがある。これをオオイヌシデ, var. *eximia* Hatusima, Rep. 48 (1934) といいその苞は 3—3.8cm. に達するものもある。

採集地. 靈源寺, 高基里, 白武洞。 分布. 智異山特産。

Corylus L. ハシバミ属

- | | | |
|---|----------------------------------|---------------------|
| 1 | 若枝や葉柄には暗赤色腺毛を生ず, 葉の巾広く円状倒卵形…………… | オオハシバミ |
| | | 若枝や葉柄には普通の毛を生ず…………… |

- 2 { 葉は先端に近く巾広く急に尖る。果実は大……………オオツノハシバミ
- 2 { 葉はやや狭く先端は漸次尖る，果実の苞は小……………ツノハシバミ

Corylus heterophylla Fisch.—Nakai, Fl. Kor. II. 206 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 29 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 2. 9 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 412 (1959).

オオハシバミ. オヒヨウバハシバミ. チョウセンハシバミ. 下部の低木群にまれに生ずる多枝性の落葉低木。

採集地. 孔安里, 咸陽。 分布. 本, 朝, 満, ウスリー, アムール。

Corylus sieboldiana Blume—Nakai, Veg. Mt. Chirisan. 29 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 2. 12 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 413 (1959).

ツノハシバミ. 中腹以下の陽地, 低木群等に生ずる落葉低木。

採集地. 地藏堂—白武洞, 三峰山, 臥雲, 楸城里, 扉峠, 咸陽。

分布. 北—九, 朝。

備考. 葉は大形で欠刻を有し, 基部心形。総苞の刺毛は開出するものをオオツノハシバミ

var. *mandshurica* C. K. Schn.—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 413 (1959) という。

採集地. 臥雲, 馬川, 地藏堂—白武洞。 分布. 北—本, 朝, 満, アムール, ウスリー。

又, ツノハシバミに比し果実はやや小さく苞の筒部の細いものをコツノハシバミ, var. *mitis* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 2. 13 (1915)—B. M. T. 29: 37 (1915)—Veg. Mt. Chirisan 29. (1915) という。

FAGACEAE ブナ科

Castanea Mill. クリ属

Castanea bungeana Blume—Nakai, Veg. Mt. Chirisan, 29 (1915),—Fl. Sylv. Kor. 3. 14 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 424. (1959).

シナグリ. 下部林地にまれに生ずる落葉高木。

採集地. 高基里, 三丁里。 分布. 朝, 中国。

Quercus L. コナラ属

- 1 { 殻斗の鱗片は長いノミ形……………2
- 1 { 鱗片は短かい鱗状……………4
- 2 { 葉は広倒卵形, 大きい波様歯牙, 歯牙端は円い。若枝と共に密毛がある……………カシワ
- 2 { 葉は長楕円形又は長楕円状披針形, 鋸歯端は芒状となる……………3
- 3 { 葉裏無毛, 淡緑色, 樹皮のホルク質は発達しない……………クヌギ
- 3 { 葉裏星毛密布, 樹皮のホルク質は良く発達する……………アベマキ
- 4 { 葉柄は通例8ミリ以下……………5
- 4 { 葉柄は1cm以上……………6
- 5 { 葉は大, 基部やや耳垂状, 長さ15cm. 以上。鋸歯は内曲しない……………チョウセンミズナラ
- 5 { 葉はやや小さく, 15cm 以下。鋸歯は僅か内曲する……………モンゴリナラモドキ
- 6 { 葉柄はやや長く1.5—2.0cm. 若枝は無毛或は僅かに有毛。葉は大, 長さ20cm に達す……………7
- 6 { 葉柄はやや短かく1.5cm 以下, 若枝は有毛又は無毛, 葉は長さ10cm 内外……………8
- 7 { 葉裏星毛密生, 長倒卵形或は倒卵形, 殻斗の径は1.5cm. 内外。果の全面に微毛を生ず……………ナラガシワ
- 7 { ……………ナラガシワ
- 7 { 葉裏には毛と星毛とを生ず, 質薄く長倒卵形或は倒卵状楕円形, 殻斗は1~1.2cm. 果は先端のみに微毛を生ず……………オオバコナラ

- 8 { 枝, 葉柄は無毛, 葉面に光沢がある。鋸齒は著しく内曲, 下面有毛, 僅か星毛を混ず
 テリハコナラ
- 9 { 枝, 葉柄は有毛, 鋸齒は内曲するが著しくはない..... 9
- 9 { 若枝, 葉柄, 葉裏等やや多毛, 星毛混生, 長倒卵形..... コナラ
- 9 { 若枝, 葉柄は毛少なく時に無毛のものがある。葉裏星毛, 葉形は長短, 広狭等変化に富む
 ナガバコナラ

Quercus acutissima Carr.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 3. 21. (1917)—Veg. Mt. Chirisan 29 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 423 (1959).

クヌギ. 下部人家附近に見るも少い。

採集地. 悟道峠, 咸陽 (上林)。 分布. 本一九, 朝, 満, 中国。

Quercus aliena Blume—Nakai, Fl. Kor. II. 209 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 3. 26. (1917)—Veg. Mt. Chirisan 29 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 423 (1959).

ナラガシワ. 下部林地にまれに生ず。

採集地. 咸陽, 登九峠, 八郎峠, 馬川, 悟道峠。 分布. 本一九, 朝, 満, 中国。

備考. 本種の葉裏ほとんど無毛のものをオオミズナラ, アオナラガシワ, var. *pellucida* Blume

—Nakai l. c.—Mak. et Nem., l. c. という。下部林地にまれに生ず。

採集地. 咸陽。 分布. 本, 朝。

Quercus dentata Thunb.—Nakai, Fl. Kor. II. 209. (1911)—Fl. Sylv. Kor. 2. 32 (1917)—Veg. Mt. Chirisan 29 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 423 (1959).

カシワ. 下部森林にまれに見る落葉高木。

採集地. 金盤里, 登九峠, セコル山。 分布. 北一台, 朝, 満, 中国。

Quercus major Nakai, Fl. Sylv. Kor. 3, 28 (1917)—Veg. Mt. Chirisan 29 (1915).

オオバコナラ. 下部林地に生ずる落葉高木。

採集地. 臥雲, 上峰谷, 碧松寺, 咸陽, 人參谷。 分布. 朝鮮特産。

備考. 葉裏の毛の性質異なるもの, 葉形の大小等或る程度の変異がある。

Quercus mongolica Fisch. var. *manshurica* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 3, 24 (1917).

チョウセンミズナラ. マンシュウミズナラ. 中部林地に普通見られる代表的落葉高木で, 智異山の重要樹種で蓄積も最も大きい。再々の火災地では純林を形成する処もある。

採集地. 艾嶺—馬巖, 細石—碧宵嶺, 高基里, 碧松寺, 地藏堂—白武洞, 臥雲, 靈源寺, 徳頭山, セコル山, 雲峰。 分布. 朝, 満, ウスリー。

Quercus neoglandulifera Nakai in B. M. T. 36 : 62 1922.

ナガバコナラ. 中腹以下の森林内に生ずる落葉高木で, コナラに比し葉は細長く線状長楕円形, 倒披針形, 線状倒披針形等で切脚, 円脚又は鋭脚である。果は卵形, 長さ 14mm. 先端に微毛を生ず。

採集地. 靈源寺, 三峰山, 浮雲里, 伴仙洞, 臥雲, 義灘里, 高基里。 分布. 朝鮮。

Quercus paucilepis Uyeki in A. P. G. 1 : 254 (1932)。

モンゴリナラモドキ. 下部林地にまれに生ずる落葉高木。葉形はモンゴリナラにやや似る。殻斗及び果実はナラガシワに似ているので両者の雑種形かも知れない。葉形は倒卵状長楕円形, 先端は急に尖る。耳脚, 表面緑色無毛。下面淡緑色無毛。葉柄短, 3~5mm, 長いものは 1cm に達す。

採集地. 伴仙洞。 分布. 朝鮮。

Quercus serrata Thunb.—Hatusima, Rep. 51 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 423 (1959).

コナラ. 中腹以下の森林内に生ずる落葉高木だが主として下部に多い。

採集地. 白武洞, 達宮, 臥雲, 伴仙洞, 悟道—馬川, 五峰, 靈源寺, 高基里, 上峰谷, 義灘里。

分布. 北一九, 朝, 中国。

備考. 葉の幅狭く上面に光沢あるものを var. *donarium* Kitam. et Horikawa in Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto Vol. XX, No. 1, Art. 4, 23 (1951)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 423 (1959).

テリハコナラ. といい下部林地にまれに生ず。

採集地. 臥雲, 正嶺峠。 分布. 本, 朝。

Quercus variabilis Blume—Nakai, Fl. Kor. II. 208 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed, 423 (1959).

アベマキ. 中腹以下の森林においてアカマツ, シデ類と混生するも時に火災跡地などでは純林をなす場合がある。樹皮のホルクは一般に良く発達し優良である。

採集地. 碧松寺—艾嶺, 白武洞, 三峰山, 臥雲, 咸陽。 分布. 本一九, 朝, 満, 中国。

ULMACEAE ニレ科

Aphananthe Planch. ムクノキ属

Aphananthe aspera Planch.—Nakai, Fl. Kor. II. 192 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 29 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 19, 45. (1932)—Ohwi Fl. Jap. 3 ed 428 (1959).

ムクノキ. 南面においてのみ谷間の森林に極めてまれに生ずる落葉高木。

分布. 北一台, 朝, 中国。

Celtis L. エノキ属

葉の鋸歯は中部以上に生じ果梗は長さ 1cm. 内外, 果実は黄褐色に熟す……………エノキ
葉の鋸歯は基部近くからある。果梗は 1.5~2.0cm. 果実は黒く熟す……………エゾエノキ

Celtis jessoensis Koidz. in B. M. T. 27 : 183 (1913)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19 : 56 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 427 (1959).

エゾエノキ. 下部谷間の森林にまれに見る落葉高木で, 葉はやや白色を帯びるか或は淡緑色, 無毛, やや鋭鋸歯縁, 果梗は葉柄の 2~2.5倍長。

採集地. 蛇谷, 白武洞, 三丁里。 分布. 北一九, 朝。

Celtis sinensis Pers. var. *japonica* Nakai, B. M. T. 28 : 264 (1914)—Fl. Sylv. Kor. 19. 64 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 428 (1959).

エノキ. 下部谷間の林地にまれに生ずる落葉高木。果梗は葉柄の 1.5~2.0倍。

採集地. 悟道—馬川, 伴仙洞, 三丁里, 馬川, 咸陽。 分布. 本一九, 朝, 中国。

備考. 葉は不正円形で先端急にとがり果梗はエノキより少し短かいものがある。これを *forma rotundata* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19, 67 (1932). マルバエノキという。九竜里の路傍で採集した。 分布. 朝。

Hemiptelea Planch. ハリゲヤキ属

Hemiptelea davidii Planch.—Nakai, Veg. Mt. Chirisan 30 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 19, 41 (1932).

ハリゲヤキ. 下部路傍, 低木群等に生ずる落葉樹でおおむね低木形をなす。短枝は刺となる。

採集地. 悟道—馬川, 九竜里, 徳田, 浮雲里, 咸陽, 向陽里。 分布. 朝, 満, 中国。

Ulmus L. ニレ属

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | } | 葉は倒卵状楔形, 重鋸歯縁, 先端は欠刻状重鋸歯, 両面著しくざらつく……………オヒョウ |
| | | 葉は倒卵状楕円形或は楕円形, 鋸歯又は重鋸歯縁, 先端欠刻状とならない……………2 |
| 2 | } | 葉は小形, 長さ 2~6cm. 斜卵状楕円形, 基部不等, 単鋸歯縁……………チヨウセンアキニレ |
| | | 葉は倒卵状楕円形, 長さ 10cm 内外, 重鋸歯縁, 裏面脈上微毛密生……………3 |

- 3 { 枝にコルク質発達せず……………ハルニレ
枝にコルク質発達す……………コブニレ

Ulmns coreana Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 31 (1932).

チョウセンアキニレ. 下部の河岸の如き陽地にまれに生ずる落葉高木。

採集地. 咸陽, 馬川, 法華山。 分布. 朝鮮中南部。

備考. 朝鮮中部以北から満洲, 中国北部に生ずるノニレ *Ulmns manshurica* Nakai の葉はやや重鋸歯縁である。

Ulmus davidiana Planch. var. **japonica** Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 26 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 428 (1959).

ハルニレ. ニレ. 下部の岩石の多い山地や河岸等の陽地にまれに生ずる落葉高木。

採集地. 九竜里—碧松寺, 楸城里, セコル山, 三丁里, 咸陽, 靈源寺, 昌元里。

分布. 樺一九, 朝, 中国北部, 東シベリア。

備考. 本種の枝にコルク質良く発達する一形を *forma suberosa* Nakai l. c. 29.—Ohwi, l. c. コブニレ. といい下部陽地に生ず。

採集地. 白武洞, 九竜里—碧松寺, 三峰山。 分布. ハルニレに同じ。

Ulmus laciniata Mayr—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 16. (1932).

オヒョウ. アツニ. アツシ. 中腹の谷間の森林内に極めてまれに生ずる落葉高木。

採集地. 臥雲—椎茸乾燥小屋。

分布. 樺一九, 朝, 満, 中国北部, 東シベリア, カムチャッカ。

Zelkova Spach. ケヤキ属

Zelkova serrata Makino in B. M. T. 17: 13 (1903)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 36 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 426 (1959).

ケヤキ. 下部林地或は人家附近に生ずる落葉高木で日蔭木として路傍などに老木があつて休息所となつている場合が多い。

採集地. 白武洞, 知安峠, 月坪里, 咸陽, 達宮。 分布. 本一台, 朝, 中国。

MORACEAE クワ科

Broussonetia Vent コウゾ属

- { 枝や葉に毛が多い, 鋸歯はやや粗大, 頭花は大, 雌雄異株……………カジノキ
枝や葉の毛は少ない. 鋸歯やや小, 頭花は小, 雌雄同株……………コウゾ

Broussonetia kazinoki Sieb.—Nakai, Veg. Mt. Chirisan 30 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 19. 111 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 430 (1959).

コウゾ. 下部林地にまれに生ずる落葉低木。

採集地. 臥雲。 分布. 本一台, 朝, 中国。

Broussonetia papyrifera Vent.—Nakai, Fl. Kor. II. 193 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 19. 106 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 3 ed. 430 (1959).

カジノキ. 下部人家附近には製紙原料として栽培されているものが多い。

採集地. 法華山下。 分布. 本一台, 朝, 中国。

備考. 本種の植栽品の中には葉稍厚く表面は濃緑色で光沢あるものがある。これをテリハカジノキ var. *lucida* Hatusima, Rep. 54 (1934) とする。

Cudrania Tréc ハリグワ属

Cudrania tricuspidata Bureau—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 114 (1932)—Ohwi, Fl. Jap. 3

ed. 431 (1959).

ハリグワ. 下部人家附近にまれに見る雌雄異株の落葉小高木で針を有す。葉は広卵形、全縁、若木では3浅裂するものを混す。

採集地. 孔安里, 咸陽。 分布. 本, 朝, 中国。

Fatoua Gaudich. クワクサ属

Fatoua villosa Nakai, B. M. T. 41 : 516 (1927)——Mak. et Nem., Fl. Jap. 211 (1931)——Ohwi, Fl. Jap. 429 (1959).

クワクサ. 下部の路傍, 耕地等に生ずる1年生草本で葉はややクワに似る。

採集地. 悟道峠。 分布. 本一琉, 朝, 中国。

Humulus L. カラハナソウ属

Humulus japonicus Sieb. et Zucc.——Nakai, Fl. Kor. II. 194(1911)——Ohwi, Fl. Jap. 433(1959).

カナムグラ. 下部路傍にまれに生ずる多年生蔓草で全体に逆刺を生じ葉は対生, 長柄, 掌状5~7; 深裂又は中裂, 両面ざらつく。

採集地. 昌元里, 伴仙洞, 雲峰, 登九峠。 分布. 北一台, 朝, 満, 中国, ウスリー。

Morus L. クワ属

{ 葉裏に絨毛を密生する……………ケグワ
{ 毛は極めて少ない……………ヤマグワ

Morus bombycis Koidz., B. M. T. 29 : 313 (1915)——Mak. et Nem., Fl. Jap. 219 (1931)——Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 98 (1932)——Ohwi, Fl. Jap. 430 (1959).

ヤマグワ. 中腹以下の森林内に生ずる落葉小高木。

採集地. 人參谷, 靈源寺, 地藏堂一白武洞, セコル山, 馬川, 臥雲谷。

分布. 樺一九, 朝, 満。

Morus tiliaefolia Makino in B. M. T. 23 : 88(1909)——Mak. et Nem., Fl. Jap. 220 (1931)——Nakai, Fl. Sylv. Kor. 19. 96 (1932)——Hatusima, Rep. 55 (1934)——Ohwi, Fl. Jap. 429 (1959).

ケグワ. 南面では谷間の森林内にまれに生ずるが北面ではまだ発見されていない。

分布. 本一九, 朝。

URTICACEAE イラクサ科

Boehmeria Jacq カラムシ属

- 1 { 葉は互生……………カラムシ
{ 葉は対生……………2
- 2 { 葉の巾広く15cm. 内外に達し先端は亀尾状となる……………メヤブマオ
{ 葉の巾概ね10cm. 以下先端は亀尾状とならない……………3
- 3 { 茎や葉は絨毛密生, 葉は卵形, 花序は稍太く花は密につく……………ヤブマオ
{ 茎や葉の毛は少ない。葉は卵形又は菱状卵形, 花序はやや細くやや疎花……………4
- 4 { 低木, 葉はやや小さい。巾2~3cm.……………コアカソ
{ 多年草, 葉はやや大きい。巾3~5cm.……………クサコアカソ

Boehmeria longispica Steud.——Satake, Boehm. Jap. 533 (1936)——Nakai, Fl. Sylv. Kor. 21. 154 (1936)——Ohwi, Fl. Jap. 442 (1959).

ヤブマオ. 下部の畦畔路傍等にまれに生ずる多年草。

採集地. 馬川一白武洞, 江清里, 蓮洞越。 分布. 北一九, 朝, 中国。

Boehmeria nipononivea Koidz.——Ohwi, Fl. Jap. 441 (1959).

カラムシ. マオ. 下部人家附近にまれに生ずる多年草であるが本山麓の北側ではまだ発見していない。

分布. 本一台, 朝, 中国。

Boehmeria platanifolia Fr. et Sav.—Satake, Boehm. Jap. 534 (1936)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 21. 156 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 442 (1959).

メヤブマオ. ヤマソ. 下部路傍, 林縁等にまれに生ずる多年草。

採集地. 碧松寺。 分布. 北一九, 朝, 中国。

Boehmeria spicata Thunb.—Nakai, Fl. Kor. II. 198 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 21. 139 (1936)—Mak. et Nem. Fl. Jap. 224 (1931)—Hatusima, Rep. 56. (1934)—Satake, Boehm. Jap. 482 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 441 (1959).

コアカソ. 下部陽地に生ずる低木で枝条の先端は冬期枯死する。

採集地. 馬川—白武洞, 悟道—馬川, 徳洞, 達宮, 臥雲, 義灘里, 高基里, 三峰山下部, 悟道峠。

分布. 本一九, 朝, 満, 中国。

Boehmeria tricuspis Makino var. **unicuspis** Makino, Illustr. Fl. Nipp. 641 (1940)—Ohwi, Fl. Jap. 441 (1959).

クサコアカソ. マルバコアカソ. 下部の谷間, 路傍等にまれに見る多年草でアカソの如く葉の先端は亀尾状とならずコアカソの葉を大きくしたような形である。

採集地. 横峠, 三丁里。 分布. 北一四, 朝, 満, 中国。

Girardinia Gaud. セイバンイラクサ属

Girardinia cuspidata Wedd.—Nakai, Fl. Kor. II. 195 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 21. 124 (1936).

オニイラクサ. 下部路傍にまれに生ずる1年草で葉は互生, 粗大歯牙縁, 剛刺がある。花序は直立。

採集地. 登九峠。 分布. 朝, 満, 中国。

Laportea Gaud. ムカゴイラクサ属

Laportea bulbifera Wedd.—Nakai, Fl. Kor. II. 195 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 21. 124 (1936)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 227 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 436 (1959).

ムカゴイラクサ. 下部林地にまれに生ずる多年草で葉は互生, 腋にムカゴを生ず。

採集地. セコル山, 碧松寺。 分布. 北一九, 朝, 満。

Nanocnide Blume カテンソウ属

Nanocnide japonica Blume—Nakai, Fl. Kor. II. 196 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 21. 124 (1936)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 229 (1931)—Hatusima, Rep. 56 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 438 (1959).

カテンソウ. 南麓では谷間の陰湿地にまれに生ずるが北麓では見ない。

分布. 本一台, 朝, 中国。

Pilea Lindl. ミズ属

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | } | 葉は小さく1cm. に達しない。円形又は菱状卵形, 全縁或は波状縁……………コケミズ |
| | | 葉は長さ1.5cm 以上となる。先きは鋭頭か或は尾状, 明らかな鋸歯がある……………2 |
| 2 | } | 雌花の花被は不同に3裂する。葉は菱状広卵形, 鈍歯牙縁, 花序は腋出, 密花。全形大きく高さ30cm. 以上となる……………アオミズ |
| | | 雌花の花被はやや円形, 同大の5裂片に全裂する。葉は広卵形又は卵円形, 各側3~6の粗鋸歯がある。全形小さく高さ10~20cm……………ヤマミズ |

Pilea japonica Hand.-Mazz.—Ohwi, Fl. Jap. 438 (1959).

ヤマミズ. 中腹以下の溪流畔にまれに生ずる無毛の1年草。

採集地. 臥雲, 上峰谷。 分布. 本一九, 朝。

Pilea mongolica Wedd.; Ohwi, Fl. Jap. 437 (1959).

アオミズ. 主として谷間の森林内にまれに生ずる液質草本であるが落葉層の良く発達したところでは高所でも之れが生ずるを見る。

採集地. 細石—碧宵嶺, 登九峠, 馬川—白武洞, 臥雲, 般若峯, 法華山。

分布. 本一九, 朝, 満, ウスリー, アムール。

Pilea peploides Hook. et Arn.—Nakai, Fl. Kor II, 199 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 30 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 21: 125 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 437 (1959).

コケミズ. 主として下部水田の石垣の水の流れるようなところに生ずるも又中腹以下の広葉樹林内に生ずることもある。

採集地. 臥雲下, 三峰山中腹, 楸城里。

分布. 本一台, 朝, 満, 中国, ハワイ, ガラパゴス諸島, マレーシア, 印度。

Urtica L. イラクサ属

Urtica angustifolia Fisch.—Nakai, Fl. Kor. II. 196 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 30 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 21. 125 (1936)—Hatusima, Rep. 57 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 435 (1959).

ホソバイラクサ. 下部谷間の陰地にまれに生ずる多年草, 葉は披針形, 対生, 長柄, 葉身は長さ10~15cm. 鋭尖歯牙縁。

採集地. 白武洞奥, 蓮洞越。

分布. 本一九, 朝, 満, 中国, ウスリー, ダフリア。

SANTALACEAE ビャクダン科

Thesium L. カナビキソウ属

Thesium chinense Turcz.—Nakai, Fl. Kor. II. 180 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 447 (1959).

カナビキソウ. 下部の草地にまれに生ずる半寄生一年草で高さ30cm. 内外, 葉は互生, 線形。

採集地. 水落, 白武洞, 三丁里, セコル山, 楸城里, 浮雲峠。

分布. 本一琉, 朝, 中国。

LORANTHACEAE ヤドリギ科

Hyphear Danser ホザキヤドリギ属

Hyphear tanakae Hosokawa in J. J. B. 12: 418 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 448 (1959).

ホザキヤドリギ. チョウセンミズナラやナシの類にまれに寄生している。

採集地. 艾嶺, 白武洞。

分布. 本, 朝。

Viscum L. ヤドリギ属

Viscum album L. var. *corolatum* (Kom.) Ohwi, Fl. Jap. 449 (1953).

ヤドリギ. 主としてチョウセンミズナラに寄生する。

採集地. 白武洞, 臥雲。

分布. 本一九, 朝, 満, 中国。

ARISTOLOCHIACEAE ウマノスズクサ科

Asarum L. カンアオイ属

Asarum heterotropoides Fr. Schm. var. *mandshuricum* (F. Maekawa)—*Asiasarum heterotropoides*, var. *mandshuricum* F. Maekawa ex Nakai Fl. Sylv. Kor. 21: 21 (1936).

ケイリンサイシン. 各部の繁つた森林内, 特に中腹以上の針葉樹林内に生ずる多年草, 葉は2出, 長柄, 円状或は腎状卵形, 微凸頭, 深心脚, 葉は初め表面及び裏面脈上有毛, 六月下旬には葉柄は無

毛、或は僅か残存、葉身は無毛又は下面脈上僅かに残存、花は四月頃開き蔓筒の内面には20条内外の稜が存す。花梗は3~5.5cm. 種子は六月下旬熟す。

採集地. ウンボンモデミ, 地藏堂—白武洞, 三峰山, 上峰谷, セコル山, 般若峰, 臥雲, 白武洞。

分布. 朝, 満。

Aristolochia L. ウマノスズクサ属

Aristolochia contorta Bunge—Nakai, Fl. Kor. II. 176 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 21. 26 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 456 (1959).

マルバノウマノスズクサ. コウマノスズクサ. 下部人家附近の岩石多い低木叢又は路傍, 林縁等にまれに生ずる多年生蔓草, 葉は3角状卵形, 鈍頭, 深心脚。

採集地. 白武洞, 楸城里, 三丁里。 分布. 本, 朝, 満, 中国北部, ウスリー。

POLYGONACEAE タデ科

Polygonum L. タデ属

- | | | | |
|----|---|--|-------------|
| 1 | { | 花序は繸状, 花柱は曲り, 落ちない。花被は4裂する…………… | ミズヒキ |
| | | 花序は繸状ではない。花柱は曲らぬ, 熟せば落ちる。花被は通常5裂しまれに4裂する…… | 2 |
| 2 | { | 茎は蔓となつて他物に巻き付く…………… | 3 |
| | | 茎は他物に巻き付くことはない…………… | 4 |
| 3 | { | 葉は卵形—心形, 戟脚, 花は腋生又は頂生, 短い穂をなす…………… | オオツルイタドリ |
| | | 葉は卵形—長卵形, 基部は心状切脚, 花序は分岐, 円錐花序をなす…… | チュウセンツルドクダミ |
| 4 | { | 花は葉腋に束生し葉は小さい。全体無毛, 茎は分岐しはうか斜上するか又は立つ…………… | ミチヤナギ |
| | | 花序は長い穂状, 茎は直立又は斜上, 逆刺や逆毛はない…………… | 5 |
| | | 花序は短かく集団状か或は花梗分岐して数花をつく。まれにやや穂状となる…………… | 15 |
| 5 | { | 茎は無毛或はやや無毛…………… | 6 |
| | | 茎は有毛…………… | 10 |
| 6 | { | 茎は分岐しない。花穂は只1個頂生する。根葉の柄に翼がある…………… | イブキトラノオ |
| | | 茎は花茎状でなくおおむね分岐する。根葉は明らかでないか又は無い…………… | 7 |
| 7 | { | 葉の両面主脈上に毛又は短刺毛がある…………… | 8 |
| | | 葉の主脈は無毛…………… | 9 |
| 8 | { | 葉の両面主脈上に短刺毛多く, 葉鞘は無毛, 縁毛をかく, 花序に近い部分の茎には毛を散生し腺点を有す。花穂は密花, 花は白色…………… | シロイスタデ |
| | | 葉の主脈及び肋脈上には毛を散生す。葉鞘は有毛, 縁毛は葉鞘と略同長, 花穂は疎花, 花は紅色…………… | ハナタデ |
| 9 | { | 節高く葉鞘はほとんど無毛, 縁毛は葉鞘の $\frac{1}{2}$ — $\frac{1}{3}$ 長。葉は狭披針形, 花は淡紅色…………… | ヤナギタデ |
| | | 節は高くない。葉鞘は有毛, 縁毛は葉鞘とほぼ同長, 花穂は密花, 花は紅色…………… | イスタデ |
| 10 | { | 花序や節間に粘液を分泌する。葉鞘は有毛。縁毛はその $\frac{1}{2}$ — $\frac{1}{3}$ 長…………… | 11 |
| | | 粘液を分泌することはない…………… | 12 |
| 11 | { | 節間の上部に僅かの毛を生ず。花は緑白色…………… | オオネバリタデ |
| | | 茎, 葉は有毛, 花は淡紅色…………… | ネバリタデ |
| 12 | { | 茎は多毛…………… | 13 |
| | | 茎の毛は散生…………… | 14 |
| 13 | { | 全体大形の栽培植物。高さ1~1.5m. 葉は広卵形又は卵心形, 長さ10~20cm. 巾7~15cm. 花穂は太く密に花をつけ紅色で美しい…………… | オオケタデ |

- 高さ通例 30~100cm. 長粗毛と短腺毛がある。葉は披針形—三角状広披針形。長さ 7~15cm. 巾 1.5~4cm. 花穂は太くない……………ニオイタデ
- 14 { 葉裏に灰白綿毛を密生する。花は淡紅色……………ハルタデ
綿毛はなく両面脈上に剛毛がある。葉鞘は無毛, 長さ 1.5cm. 内外, 縁毛は短, 僅少, 花は紅色……………オオイスタデ
- 15 { 茎に逆刺がある……………16
茎に逆刺はない……………21
- 16 { 葉は披針形又は長楕円形, 花は紅色で秋に開く……………17
葉は三角形又は戟形……………18
- 17 { 茎は4角柱形, 葉は箭脚, 茎, 葉, 葉鞘等皆無毛……………アキノウナギツカミ
茎は円い。葉はやや箭脚, 心脚或は切脚, 茎の上部や葉鞘等には毛と腺毛とを散生する。……………ヤノネグサ
- 18 { 葉は三角形, 茎は蔓状となる……………19
葉は戟形, 柄に翼がある。茎は蔓状とならない……………20
- 19 { 葉は楕状, 茎と共に毛はない。托葉は大形, 円い葉状, 逆刺は著しい……………イシミカワ
葉は三角形, やや心脚, 両面共に微毛がある。逆刺はやや小さい……………ママコノシリヌグイ
- 20 { 花は紅色—淡紅色……………ミゾソバ
花は白色……………シロバナミゾソバ
- 21 { 葉は戟状卵形, さきは尾状にとがる。花序には暗紅色の腺毛が密生する……………コゴメタデ
葉は三角形, 茎は繊細, 疎花……………ミヤマタニソバ
葉は卵形, 柄に翼がある。花は密……………タニソバ

Polygonum aviculare L.—Nakai, Fl. Kor. II. 166 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 465 (1959).

ミチャナギ. ニワヤナギ. 下部路傍に生ず。

採集地. 白武洞, 三丁里。

分布. 北一九, 朝, 北半球の温帯一般, 変化に富む。全体大形のものをオオニワヤナギといつてゐる。

Polygonum bistorta L.—Ohwi, Fl. Jap. 466 (1959).

イブキトラノオ. 上部の原野に生ずる高さ 50cm. 内外の多年草。

採集地. 天王峰—地藏堂, 馬巖—天王峰, 臥雲谷, 般若峰。

分布. 北一九, 朝, 満, 中国, アムール, ウスリー, ダフリア。

Polygonum caespitosum Blume var. **laxiflorum** Meisn.—Ohwi, Fl. Jap. 471 (1959).

ハナタテ. 下部路傍にまれに見る 1 年草。

採集地. 悟道峠, 雲峰, 法華寺下。

分布. 北一九, 朝, ヨーロッパ, 北米, シベリア。

Polygonum ciliinervis (Nakai)—Pleuropterus ciliinervis Nakai, Veg. Mt. Chirisan 31 (1915)—Mori, E. P. C. 130 (1922)—Hatusima, Rep. 63 (1934).

チョウセンツルドクダミ. 中腹以下の林地にまれに生ずる 1 年生蔓草で塊根はない。茎は中空, 葉は卵形又は長卵形, 心状截脚, 鋭尖頭, 下面脈上有毛, 趨果は長倒卵形, 凹頭。

採集地. 地藏堂—細石, 馬巖—天王峰, 地藏堂—天王峰, 白武洞, 靈源寺—臥雲。

分布. 朝, 満。

Polygonum debile Meisn.—Ohwi, Fl. Jap. 466 (1959).

ミヤマタニソバ. 中腹の谷間の森林内にまれに生ず。葉は長柄, 三角形。

採集地. 白武洞谷。

分布. 本一九, 朝。

Polygonum dentato-alatum Fr. Schm.—Ohwi, Fl. Jap. 473 (1959).

オオツルイタドリ. 下部路傍にまれに生ずる1年生蔓草。

採集地. 昌元里, 三丁里, 白武洞, 地藏堂—細石, 靈源寺—臥雲, 楸城里。

分布. 樺一本, 朝。

備考. 本種に似たソバカズラ *Polygonum convolvulus* L.—Ohwi, Fl. Jap. 473 (1959) は南面にはあるが北面では採集されていない。

***Polygonum fauriei* Lévl. et Vnt.**—Nakai, Fl. Kor. II. 171 (1911).

コゴメタデ. ヌカボンタデ. 下部樹陰地にまれに生ずるやや大形の1年草。

採集地. 楸城里。 分布. 朝, 満。

***Polygonum filiforme* Thunb.**—Ohwi, Fl. Jap. 464 (1959).

ミスヒキ. 下部路傍, 林縁等にまれに生ずる多年草。

採集地. 三丁里, 楸城里。 分布. 北一九, 朝。

***Polygonum hydropiper* L.**—Ohwi, Fl. Jap. 470 (1959).

ヤナギタデ. マタデ. 下部溝辺のような湿潤地に生ずる1年草。

採集地. 登九峠, 雲峰, 江清里。

分布. 北一九, 朝, 北半球の温帯及び暖帯に広く分布する。

***Polygonum lapathifolium* L.**—Ohwi, Fl. Jap. 470 (1959).

サナエタデ. 下部路傍に普通見られる1年草。

採集地. 悟道峠—馬川, 登九峠, 咸陽, 浮雲峠。

分布. 北一九, 朝, 北半球の温帯及び暖帯に分布す。

***Polygonum longisetum* De Bruyn**—Ohwi, Fl. Jap. 471 (1959).

イヌタデ. 下部路傍に普通見られるも又中腹谷間の陽地にも生ず。

採集地. 雲峰—山德里, 達宮。 分布. 北一台, 朝, 満, 中国, マレーシア。

***Polygonum nepalense* Meissn.**—Ohwi, Fl. Jap. 468 (1959).

タニソバ. 中腹以下の谷間又は路傍にまれに生ず。

採集地. 悟道峠—馬川, 臥雲谷, 上峰谷, 天王峰, 蓮洞越。

分布. 北一九, 朝, 中国, 印度。

***Polygonum nipponense* Makino in B. M. T. 23: 89 (1909)**—Ohwi, Fl. Jap. 468 (1959).

ヤノネグサ. 下部水辺にまれに生ずる多年草。

採集地. 江清里。 分布. 北一九, 朝。

***Polygonum nodosum* Pers.**—Nakai, Fl. Kor. II. 167 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 469 (1959).

オオイヌタデ. 下部路傍に生ずる1年草。

採集地. 三丁里, 悟道—馬川, 雲峰。 分布. 北一九, 朝, 北半球の温帯一般に生ず。

***Polygonum orientale* L.**—Ohwi, Fl. Jap. 469 (1959).

オオケタデ. 下部人家に栽培されている観賞用1年草。

採集地. 三丁里。 分布. 印度, マレーシア, 中国。

***Polygonum perfoliatum* L.**—Nakai, Fl. Kor. II. 171 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 466 (1959).

イシミカワ. 中腹以下の路傍に生ずる一年生蔓草。

採集地. 伴仙洞, 咸陽, 雲峰, 水落, 艾嶺, 登九峠, 義灘里, 徳田。

分布. 樺一九, 朝, 満, 中国, アムール, ウスリー, 印支, 比, 印。

***Polygonum persicaria* L.**—Nakai, Fl. Kor. II. 167 (1911)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 260 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 471 (1959).

ハルタデ. 下部路傍, 耕地等に生ず。

採集地. 義灘里, 江清里, 咸陽, 楸城里。

分布. 北一九, 朝, ヨーロッパ, 北米, シベリア。

Polygonum senticosum Fr. et Sav.—Nakai, Fl. Kor. II. 171 (1911)—Mak et Nem., Fl. Jap. 263 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 466 (1959).

ママコノシリヌグイ. 下部路傍に生ずる1年生蔓草。

採集地. 水落, 三丁里, 楸城里, 咸陽, 白武洞—馬川。

分布. 北一九, 朝, 中国。

Polygonum sieboldi Meissn.—Ohwi, Fl. Jap. 468 (1959).

アキノウナギツカミ. 下部水湿地に生ずるやや蔓状の1年草であるが時に上部の水辺にも生ずる。

採集地. 細石, 臥雲, 法華山, 雲峰, 上峰谷, 悟道峠—馬川, 水落, 三峰山, 三丁里, ウンボンモデミ。 分布. 北一九, 朝, 中国, 東シベリア。

Polygonum thunbergii Sieb. et Zucc.—Nakai, Fl. Kor. II. 171 (1911)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 264 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 467 (1959).

ミソソバ. 下部水湿地に生ずる1年草。

採集地. 馬川—三丁里, 雲峰。 分布. 北一九, 朝, 中国, ウスリー。

備考. 白花品を *forma leucantha* シロバナミソソバ. といい, 三丁里附近のものは概ね白花品である。雲峰にもあつた。 分布. 本, 朝。

Polygonum viscoferum Makino in B. M. T. 17: 115 (1903)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 265 (1951)—Ohwi, Fl. Jap. 471 (1959).

ネバリタデ. 各所の草原に生ずる1年草。

採集地. 三峰山頂上, 臥雲—般若峰。 分布. 北—琉, 朝。

備考. 本種に似てやや大形で全体に毛の少ないものを, *var. robustum* Makino—Ohwi, l. c. オオネバリタデと云う。 採集地. 雲峰—八郎峠, 白武洞, 昌元里, 悟道峠。 分布. 北一九, 朝。

Polygonum viscosum Hamilt.—Nakai, Fl. Kor. II. 167 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 469 (1959).

ニオイタデ. 下部路傍にまれに生ずる1年草。

採集地. 月坪里。 分布. 本一九, 朝, 中国, 印度。

Rumex L. ギンギン属。

1 { 全形小, 高さ30cm. 内外, 根葉には2~3の欠刻がある……………ヒメスイバ
全形大形, 葉に欠刻がない……………2

2 { 果実の翼(花被の内片)はやや卵形, 刺状鋭歯縁……………アレチギンギン
果実の翼はやや心形又はやや円形, 波状縁或は歯縁……………3

3 { 翼はやや心形, 基部に歯牙を有す, 瘤体は大きく顕著. 楕円状卵形……………ギンギン
翼は丸く心脚, 波状縁, 瘤体は小さくほぼ球形……………スイバ

Rumex acetosa L.—Nakai, Fl. Kor. II. 174 (1911)—Veg. Mt. Chirisan 31 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 459 (1959).

スイバ. 原野路傍にまれに生ずる多年草。

採集地. 臥雲, 達宮, 雲峰。 分布. 北一九, 朝, 北半球の温帯一般。

Rumex acetosella L.—Nakai, Fl. Kor. II. 174 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 459 (1959).

ヒメスイバ. 路傍に生ずる多年草。

採集地. 浮雲峠, 馬川。 分布. 北一九, 朝, 欧州及びアジアの原産。

Rumex conglomeratus Murr.—Nakai in B. M. T. 23: 456 (1909)—Veg. Mt. Chirisan 31 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 460 (1959).

アレチギシギシ. 下部路傍にまれに生ずる多年草, 果実の翼の網脈が著しい。

採集地. 咸陽。 分布. ヨーロッパ原産の帰化植物で北米にもある。

Rumex japonicus Houtt.—Nakai, in B. M. T. 23 : 454 (1909)—Ohwi, Fl. Jap. 460 (1959).

ギシギシ. 下部路傍にまれに見る多年草。

採集地. 雲峰, 悟道峠—馬川, 咸陽, 伴仙洞, 白武洞。

分布. 樺一九, 朝, カムチャッカ。

備考. 中井博士は *Rumex longifolius* DC = *R. domesticus* L. ノダイオウを記録しているが余は見出し得なかつた。

CHENOPODIACEAE アカザ科

Chenopodium L. アカザ属

- | | |
|---|--|
| 1 | { 葉は全縁, 卵形又は菱状卵形, 薄質, 細柄……………イワアカザ
{ 葉は波状歯牙縁, 卵状披針形, 菱状卵形, 披針形等……………2 |
| 2 | |
| | { 葉は卵状披針形, 披針形, 波状歯牙縁, 初夏開花……………コアカザ
{ 葉は菱状卵形, 全体やや壮大, 秋開花……………シロアカザ |

Chenopodium album L.—Nakai, Fl. Kor. II. 163 (1911)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 270 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 476 (1959).

シロアカザ. シロザ. 下部耕地, 人家附近の路傍や草地に生ず。

採集地. 登九峠, 雲峰, 咸陽, 白武洞, 三丁里。

分布. 北一九, 旧世界の原産, 各地に広く分布する。

Chenopodium ficifolium Smith—Mak. et Nem., Fl. Jap. 271 (1931)—Hatusima, Rep. 65 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 477 (1959).

コアカザ. 下部の路傍畑地等にやや普通に見られる1年草。

採集地. 昌元里, 咸陽, 楸城里, 浮雲峠, 悟道峠。

分布. 北一九, ヨーロッパ, シベリア西部。

Chenopodium koraiense Nakai in B. M. T. 35 : 141 (1921)—Mori, E. P. C. 138 (1922)—Ohwi, Fl. Jap. 476 (1959).

イワアカザ. ヤマアカザ. 下部人家附近の路傍, 耕地等にまれに生ずる無毛の1年草。

採集地. 登九峠。 分布. 本(西), 九(北), 朝。

AMARANTHACEAE ヒユ科

- | |
|---|
| { 葉は互生, 葯は2室, 種子は円形…………… <i>Amaranthus</i>
{ 葉は対生, 葯は2室, 種子は長楕円形…………… <i>Achyranthes</i> |
| |

Achyranthes L. イノコズチ属

Achyranthes japonica Nakai in B. M. T. 34 : 39 (1920)—Mori, E. P. C. 139 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 274 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 483 (1959).

ヒカゲイノコズチ. イノコズチ. 下部路傍林縁等にまれに生ずる多年草。

採集地. 咸陽, 斗地洞, 高基里。 分布. 本一九, 朝。

Amaranthus L. ヒユ属

Amaranthus ascendens Loisel.—Ohwi, Fl. Jap. 482 (1959).

イヌヒユ. 下部路傍畑地等にまれに生ずる1年草, アオヒユに似ているが葉のさきは著しくくぼんでいる。

採集地. 雲峰, 咸陽, 三丁里, 楸城里。 分布. 北一九, 朝, 世界の暖地に広く分布す。

PHYTOLACCACEAE ヤマゴボウ科

Phytolacca L. ヤマゴボウ属

Phytolacca esculenta van Houtt.—Nakai, Fl. Kor, II. 175 (1911)—Mori, E. P. C. 141 (1922)

—Mak. et Nem., Fl. Jap. 280(1931)—Hatusima, Rep. 65(1934).—Ohwi, Fl. Jap. 484(1959).

ヤマゴボウ. 下部にまれに見られる多年草。

採集地. 馬川, 白武洞, 悟道峠。 分布. 北一台, 朝, 中国。

AIZOACEAE ザクロソウ科

Mollugo L. ザクロソウ属

Mollugo stricta L.—Nakai, Fl. Kor. I. 250 (1909)—Mori, E. P. C. 141 (1922)—Ohwi, Fl.

Jap. 486 (1959).

ザクロソウ. 低地の耕地路傍等にまれに生ずる1年草。

採集地. 悟道峠, 馬川, 雲峰。 分布. 本一台, 朝, 東部アジア。

PORTULACACEAE スベリヒユ科

Portulaca L. スベリヒユ属

Portulaca oleracea L.—Nakai, Fl. Kor. I. 92 (1909)—II. 453 (1911)—Mori, E. P. C. 141

(1922)—Hatusima, Rep. 65 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 486 (1959).

スベリヒユ. 下部路傍耕地等にまれに生ずる1年生伏臥草。

採集地. 浮雲峠, 雲峰, 馬川, 咸陽。

分布. 北一台, 朝, 満, 世界の暖地に広く分布す。

CARYOPHYLLACEAE ナデシコ科

Arenaria L. ノミノツヅリ属

Arenaria serpyllifolia L. var. *tenuior* Mert. et Koch—Ohwi, Fl. Jap. 491 (1959).

ノミノツヅリ. 下部の路傍耕地等にしばしば見られる1~2年草。

採集地. 雲峰, 白武洞, 義灘里, 浮雲峠, 咸陽。

分布. 北一九, 朝, ヨーロッパ及びアジアの原産で世界に広く分布す。

Cerastium L. ミミナグサ属

Cerastium caespitosum Gilib. var. *ianthes* Hara—Ohwi, Fl. Jap. 494 (1959).

ミミナグサ. 人家附近の草地, 林内の路傍等にまれに生ずる1~2年草。

採集地. 天王峰, 地藏堂, 細石, ウンボンモデミ, 般若峰, 咸陽, 雲峰, 白武洞, 浮雲里。

分布. 北一九, 朝, 中国。

Cucubalus L. ナンバンハコベ属

Cucubalus baccifer L. var. *japonicus* Miq.—Nakai, Fl. Kor. I. 81 (1909)—Hatusima, Rep. 66 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 501 (1959).

ナンバンハコベ. 下部人家附近の路傍にまれに生ずる多年草。

採集地. 山德里, 高基里。 分布. 樺一九, 朝, 満。

Dianthus L. ナデシコ属

花は淡紅色。弁片は絲状に深裂す。蔓筒は長さ2~3cm。小苞は卵形微凸端……カワラナデシコ
花は深紅色、弁片は不正歯牙縁、蔓筒は長さ2cm。小苞の先端は長く伸び……セキチク

Dianthus chinensis L.—Ohwi, Fl. Jap. 501 (1959).

セキチク。カラナデシコ。下部路傍草地等に普通見られる多年草、概ね花は深紅色だが純白のものもある。

採集地。山德里、三峰山下部、九龍里。碧松寺、悟道峠、扉峠、雲峰、馬川、咸陽、龍山里（純白花）。
分布。朝、中国。

Dianthus superbus L. var. *longicalycinus* Williams.—Nakai, B. M. T. 43: 457 (1929)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 290 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 501 (1959).

カワラナデシコ。下部草地に普通生ずる多年草。

採集地。白武洞、馬川、浮雲峠、三峰山、悟道峠、五峰、八郎峠。

分布。本一九、台、朝、中国。

Lychnis L. センノウ属

Lychnis cognata Maxim.—Mori, E. P. C. 145 (1922)—Hatusima, Rep. 67 (1934)—Nakai, Honda, Satake, Kitagawa: Index. Fl. Jehol. 15 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 503 (1959).

チョウセンマツモト。中腹以上の林地に普通生ずる全株有毛の直立性多年草で高さ30~50cm。葉は対生、短柄或はほとんど無柄、楕円状披針形、花は朱色。

採集地。山德里、艾嶺—馬嶺、臥雲、地藏堂、ウンボンモデミ。

分布。朝、満、中国。

Melandrium Fries フングロ属

茎は直立し分岐しない。花は腋生又は頂生。葉は長楕円形或は狭披針形……フングロ
茎は軟弱斜上生、花序は繊細、分岐する。葉は卵形、花弁は2中裂……チョウセンマンテマ

Melandrium firmum Rohrb.—Mori, E. P. C. 145 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 294 (1931)—Hatusima, Rep. 67 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 504 (1959).

フングロ。各部原野に生ずる多年草。

採集地。三丁里上、細石、三峰山、雲峰、悟道峠。

分布。北—琉、朝、中国、東シベリア。

Melandrium seoulense Nakai—Mori, E. P. C. 145 (1922)—Hatusima, Rep. 68 (1934).

チョウセンマンテマ。各部のやや平坦な岩石の無い森林内に生じ、多くは群落を形成す。

採集地。悟道峠、三峰山、細石—碧宵嶺、上林、悟道峠—馬川、蓮洞越、艾嶺。

分布。朝鮮特産。

Pseudostellaria Pax. ワチガイソウ属

- | | | | |
|---|---|---|------|
| 1 | } | 茎は蔓状に伸張り匍匐するものを生ず、匍匐茎の葉は卵形。匍匐茎を生ぜん前の茎は立ち、葉はやや細長くそれより側出する茎が長く伸びて匍匐する……ツルワチガイソウ | 2 |
| | | 茎は蔓状とならない…… | |
| 2 | } | 茎頂には卵形又は楕円形の広い葉が輪生状に生じ下部の葉は狭い…… | 3 |
| | | 茎頂の葉は広くない、花梗は葉よりも少し短、花部は無毛、茎及び葉柄には微毛を生ず……ヒゲネワチガイソウ | |
| 3 | } | 茎頂の正常花の花梗は葉よりも短く、花梗は有毛…… | ワダソウ |
| | | 茎頂の正常花の花梗は細長、葉よりも長く、葉は菱状卵形……チイサンワチガイソウ | |

Pseudostellaria davidi Pax.—Kitagawa in B. M. T. 49: 223 (1935)—Ohwi, in J. J. B. IX: 104 (1937).

ツルワチガイソウ. おおむね中腹以上の森林内に生ずる多年草、葉は対生、倒披針形、花梗は葉より稍長く有毛、後無毛となる。萼の脊面基部には捲縮白毛を生ず、弁片は倒卵形、萼片より長い、花後卵形葉を有する匍匐茎を出す。

採集地. 般若峰, 上峰谷, 馬巖一天王峰, 臥雲谷, 白武洞, ウンボンモデミ。

分布. 朝, 満, 東部シベリア。

Pseudostellaria heterophylla Pax.—Kitagawa in B. M. T. 49: 224 (1935)—Ohwi in J. J. B. 9: 99 (1937)—Fl. Jap. 493 (1959).

ワダソウ. 概ね低所の落葉層の発達しているような広葉樹林内にまれに生ずる多年草。花は茎頂に1~5個生じ花梗は有毛、常に葉よりも短かい。閉鎖花は多く、短梗、葉は茎頂に4葉輪生状をなすものは大形で下部のものは対生し狭小である。

採集地. 悟道峠, 三峰山, 碧松寺。

分布. 本, 九, 朝, 中国。

Pseudostellaria okamotoi Ohwi in J. J. B. 12: 387 (1936)—Jap. Journ. Bot. 9: 100 (1937).

チイサンワチガイソウ. 中腹以上の森林内にまれに見られる多年草、茎頂には常に4個の葉を輪生し中2枚はやや大きく楕円形或は卵状楕円形、両端尖る。他の2枚はやや狭小、長楕円形、卵状楕円形又は披針形、両端尖る。茎の下部の葉は狭小、倒披針形、花は茎頂に1ヶ、花梗は細長、葉よりも長いか或は同長、微毛を生じ、萼は無毛、茎は無毛、基部に閉鎖花を生じ、節部には捲縮毛を散生す。

採集地. 細石一碧宵嶺, 地藏堂, 般若峯, 細石。

分布. 智異山特産。

Pseudostellaria palibiniana Ohwi in A. P. G. 4: 32 (1935)—Jap. Journ. Bot. 9: 98 (1937)—Fl. Jap. 493 (1959).

ヒゲネワチガイソウ. イチゲワダソウ。中腹以下の森林内にまれに見る多年草。葉は線状披針形、茎頂のものはやや巾が広い。皆対生、茎と共に白毛を散生するか或は無毛。花梗は平滑、葉とはほぼ同長。

採集地. 雲峰, セコル山。

分布. 本, 朝。

Sagina L. ツメクサ属

Sagina japonica Ohwi, Fl. Jap. 489 (1959).

ツメクサ. 下部路傍に生ずる1年草。

採集地. 三丁里, 雲峰, 楸城里, 咸陽, 悟道峠。

分布. 北一九, 朝, 中国。

Stellaria L. ハコベ属

〔全株無毛, 葉は狭長楕円形或は長楕円形, 長さ通例1cm. 内外……………ノミノフスマ

〕〔全株有毛, 葉は楕円形或は卵状楕円形, 長さ3~5cm. 柱頭は5岐……………ウシハコベ

Stellaria aquatica Scop.—Nakai, Fl. Kor. 1.89 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 299 (1931)—Hatusima, Rep. 68 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 496 (1959).

ウシハコベ. 下部路傍に生ずる2~多年草。

採集地. 白武洞一馬川, 臥雲, 悟道峠一馬川, 咸陽, 浮雲峠, 三丁里。

分布. 北一九, 北半球の暖温帯, 北アフリカ。

Stellaria alsine Grimm. var. undulata Ohwi, Fl. Jap. 499 (1953, 1959).

ノミノフスマ. 下部路傍耕地等にまれに生ずる1年草又は2年草。

採集地. 馬川一白武洞, 義灘里, 山德里, 咸陽。

分布. 北一九, 朝, 中国。

CERATOPHYLLACEAE マツモ科

Ceratophyllum L. マツモ属

Ceratophyllum demersum L.—Mak. et Nem., Fl. Jap. 306 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 509 (1953, 1959).

マツモ. キンギョモ. 池沼中に生ずる多年生沈水草, 葉は5~12個を輪生す。

採集地. 山德里。 分布. 北一九, 朝, 全世界に分布す。

RANUNCULACEAE キンポウゲ科

Aconitum L. トリカブト属

- | | | | |
|---|---|---|------------|
| 1 | { | 茎は細く上部蔓状となる。子房は5個(減数して3~4のものあり), 無毛, 花は紫色 | |
| | |タチハナカズラ | |
| | { | 茎は決して蔓状とならない | 2 |
| 2 | { | 花兜は長く筒状, 上端球形, 淡黄緑色, 子房は3, 無毛, 根葉は長柄, 葉は5浅裂, 茎の葉は少ない | シラチャレイジンソウ |
| | { | 花は紫色又は黄色, 花兜は筒状ではない。葉は浅裂又は深裂, 茎全体に多い | 3 |
| 3 | { | 花は紫色, 子房は3~5, 有毛又は無毛 | 4 |
| | { | 花は黄色又は帯紫黄色, 子房は3, 多毛 | 5 |
| 4 | { | 葉は細裂, 茎はやや繊弱, 花は少数, 淡紫色, 子房は3, 有毛, 林地生 | チイサントリカブト |
| | { | 葉は3深裂, 側片は更に2裂, 花は頂生又は腋生, 多数, 濃紫色, 子房は5(減数して4個のものあり) 無毛又は僅か有毛 | モリトリカブト |
| 5 | { | 葉は通常5浅裂, スグリの葉に似る。花はやや黄色 | ウスギトリカブト |
| | { | 葉は細く深裂し花は帯紫黄色, 花兜は円い | キバナトリカブト |

Aconitum austro-koreense Koidz. —Hatusima, Rep. 69 (1934) —Nakai, Cont. Cognit. Fl.

Mansh. pt. II. 143 (1935).

ウスギトリカブト. 中下部の谷間の林地又は陽地にまれに生ずる多年草。

採集地. 白武洞, 碧松寺一艾嶺, 斗地洞。 分布. 朝鮮。

Aconitum chiisanense Nakai —Veg. Mt. Chirisan 32(1915) —J. J. B. 11: 147(1935) —Cont. Cognit. Fl. Mansh. pt. II. 142 (1935) —Mori, E. P. C. 149 (1922) —Hatusima, Rep. 69 (1934).

チイサントリカブト. 中腹以上の森林内に生ずる多年草。

採集地. ウンボンモデミ, 地藏堂一細石。 分布. 智異山彙の特産。

Aconitum ciliale A. P. DC. —Nakai, Cont. Cognit. Fl. Mansh. pt. II. 154 (1935).

タチハナカズラ. 下部草原, 低木群等に生ずる多年草。

採集地. 浮雲峠, 雲峰一徳頭山, 八郎峠。 分布. 朝, 満。

Aconitum koreanum Rapaics Raymund —Nakai in B. M. T. 28: 57 (1914) —Cont. Cognit. Fl. Mansh. pt. II. 151 (1935) —Mori, E. P. C. 149 (1922).

キバナトリカブト. 下部の草地, 低木群, 赤松疎林内等にまれに生ずる多年草。葉は細裂し茎は無毛, 花序に白軟毛を生ず。花は黄色で上部やや紅紫色を帯ぶ。

採集地. 浮雲峠の雲峰側下部, 水落, 八郎峠, 法華山。 分布. 朝, 満。

Aconitum longecassidatum Nakai, Fl. Kor. I. 27 (1909) tab. I. —Cont. Cognit. Fl. Mansh. pt. II. 147 (1935) —Mori, E. P. C. 150 (1922).

シラチャレイジンソウ. 中腹以上の林内特に尾根通りの樹陰地に比較的多く見られる高さ1m.内外に達する多年草で全体短毛を布き梢部には特に密生する。下葉は長柄, 通常5中裂, 上葉は3中裂又は深裂, 花は黄白色。

採集地. 智異登山道, 地藏堂一細石, 般若峰, 三丁里。

分布. 朝, 満。

Aconitum uchiyamai Nakai, Fl. Kor. I. 31 (1909) tab. III. —Cont. Cognit. Fl. Mansh. pt.

II. 143 (1943)—Mori, E. P. C. 151 (1922).

モリトリカブト. 中腹以上の原野又は疎林地等にやや多い多年草。

採集地. 悟道峠, 三峰山, 徳頭山, 般若峰, ウンボンモデミ, 地藏堂—天王峯, 細石—碧宵嶺, 碧松寺。 分布. 朝, 満。

備考. 本種の葉が深くさけて裂片の細いものを *var. dissectum Nakai* ホソバモリトリカブトという。中腹の草地又は林地にまれに生ず。 採集地. ウンボンモデミ, 徳頭山。又南面には *Aconitum pseudolaevae Nakai* を産することを報ぜられているが北面では見られなかつた。

Actaea L. ルイヨウショウマ属

Actaea asiatica Hara in J. J. B. 15: 313 (1939)—Ohwi, Fl. Jap. 535 (1953, 1959).

ルイヨウショウマ. 中腹以下の森林内に生ずる多年草。

採集地. 白武洞, 上峰谷, 霊源寺, 地藏堂, 臥雲, 般若峰。

分布. 北一九, 朝, 満, 中国, ウスリー。

Anemone L. イチリンソウ属

{ 総苞葉は花に接近し単純, 全縁, 根生葉は3裂, 裂片は全縁……………スハマソウ
{ 総苞葉は小梗によつて花と隔たる, 根葉は長柄, 1~2回3出, 小葉は3深裂……………アズマイチゲ

Anemone hepatica L. var. japonica Ohwi forma **nipponica** Ohwi, Fl. Jap. 518 (1953, 1959).

スハマソウ. 中腹以下の林内にまれに生ずる多年草, 全株有毛, 葉は皆根生, 長柄, 3中裂, 裂片は卵形, 全縁, 鈍頭, 花梗は葉柄と同長, 3~4月開花。

採集地. 霊源嶺, 五峰, 地藏堂—白武洞, 臥雲。 分布. 本, 朝。

Anemone raddeana Regel—Nakai, Fl. Kor. 1. 20 (1909)—II. 430 (1911)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 318 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 518 (1953, 1959).

アズマイチゲ. ウラベニイチゲ. 中腹以下の広葉樹林内にまれに生ずる多年草。高さ10~20cm。全体長毛疎生, 根葉は長柄, 3出, 小葉は有柄, 3深裂又は3全裂, 裂片は鋸歯縁, 葉状苞は3個輪生, 3全裂, 先端に2~3の歯牙がある。花は1個。

採集地. 白武洞, 雲峰。 分布. 樺一本, 朝, 満, 中国, アムール。

Caltha L. リュウキンカ属

Caltha gracilis Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 32 (1915)—Mori, E. P. C. 153 (1922)—Hatusima, Rep. 70 (1934).

ミヤマリュウキンカ. 中腹以上の谷間の水辺又は原野の水湿地にまれに生ずる多年草。葉は長柄, やや円形又は腎形, 深心脚, 鈍歯牙縁, 花は黄色。

採集地. ウンボンモデミ, 浮雲峠, 雲峰, 般若峯。 分布. 朝鮮。

Cimicifuga L. サラシナショウマ属

1 { 葉は1回3出, 大形, 基部心形……………オオミツバショウマ
1 { 葉は2~3回3出……………2

2 { 全草大形, 花序は多数分岐, 小葉は大, 頂小葉は3中裂又は深裂, 時に無分裂
2 { ……………フブキショウマ
2 { 全草やや小, 花序は単一又は下部少しく分岐する。小葉はやや狭い……………イッポンショウマ

Cimicifuga dahurica Maxim.—Kom., Fl. Mansh. II: 239 (1903)—Nakai, Fl. Kor. 1: 34 (1909)—Index. Fl. Jehol. 17 (1936)—Mori, E. P. C. 154 (1922)—Hatusima, Rep. 70 (1934).

フブキショウマ. 中腹以下の疎開した広葉樹林内にまれに生ずる多年草。サラシナショウマに似て大形で花序は非常に分岐する。

採集地. 上峰谷, 細石—碧宵嶺, 臥雲。

分布. 朝, 満, 中国, アムール, ウスリー, ダブリア。

Cimicifuga heracleifolia Kom., Fl. Mansh. II: 243 (1903)—Nakai, Fl. Kor. II. 435 (1911)
—Mori, E. P. C. 154 (1922).

オオミツバシヨウマ. 下部の原野, 低木群, 赤松疎林内等にまれに生ずる多年草, 葉は3出, 花序は分岐す。

採集地. 月坪里, 法華山, 楸城里。 分布. 朝, 満。

Cimicifuga simplex Wormsk var. *typica* Nakai in B. M. T. 30: 145 (1916)—Mori, E. P. C. 154 (1922).

イッボンシヨウマ. 中腹以上の森林内にまれに生ずる多年草。花序は通常1本長く伸び, 基部に小枝を出す。子房は長柄, 有毛。

採集地. 地藏堂—細石, 上峰谷, 八郎峠, 般若峰。

分布. 朝, 満, アムール, カムチャッカ。

Clematis L. センニンソウ属

- | | | | |
|---|---|---|--------------|
| 1 | { | 茎は直立, 小葉は3出, 欠刻状粗鋸歯縁, 花梗は多毛, 瘦果は卵形, 有毛, 尾状体は長さ約 | |
| | | 1cm. 灰色, 鬚毛を生ず | 2 |
| | | 蔓茎で葉柄や小葉柄が巻きひげの如く他物に巻きつく | 3 |
| 2 | { | 花は紫色 | タチクサボタン |
| | | 花は紅色 | ペニバナタチクサボタン |
| 3 | { | 葉は全縁, 卵形 | 4 |
| | | 葉は鋸歯縁 | 6 |
| 4 | { | 全体軟毛を生ず, 花は腋出, 1花, 瘦果の尾状体は4cm. に達し鬚毛は汚黄色 | カザグルマ |
| | | 全体無毛か或は僅かに毛がある。弁状萼は4, 長楕円形或は狭長楕円形, やや白色 | 5 |
| 5 | { | 花は腋出又は頂生, 1花, 花梗は2~4cm. 中央部に苞を対生す。葉は3出又は単一 | イチリンザキセンニンソウ |
| | | 聚散花序はやや多花, 頂生又は腋出, 小葉は通例3~5 | センニンソウ |
| 6 | { | 聚散花序は多花, 腋出又は頂生, 小葉は通例3出, 全体やや多毛。 | ボタンヅル |
| | | 花は腋出又は頂生, 単立又は3花 | 7 |
| 7 | { | 花は単立, 黄色—紫色で中間色のものがある。瘦果は有毛, 葉は3出 | ミツパハンシヨウヅル |
| | | 花は3個, 小葉は3~5, 瘦果は無毛 | オオボタンヅル |

Clematis apiifolia DC.—Nakai, Fl. Kor. 1: 8 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 322 (1931)
—Hatusima, Rep. 70 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 515 (1953, 1959).

ボタンヅル. 下部の原野, 低木群, 林縁等に生ずる蔓茎木本。

採集地. 九竜里—碧松寺, 馬川—白武洞, 伴仙洞, 昌元里。 分布. 本—琉, 朝, 中国。

Clematis brachyura Maxim.—Nakai, Fl. Kor. 1: 11 (1909)—Veg. Mt. Chirisan 83 (1915)—Mori, E. P. C. 155 (1922)—Hatusima, Rep. 71 (1934).

イチリンザキセンニンソウ. 低地森林内にまれに生ず。葉は3出, 無毛, 全縁。

採集地. 三峰山下部。 分布. 朝, 満, 中国, コーカサス。

Clematis komarovii Koidz. in A. P. G. 6: 63 (1937).

ミツパハンシヨウヅル. キバナハンシヨウヅル. 中腹以上の林地, 低木群等に普通見られる蔓茎木本で比較的陰地生のは黄色花で陽地のは紫花のものが多いがこの中間色調のものは多数ある。

採集地. 達宮, 地藏堂—天王峰, 馬巖—天王峯, 般若峰, 細石—碧宵嶺, 上峰谷, 扉峠—馬巖, 靈

源寺, 臥雲, ウンボンモデミ。 分布. 朝, 満。

Clematis maximowicziana Fr. et Sav.—Ohwi, Fl. Jap. 516 (1953).

センニンソウ. 下部原野, 低木群等にまれに生ず。

採集地. 白武洞, 馬川, 浮雲峠。 分布. 北一琉, 朝, 中国。

Clematis patens Morr. et Decne.—Nakai, Fl. Kor. 1: 7 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 326 (1931)—Hatusima, Rep. 71 (1334)—Ohwi, Fl. Jap. 515 (1953).

カザグルマ. 下部原野にまれに生ず。

採集地. 義灘里, 馬川, 徳田, 白武洞, 上林。 分布. 本一九, 朝, 満, 中国。

Clematis trichotoma Nakai in B. M. T. 26: 323 (1912)—Veg. Mt. Chirisan 83 (1915)—Mori, E. P. C. 157 (1922)—Hatusima, Rep. 71 (1934).

オオボタンツル. 中腹以下の低木群, 林縁等に生ず。

採集地. 馬巖—天王峰, 三丁里, 上峰谷, 地藏堂—白武洞, 達宮, 臥雲。 分布. 朝。

Clematis urticifolia Nakai in Tyōsen Sanrin Kaihō no. 122-5. p. 23 (1935)—Kitagawa in J. J. B. 13: 346 (1937).

タチクサボタン. ツボクサボタン. 中腹以下の比較的岩石の多い原野にまれに生ずる亜低木でクサボタンに比して花は立つ。又本種の花は通例紫色であるが時に紅色のものがある。これを *forma rosea* Nakai in J. J. B. 13: 350 (1937). ベニバナタチクサボタンという。横峠及び扉峠で採集す。

採集地. ウンボンモデミ, 月坪里, 艾嶺—馬巖, 扉峠。 分布. 朝, 中国。

Isopyrum L. シロカネソウ属

Isopyrum raddeanum Maxim.—Nakai, Fl. Kor. I. 25 (1909)—II: 432 (1911)—Ohwi, Fl. Jap. 538 (1953).

マンカンシロカネソウ. チチブシロカネソウ. 海拔 1000m. 附近の広葉樹林内にまれに生ずる多年草。高さ 15~20cm. となる。

採集地. 白武洞。 分布. 本, 朝, 満, ウスリー。

Megaleranthis Ohwi モデミソウ属

本属は1935年6月15日著者と共にウンボンモデミに幕営し附近の植物調査をした際に大井博士が発見したもので珍しい1新属であつたので直ぐ詳しく研究されて植物分類地理に発表したものである。

Megaleranthis saniculifolia Ohwi in A. P. G. 4: 131 (1935).

モデミソウ. 生育地は広葉樹林内の小さな水流の際の草地内で既に実になつていたのでちよつと発見し難い形となつていた。高さ 30cm. 内外の多年草で根葉は長柄, 3全裂, 側裂片は更に2深裂し中裂片と共に欠刻状鋭鋸歯縁, 表面は緑色, 下面帯白色, 茎の花部の直ぐ下にある総苞は根葉と同形である。萼片5, 白色弁状, 花卉黄色, 小形で扁平, 雄蕊は多数, 心皮多数, 先端は次第に細まり長さ 3mm. ばかりの花柱となる。蒴は扁平, 種子は漆黒色, 平滑, 倒卵形—楕円形, 長さ 1.5mm. 径 1mm.

採集地. ウンボンモデミ。 分布. 朝鮮特産。

Paeonia L. ボタン属

Paeonia japonica Miyabe et Takeda—Mak. et Nem., Fl. Jap. 332 (1931)—Hatusima, Rep. 72 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 541 (1953).

ヤマシャクヤク. 中腹以上の森林内にまれに生ずる多年草。

採集地. 白武洞, ウンボンモデミ, 般若峰, 細石。

分布. 本一九, 朝, 満, 東部シベリア。

Pursatilla Mill. オキナグサ属

Pursatilla koreana Nakai—Mori, E. P. C. 159 (1922)—Nakai, *Kōryō Sikenrin no Ippan* 34 (1932)—Hatusima, Rep. 72 (1934).

チョウセンオキナグサ. 下部原野に生ずる多年草。全株多毛，根生葉は羽状裂，裂片は更にやや羽状に数裂す。4月開花。

採集地. 高基里，九竜里—碧松寺，浮雲峠，雲峰，白武洞，山德里。

分布. 朝鮮特産。

Ranunculus L. キンポウゲ属

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1 | { | 集果は楕円形又は長楕円形，全株開出粗毛を布く……………コキツネノボタン | 2 |
| | | 集果は球形，全株粗毛を布く…………… | |
| 2 | { | 根生葉は3深裂又は中裂，瘦果は卵形，短嘴，花弁は大，美なり……………ウマノアシガタ | 3 |
| | | 葉は2～3回全裂，瘦果はやや長嘴，ほぼ果の半長…………… | |
| 3 | { | 葉は1回3出，裂片は更に2～3深裂又は中裂，終裂片は卵形—長楕円形……………ケキツネノボタン | 3 |
| | | 葉は2回3出，裂片は狭長，楔状倒披針形，粗鋭鋸齒縁……………オトコゼリ | |

Ranunculus cantoniensis DC.—Ohwi, Fl. Jap. 526 (1953, 1959).

ケキツネノボタン. 下部路傍，水辺等にまれに生ずる多年草。

採集地. 徳田，細石。 分布. 本—九，台，朝，中国南部。

Ranunculus chinensis Bunge—Mori, E. P. C. 160 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 334 (1931)—Hatusima Rep. 73 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 525 (1953, 1959).

コキツネノボタン. 路傍，水辺等に生ずる多年草。

採集地. 三丁里，徳田，雲峰，白武洞，臥雲，江清里。 分布. 本，朝，中国，東シベリア。

Ranunculus japonicus Thunb.—Hatusima, Rep. 73 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 524 (1953, 1959).

ウマノアシガタ. キンポウゲ. 中腹以下の原野，路傍等に生ずる比較的開出毛の多い多年草。

採集地. ウンボンモデミ，水落，般若峰，セコル山，浮雲峠，咸陽，三峰山下部，悟道峠。

分布. 北—九，琉，台，朝，中国。

Ranunculus tachiroei Fr. et Sav.—Nakai, Fl. Kor. I: 22 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 337 (1931)—Hatusima, Rep. 73 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 526 (1953, 1959).

オトコゼリ. 下部路傍，水辺等にまれに生ずる多年草。

採集地. 三丁里，悟道峠，三峰山下部。 分布. 本，朝。

Thalictrum L. カラマツソウ属

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1 | { | 花糸は棍棒状又は匙状，葯は短，瘦果は有柄……………2 | 3 |
| | | 花糸は絲状，瘦果は無柄…………… | |
| 2 | { | 花糸は棍棒状，葉は顕著な托葉を有す。全体やや粉白色を帯ぶ……………カラマツソウ | 3 |
| | | 花糸は匙形，托葉はない……………ミヤマカラマツ | |
| 3 | { | 葉は2回3出，小葉は大，広卵形，瘦果は狭卵形，縦稜がある……………シギンカラマツ | 3 |
| | | 葉は再三羽状複生，小葉は小，不斉形，瘦果は狭倒卵形……………アキカラマツ | |

Thalictrum actaeifolium Sieb. et Zucc.—Mori, E. P. C. 101 (1911)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 338 (1931)—Hatusima, Rep. 74 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 530 (1953, 1959).

シギンカラマツ. 中腹以下の林地，林縁，低木群，原野等に生ずる多年草，葉は再三3出，小葉は大形，下面網状脈顕著。

採集地. 山德里，九竜里—碧松寺，扉峠，三峰山，艾嶺—馬巖，三峰山，高基里，月坪里，楸城里，八郎峠，地藏堂—白武洞，靈源寺。 分布. 本—九，朝。

Thalictrum aquilegifolium L.—Nakai, Fl. Kor. I: 14(1909)—Mori, E. P. C. 161(1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 339(1931)—Hatusima, Rep. 74(1934)—Ohwi, Fl. Jap. 530(1953, 1959).

カラマツソウ. 中腹以上の林地, 低木群, 原野等に生ずる多年草。

採集地. 馬巖—天王峰, 地藏堂, 艾嶺。

分布. 北一九, 欧亜大陸の北温帯及び亜寒帯に分布す。

Thalictrum filamentosum Maxim. var. tenerum Ohwi, Fl. Jap. 531 (1953).

ミヤマカラマツ. 中腹以上の林地に普通見られる多年草。

採集地. 上峰谷, 細石—碧宵嶺, 碧松寺—艾嶺, 地藏堂—白武洞, ウンボンモデミ, 白武洞, 臥雲, 達宮, 馬巖。 分布. 千, 北一九, 朝, 満。

Thalictrum thunbergii DC.—Ohwi, Fl. Jap. 530 (1953, 1959).

アキカラマツ. 下部原野, 低木群等に生ずる多年草で非常に変化に富む。

採集地. 白武洞, 水落, 九竜里—碧松寺, 三丁里, 扉峠, 八郎峠。

分布. 樺一九, 朝, 満, 中国, 東シベリア。

LARDIZABALACEAE アケビ科

Akebia Decaisne アケビ属

Akebia quinata Decaisne—Nakai, Fl. Kor, I : 40 (1909)—Fl. Sylv. Kor. 21 : 41 (1936)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 344 (1931)—Hatusima, Rep. 75 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 542 (1953, 1959).

アケビ. 下部林地にまれに生ずる, 蔓は左まき。

採集地. 馬川—三丁里, 花水里, 雲峰, 白武洞, 咸陽, 横峠。 分布. 本一九, 朝, 中国。

BERBERIDACEAE メギ科

Berberis L. メギ属

Berberis amurensis Rupr.—Nakai, Veg. Mt. Chirisan 32 (1915)—Fl. Sylv. 21 : 68 (1936)—Mori, E. P. C. 163 (1922)—Hatusima, Rep. 75 (1934).

オオバメギ. 中腹以上の森林内に普通見られる落葉低木, 針は1~3岐。

採集地. 楸城里, 馬巖—天王峰, 地藏堂—細石, 上峰谷上部。

分布. 樺一九, 朝, 満, 中国, ウスリー, アムール。

Caulophyllum Michx. ルイヨウボタン属

Caulophyllum robustum Maxim.—Hatusima, Rep. 75 (1934)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 21 : 62 (1936)—Ohwi, Fl. Jap. 544 (1953, 1959).

ルイヨウボタン. おおむね中腹の森林内に生ずる多年草。

採集地. 艾嶺—馬巖。 分布. 樺一九, 朝, 満, ウスリー, アムール。

MENISPERMACEAE ツツラフジ科

Cocculus DC. アオツツラフジ属

Cocculus trilobus DC.—Mak. et Nem., Fl. Jap. 351 (1931)—Hatusima, Rep. 76 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 549 (1953, 1959).

アオツツラフジ. 下部原野, 林地等に生ずる, 蔓は左まき。

採集地. 月坪里, 金鑑里, 三丁里, 咸陽。 分布. 北一台, 比, 朝, 中国。

Menispermum L. コウモリカズラ属

Menispermum dauricum DC.—Nakai, Fl. Kor. 1 : 40 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 352 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 548 (1953, 1959).

コウモリカズラ. 下部路傍，林縁等にまれに生ずる多年生蔓草。葉は楕状腎円形又は心円形，4～5月開花，7月熟す。

採集地. 馬川—白武洞，楸城里，雲峰，三丁里。

分布. 北—九，朝，満，中国北部，東シベリア。

MAGNOLIACEAE モクレン科

Magnolia L. モクレン属

Magnolia sieboldii K. Koch—Hara in J. J. B. 16 : 255 (1940)—Ohwi, Fl. Jap. 551 (1953, 1959)—Rehd., Bibliog. Cult. Tr. & Shr. 180a (1949).

オオヤマレンゲ. 中腹以下の岩石多き谷間及び谷頭等に普通生ずる大形低木。

採集地. 地藏堂—白武洞，三丁里，碧松寺—扉峠，艾嶺—馬巖，臥雲谷，三峰山，セコル山，般若峰。

分布. 本—九，朝，中国。

Schisandra Michx. マツブサ属

Schisandra chinensis (Turcz.) Boill.—Hatusima, Rep. 77 (1934)—Rehd., Bibliog. Cult. Tr. and Shr. 185a (1949)—Ohwi, Fl. Jap. 552 (1953, 1959).

チョウセンゴミシ. 中腹以下の低木群，疎林地，林縁等に多く生ずる蔓植物で特に岩石に富む疎林地には多い。

採集地. 艾嶺附近，三峰山，地藏堂—白武洞，上峰谷。

分布. 樺—本，朝，満，中国，アムール。

LAURACEAE クスノキ科

Lindera Thunb. クロモジ属

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1 | { | 葉は心形或は卵形，下面多毛，先端3浅裂或は無分裂……………ダンコウバイ | |
| | | 葉は楕円形，長楕円形或は倒披針形，さげない……………2 | |
| 2 | { | 葉は長楕円状披針形或は倒卵状楕円形，両端尖り長さ10～15cm. 葉柄は1～1.5cm. 高木。 | |
| | | ……………カナクギノキ | |
| | | 葉は楕円形或は長楕円形，革質，かめばショウブのような香がする。長さ通例6～8cm. | |
| | | 葉柄は長さ5mm. 内外……………ヤマコウバン | |

Lindera erythrocarpa Makino in B. M. T. 11 : 219 (1897)—Nakai, Fl. Kor. II : 178 (1909)—Ohwi, Fl. Jap. 556 (1953, 1959).

カナクギノキ. 約1000m. 以下の林地各所に見られる落葉高木。

採集地. 白武洞，臥雲，高基里，三峰山。 分布. 本—九，朝，中国。

Lindera glauca Blume—Mak. et Nem., Fl. Jap. 368 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 556 (1953, 1959).

ヤマコウバン. 南面では谷間の森林にまれに生ずるが北面では略600m. 以下の疎林地，低木群等に生ず。

採集地. 白武洞，咸陽，楸城里，上林。 分布. 本—九，朝，中国。

Lindera obtusiloba Blume—Nakai, Fl. Kor. II : 178 (1911)—Mak. et Nem., Fl. 368 Jap. (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 556 (1953, 1959).

ダンコウバイ. 約1200m. 以下の谷間の森林内の下木として普通生ずる落葉低木。

採集地. 高基里，臥雲，靈源寺，三峰山，上峰谷，達宮，地藏堂—白武洞。

分布. 本—九，朝，満，中国。

PAPAVERACEAE ケシ科

Chelidonium L. クサノオウ属

- { 2年草, 茎は分岐し葉がある。高さ30~80cm。繖状花序は腋生, 有梗……………クサノオウ
 { 多年草, 花茎は長く葉がない。繖状花序, 花弁は黄色, 大形……………イヌヤマブキソウ

Chelidonium hylomeconoides Ohwi, Fl. Jap. 561 (1953, 1959).

イヌヤマブキソウ. 海拔1300m. 附近の谷頭のような処の広葉樹林内にまれに生ずる多年草。葉は羽状複生, 小葉は1~2対, 鋸歯縁, 花茎は葉よりも長く葉を欠く。花は黄色。

採集地. 臥雲谷上部(蓮洞越)。 分布. 朝鮮南部の特産。

Chelidonium majus L. var. **asiaticum** Ohwi, Fl. Jap. 561 (1953, 1959).

クサノオウ. 下部路傍に生ずる2年草。

採集地. 昌元里, 徳洞, ウンボンモデミ, 楸城里, 白武洞, 雲峰, 悟道峠。

分布. 北一九, 朝, 東亜温帯。

Corydalis DC. キケマン属

- { 花は黄色, 2年草, 茎は斜上又はやや直立……………2
 1 { 花は淡紫色, 多年草, 茎は10~20cm。繊弱, 葉は通例2回3出, 小葉は長楕円形, 通例長さ
 { 1~2cm. ………………チョウセンエンゴサク
 { 茎は長く蔓状に伸ぶ, 5稜, 小葉は楕円形, 全縁或はやや波状縁……………ナガミノツルケマン
 2 { 茎はやや直立或は斜上, 小葉は卵形, 楕円形等で鋸歯を有するか, 又は線状に細裂する
 { ………………エゾキケマン

Corydalis ochotensis Turcz. var. **raddeana** Nakai—Ohwi, Fl. Jap. 564 (1953, 1959).

ナガミノツルケマン. 下部人家附近の路傍又は谷間の林内にまれに生ずる2年草, 葉は2~3回3出, 小葉は卵形, 全縁或は2~3裂, 下面粉白, 総状花序は疎花, 苞は披針状卵形。

採集地. 達宮, 高基里。 分布. 北一九, 朝, 満, 東シベリア。

Corydalis speciosa Maxim.—Mak. et Nem., Fl. Jap. 382 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 565(1953, 1959).

エゾキケマン. 中腹以下の広葉樹林内にまれに生ずる多年草。

採集地. 五峰, 白武洞, 楸城里, 江清里, 臥雲, 三丁里。

分布. 樺一本, 朝, 満, 中国北部, 東シベリア。

Corydalis turtschaninovii Bess.—Ohwi, A. P. G. V: 147 (1936).

チョウセンエンゴサク. 森林内にまれに生ずる多年草, 高さ10cm. 内外。

採集地. 五峰, 雲峰, 白武洞, 天王峯。 分布. 朝。

Dicentra Bernh. コマクサ属

Dicentra spectabilis Lemaire—Mori, E. P. C. 169 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 382 (1931)—Hatusima, Rep. 79 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 562 (1953, 1959).

ケマンソウ. 下部山間部の人家附近, 林縁, 森林内等にまれに生ずるやや大形の多年草。

採集地. 白武洞, 臥雲, ウンボンモデミ。 分布. 朝, 満, 中国。

CRUCIFERAE アブラナ科

Arabis L. ハタザオ属

- 1 { 茎は斜上又は平臥, 長角は長さ10~20mm. 多少じゆず状にくびれる……………ハクサンハタザオ
 { 茎は直立, 葉は無柄, 基部に耳垂がある……………2

- 2 { 茎は基部に粗毛あるも他は無毛滑沢, 帯白色, 角は細長, 茎に平行して直立, 葉は全縁
ハタザオ
 茎は全部有毛, 緑色, 角はやや側方に開出, 葉は疎歯牙縁.....ヤマハタザオ

Arabis gemmifera Makino—Ohwi, Fl. Jap. 581 (1953, 1959).

ハクサンハタザオ. ツルタガラシ. 海拔 1300~1500m. 附近の広葉樹林, 針広混交林又は針葉樹林内等に生じ小群落をなす場合があるも全体としてはまれである。

採集地. 般若峯, ウンボンモデミ, 蓮洞越。 分布. 北一本, 朝。

Arabis glabra Bernh.—Mori, E. P. C. 170 (1922)—Hatusima, Rep. 80 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 580 (1953, 1959).

ハタザオ. 各部特に尾根通りの草地や下部路傍等に生ずる 2 年草。

採集地. 地藏堂, 浮雲峠, 達宮, 九竜里—碧松等, 雲峰, 細石—碧宵嶺, 地藏堂—細石, 地藏堂—天王峰, 般若峰, 白武洞, ウンボンモデミ, 三丁里。

分布. 北—九, 朝. 北半球の温帯一般。

Arabis hirsuta Scop.—Nakai, Fl. Kor. I: 54 (1909)—II. 440 (1911)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 390 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 580 (1953, 1959).

ヤマハタザオ. 各所の原野, 林縁等に生ずる多年草。

採集地. 臥雲谷, ウンボンモデミ, 般若峰, 細石, 浮雲峠。

分布. 北, 本, 九, 朝, 北半球の温暖帯。

備考. 中井博士は智異山植物調査報告でミヤマハタザオ (*A. lyrata* L.) 及びチョウセンハタザオ (*A. columnalis* Nakai) を記録している。後者はハタザオに似て下葉は一層毛深い多年草で智異山特産の珍種との事である。又初島氏は九大演習林報告 5 号でイワハタザオ (*A. glauca* Boiss.) を報じている。

Barbarea R. Br. ヤマガラシ属

Barbarea orthoceras Ledeb.—Ohwi, Fl. Jap. 574 (1953, 1959).

ヤマガラシ. ミヤマガラシ. 谷間の水辺に生ずる多年草。南面では初島氏によつて記録されているが北面では未だ見ない。

分布. 北一本, 朝, 満, 東シベリア, カムチャッカ, 北米。

Capsella Medik. ナズナ属

Capsella bursa-pastoris Medik.—Nakai, Fl. Kor. 159 (1909)—Mori, E. P. C. 172 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 395(1931)—Hatusima, Rep. 81(1934)—Ohwi, Fl. Jap. 576 (1953, 1959).

ナズナ. 下部耕地, 路傍等に生ずる 2 年草。

採集地. 地藏堂, 臥雲, 徳洞, 咸陽, 江清里。 分布. 北—九, 朝, 北半球の温帯一般。

Cardamine L. タネツケバナ属

- 1 { 茎は直立, 中部以上に枝を生ず, 葉は羽状全裂..... 2
 茎は直立或は斜上, 基部から分岐す, 葉は羽状全裂..... 3
- 2 { 葉は数枚, 小葉は 1~3 対, 下面に灰白毛が多い。長楕円状披針形, 不斉鋸歯縁
コンロンソウ
 葉は多数, 小葉は 5~8 対, 2~3 の鋸歯がある.....ジャニンジン
- 3 { 小葉は 2~3 対, 無毛, 2~3 の鋸歯がある。花は大, 角果は長さ 3~3.5cm. 柄は 1~2.5cm.
ハナタネツケバナ
 小葉は 4~5 対乃至 10 対, 有毛或は無毛, 花は小, 角果は長さ 1~2cm. 柄の長さ 2~7mm.
タネツケバナ

Cardamine amaraeformis Nakai in B. M. T. 26 : 324 (1912)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 33 (1915)—Mori, E. P. C. 192 (1922)—Hatusima, Rep. 82 (1934).

ハナタネツケバナ. 中腹以下の水湿地に生ずる多年草。

採集地. 臥雲谷, 般若峰, 白武洞, 達宮, 細石, 馬川—白武洞, 上峰谷。 分布. 朝。

Cardamine flexuosa With.—Mori, E. P. C. 173 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 396 (1931)—Ohwi, Fl. Jap. 570 (1953, 1959).

タネツケバナ. 下部の畦畔, 路傍, 耕地等に生ずる 1~2 年草。

採集地. 咸陽, 山德里, 雲峰。 分布. 北一九, 朝, 北半球の温帯一般。

Cardamine impatiens L.—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan. 33 (1915)—Mori, E. P. C. 173 (1922)—Mak. et Nem. Fl. Jap. 397 (1931)—Hatusima, Rep. 83 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 570 (1953, 1959).

ジャンジン. 中腹以下の林地にまれに生ずる 1~2 年草。

採集地. 地藏堂, 白武洞, 徳洞, 臥雲。 分布. 北一九, 朝, 欧亜の温帯一般。

Cardamine leucantha O. E. Schulz.—Nakai, Fl. Kor. I: 55 (1909)—Mori, E. P. C. 174 (1922)—Hatusima, Rep. 83 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 572 (1953, 1959).

コンロンソウ. 下部谷間の湿潤地にまれに生ずる多年草。

採集地. 碧松寺, 三丁里, 雲峰, 楸城里。 分布. 北一九, 朝, 満, 中国北部, 東シベリア。

備考. 初島氏は九大演習林報告でアイヌワサビ (*Cardamine yezoensis* Maxim. 同氏は *C. fauriei* Franch. を用ゆ) を報じているが北面では採集することが出来なかつた。

Descurainia Webb et Barth. クジラグサ属

Descurainia sophia Prantl—Hisachi, Kika-Shokubutu. p. 124 (1950)—Ohwi, Fl. Jap. 582 (1959).

クジラグサ. 下部路傍にまれに生ずる欧州原産の帰化植物。葉は 2 回羽状裂, 裂片は線形, 茎は直立, 30~50cm. 角は線形, 長さ約 2.5cm. 柄は 1~1.5cm. 花は黄色。

採集地. 雲峰。 分布. 世界各地に広く伝播す。

Dontostemon Andrz ハナハタザオ属

Dontostemon dentatus Ledeb.—Nakai, Fl. Kor. I: 57 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 400 (1931)—Hatusima, Rep. 83 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 582 (1953, 1959).

ハナハタザオ. 多くは低地の原野にまれに生ずる 2 年草で全体有毛, 葉には多少の不明鋸歯がある。長角は小梗を有し直立, 無毛。

採集地. 白武洞, 三峰山, 三丁里, 江清里, 徳田, 浮雲里, 知安峠。

分布. 本, 朝, 満, ダフリア。

Draba L. イヌナズナ属

Draba nemorosa L. var. **hebecarpa** Lindbl.—Nakai, Fl. Kor. I: 60 (1909)—Mori, E. P. C. 175 (1922)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 401 (1931)—Hatusima, Rep. 84 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 577 (1953, 1959).

イヌナズナ. 下部路傍にまれに見る 2 年草。

採集地. 臥雲, 白武洞。 分布. 北一九, 朝, 満, 中国。

備考. 本種の角に毛のない一品を var. *leiocarpa* Lindbl.—Nakai, Fl. Kor. : I 61 (1909)—

Index Fl. Jehol 20 (1936)—Mori, E. P. C. 175 (1922)—Ohwi, Fl. Jap. 577 (1959).

メイヌナズナ, アイズイヌナズナと云う。 採集地. 白武洞。

Rorippa Scop. イヌガラシ属

- 1 { 花は有苞の総状花序又は葉腋に単生, ほとんど柄は無い。葉は羽状中裂……………コイヌガラシ
- 1 { 花は総状花序, 無苞, 小梗は明瞭……………2
- 2 { 角は狭線形, 長さ15~25mm. 多少弯曲, 葉は長楕円形, 不斉歯牙状鋸齒縁……………イヌガラシ
- 2 { 角は円柱状長楕円形, 長さ4~6mm. 葉は羽状深裂又は全裂, 鋸齒縁……………スカシタゴボウ

Rorippa atrovirens Ohwi et Hara — Ohwi, Fl. Jap. 575 (1953, 1959).

イヌガラシ。下部路傍にまれに見る無毛の多年草。

採集地。山德里, 白武洞, 咸陽, 江清里。 分布。北一九, 朝, 中国, 印。

Rorippa cantoniensis Ohwi, Fl. Jap. 576 (1953, 1959).

コイヌガラシ。下部畦畔路傍にまれに生ずる1~2年草。

採集地。楸城里, 江清里, 咸陽。 分布。本一九, 朝, 満, 中国。

Rorippa islandica Borbás — Ohwi, Fl. Jap. 575 (1953, 1959).

スカシタゴボウ。下部畦畔路傍にまれに見る2年草。

採集地。馬川, 咸陽。 分布。北一九, 朝, 北半球の暖温帯一般。

Thalaspis L. グンバイナズナ属

Thalaspis arvensis L. — Nakai, Fl. Kor. I: 61 (1909) — Mak. et Nem., Fl. Jap. 409 (1931)

— Hatusima, Rep. 84 (1934) — Ohwi, Fl. Jap. 569 (1953, 1959).

グンバイナズナ。中腹以下の路傍, 耕地等にまれに生ずる2年草。

採集地。三丁里, 雲峰, 楸城里, 浮雲峠, 臥雲谷。 分布。世界各地に広く分布す。

CRASSULACEAE ベンケイソウ科

Orostachys Fisch. イワレンゲ属

- { 花序是集散状, 数花, 葉は線形, 狭倒披針形, 肉質無毛……………チャボツメレンゲ
- { 穂状花序, 多花, 葉は狭いへら形, 多肉, 花茎には披針形の葉を多数生ず……………ツメレンゲ

Orostachys erubescens Ohwi, Fl. Jap. 586 (1953, 1959).

ツメレンゲ。下部の河原や岩石の多い荒地に生ず。

採集地。雲峰, 咸陽。 分布。本一九, 朝, 東亜地方。

Orostachys sikokianus Ohwi, Fl. Jap. 585 (1953, 1959).

チャボツメレンゲ。中腹以上に普通, 時に上部峯通りの岩面に多く生ず。

採集地。楸城里, 般若峰, 三峰山, 徳頭山, 地藏堂。 分布。本一九, 朝。

Sedum L. キリンソウ属

- 1 { 太く肥厚する根茎がある。葉は多少の歯牙又は鋸齒を有す……………2
- 1 { 太く肥厚する根茎はない。匍枝, 無花枝, まれにムカゴを生じて越年する。葉には通常歯牙
- 1 { 又は鋸齒がない……………4
- 2 { 花は黄色, 花茎は根茎より単生又は双生し分岐しない。葉は倒披針形。長さ3~6cm.
- 2 { ………………ホソバノキリンソウ
- 2 { 花は淡緑白色又は帯紅紫色……………3
- 3 { 花は帯紫紅色, 高さ30~50cm. 葉は互生又は対生, 無柄……………ムラサキベンケイソウ
- 3 { 花は帯緑白色, 葉は輪生, 短柄を有す。歯牙状鋸齒縁……………ミツバベンケイソウ
- 4 { 葉は明らかに扁平, 上縁に微細の凹凸がある。ムカゴによつて繁殖する……………コモチマンネングサ
- 4 { 葉は円柱形又は僅か扁平, 線形, 狭倒披針形, ムカゴを生じない……………5
- 5 { 花枝の葉は輪生, 葉は狭倒披針形, 先端狭まり鈍端, 扁平, 長さ15~25mm.
- 5 { ………………ツルマンネングサ

花枝の葉は互生，葉は線形，倒披針狀線形，やや鋭頭，長さ10~20mm.

.....ツシマンネングサ
Sedum aizoon L.—Nakai, Fl. Kor. I: 229 (1909)—Hatusima, Rep. 85 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 590 (1953, 1959).

ホソバノキリンソウ. ヤマキリンソウ. 中腹以下の草地，岩石地等に生ずる多年草。

採集地. 艾嶺一馬巖，九竜里一碧松寺，白武洞，細石，悟道一馬川，三峰山，楸城里，徳洞，三丁里，般若峰，扉峠。 分布. 北一本，朝，シベリア。

Sedum bulbiferum Makino, Illust. Fl. Jap. I-10. t. 60 (1891)—Illust. Fl. Nipp. 501 (1940)—Hatusima, Rep. 85 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 592 (1953, 1959).

コモチマンネングサ. 下部の湿潤な陰地に生ずる多年草。

採集地. 雲峰，三丁里，咸陽。 分布. 本一九，朝。

備考. 小泉博士は朝鮮産のコモチマンネングサを栽培して種々の点において本州産のものとは異るとして *Sedum rosulato-bulbosum* Koidz. コウライコモチマンネングサを発表している。

Sedum sarmentosum Bunge —Nakai, Fl. Kor. I: 230 (1909)—Hatusima, Rep. 86 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 590 (1953, 1959).

ツルマンネングサ. 下部の陽地特に岩石多きところに生ずる多年草。葉は対生，黄花。

採集地. ウンボンモデミ，楸城里，九竜里一碧松寺，臥雲谷，浮雲峠，徳洞。

分布. 朝，満，中国。

Sedum telephium L. var. **purpureum** L.—Nakai, Fl. Kor. I: 228 (1909)—Ohwi, Fl. Jap. 589 (1953, 1959).

ムラサキベンケイソウ. 各所特に上部尾根通りの草地に多く中腹以下の草地には少い。

採集地. 三峰山，悟道一馬川，細石，月坪里，九竜里一碧松寺，艾嶺一馬巖，三丁里，般若峰，正嶺峠。 分布. 樺一九，朝，満，中国，シベリア，ヨーロッパ。

Sedum verticillatum L.—Nakai, Fl. Kor. I: 229 (1909)—Hatusima, Rep. 86 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 589 (1953, 1959).

ミツバベンケイソウ. 下部岩石地にまれに生ずる多年草。

採集地. 三丁里。 分布. 樺一本，朝，満，中国，シベリア，ヨーロッパ。

Sedum yabeanum Makino in B. M. T. 17: 10 (1903)—Ohwi, Fl. Jap. 591 (1953).

ツシマンネングサ. ウンゼンマンネングサ. 各所の岩面に生ずる多年草，花は黄色。

採集地. 碧松寺一艾嶺，地藏堂一白武洞，三峰山，上峰谷，伴仙洞，ウンボンモデミー人參谷，扉峠。 分布. 九，朝，満，中国。

SAXIFRAGACEAE ユキノシタ科

Astilbe Hamilt. チダケサン属

花序の枝はほとんど直立し短かく密花。花卉は紫色，花序は褐毛密生，頂小葉は通例楔脚，比較的幅狭し.....オオチダケサン
 花序の枝は水平に近く側出，花はやや疎につく。弁は白色又は紅紫色，花序の褐毛はやや少なく頂小葉は卵形，心脚又は鈍脚.....ミヤマチダケサン

Astilbe chinensis Maxim. var. **paniculata** Nakai in B. M. T. 33: 55 (1919)—Fl. Sylv. Kor. 15: 16 (1926)—Mori, E. P. C. 181 (1922).

ミヤマチダケサン. 中腹以下の草地に生ずる多年草で高さ50~100cm. 花は白色又は淡紫色，花は線形，長さ4~5mm. 萼片は長さ1mm. 以内。

採集地. 扉峠, 三峰山, 白武洞, 臥雲, 三丁里, 楸城里, 地藏堂, 馬巖, ウンボンモデミ, 蓮洞越, 中峰。 分布. 朝。

備考. 一見トリアンショウマに似ているが彼の花卉はサジ形である。

var. *dauidii* Franchet—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 34 (1915)—B. M. T. 36: 123 (1922)—40: 463 (1926)—Fl. Sylv. Kor. 15: 16 (1926)—Hatusima, Rep. 86 (1934)—Hara, Nova Fl. Jap. 13 (1939)—Ohwi, Fl. Jap. 594 (1953, 1959).

オオチダケサン. カラチダケサン. 中腹以下の草地に生ず。

採集地. 雲峰, 三丁里, 白武洞, 三峰山, 扉峠, 九竜里—碧松寺, 蓮洞越, 五峰。

分布. 九, 朝, 満, 中国, アムール, モーコ, ウスリー。

備考. 初島氏はトリアンショウマ *Astilbe congesta* Nakai を報じているが北面には見当らなかつた。

Chrysosplenium L. ネコノメソウ属

- | | |
|---|--|
| 1 | { 葉は互生, 蔓を出す, 蔓の葉は円形, 心脚, 茎葉は扇状……………ツルネコノメソウ
{ 葉は対生, 茎と共に有毛……………2 |
| 2 | |

Chrysosplenium baicalense Maxim.—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 34 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 15: 16 (1926)—Mori, E. P. C. 181 (1922)—Hatusima, Rep. 87 (1934).

ケネコノメソウ. シミズネコノメソウ. バイカルネコノメソウ. 谷間の陰地にまれに生ず。

採集地. 細石, 般若峰, 達宮。 分布. 朝, 満, アムール, ウスリー。

Chrysosplenium flagelliferum Fr. Schm.—Nakai, Fl. Kor. II:4 85 (1911)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 34 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 15: 17 (1926)—Ohwi, Fl. Jap. 604 (1953, 1959).

ツルネコノメソウ. 谷間の陰地に生ず。

採集地. 臥雲, セコル山, 地藏堂—白武洞, 上峰谷。

分布. 樺—九, 朝, 満, 中国。

Chrysosplenium pilosum Maxim.—Suto in J. J. B. 11: 490 (1935).

アカゲネコノメソウ. 中腹以上の樹陰地にまれに生ず, 葉は円形心脚, 正歯牙縁。

採集地. 白武洞, 細石—碧宵嶺, 臥雲谷。 分布. 朝, 満, アムール, ウスリー。

Deutzia Thunb. ウツギ属

- | | |
|---|--|
| 1 | { 花は側芽の花芽の中から1個宛出る。若枝, 葉, 萼, 花梗等に星毛がある……………2
{ 散房花序をなし多花, 花序は有毛又は無毛……………3 |
| 2 | |
| 3 | { 花序は無毛, 葉は広披針形又は長楕円形等にして鋭頭, 上面星毛散生……………チュウセンウツギ
{ 花序に星状毛がある。葉は楕円形又は卵状楕円形, 上下面共に星毛がある……………トウウツギ |

Deutzia coreana Lev. var. *tozawae* Hatusima, Rep. 88 (1934).

カインアンウツギ. 谷間の岩石地帯にまれに生ずる落葉低木。

採集地. 地藏堂—白武洞, 馬巖—天王峰, 臥雲, 細石—碧松嶺, 三峰山, 雲峰, 浮雲峠, 蓮洞越。 分布. 朝鮮特産。

var. *triradiata* Hatusima. l. c.

チイサンウメウツギ. 本種は智異山麓の特産で4本の花柱を有するものである。北面では未だこの形のを採集しない。

Deutzia glabrata Kom.—Nakai, Fl. Kor. I. 222 (1909)—Fl. Sylv. Kor. 15: 63. t. 19 (1926)—Hatusima, Rep. 88 (1934).

チョウセンウツギ. 中腹以下の林地に生ずる落葉低木。

採集地. 上峰谷, ウンボンモデミ, 地藏堂—白武洞, 臥雲谷。

分布. 朝, 満, 中国。

Deutzia parviflora Bunge—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 15: 65. t. 20 (1926)—Hatusima, Rep. 88 (1934).

トウウツギ. 中腹以下の森林内に普通見られる落葉低木, 葉, 果実共に星毛を有しチョウセンウツギより花, 果実共に小形。

採集地. 地藏堂—白武洞, 人參谷, 徳頭山, セコル山, 臥雲谷, 三丁里。

分布. 朝, 満, 中国, アムール。

Hydrangea L. アジサイ属

Hydrangea marcophylla Seringe var. **acuminata** Makino—Ohwi, Fl. Jap. 612 (1953, 1959).

ヤマアジサイ. 各所に生ずる落葉低木, 葉裏脈上の毛はごく少なく短い。

採集地. 細石, 扉峠, 般若峰, 白武洞, 三峰山, 五峰, 上峰谷, 碧松寺—艾嶺, 雲峰。

分布. 北—九, 台, 朝。

備考. 中性花がほとんど生じない変つたものもまれにある。霊源寺附近の林地で採集す。又小泉博士が *H. cuspidata* (Thunb.) Miq. にあてているニワアジサイは葉裏脈上の毛が長く多く且つ開出し葉もやや大きく鋸歯も粗大な形である。これはエゾアジサイの形に良く似ていると思う。智異山麓では各所に見られるがその採集地は白武洞, ウンボンボデミ, 白武洞谷上部, 楸城里, 咸陽, 蓮洞越, 艾嶺等で初島氏の九大報告 p. 89 のイワガク (*H. acuminata*, var. *pubescens* Koidz.) も同形ではないかと考える。

Parnassia L. ウメバチソウ属

Parnassia palustris L.—Ohwi, Fl. Jap. 609 (1953, 1959).

ウメバチソウ. 中腹以下の原野にまれに生ずる多年草。

採集地. 浮雲峠, 三峰山, 八郎峠, 白武洞, 法華山。

分布. 北—九, 朝, 北半球の温帯及び亜寒帯全般。

Philadelphus L. バイカウツギ属

1 { 新条, 葉柄, 葉裏等に毛多く花柱は無毛……………ナンセンバイカウツギ

1 { 枝及び葉の毛は散生するに過ぎない, 小花梗は有毛, 花柱は無毛又は有毛

1 { ウスババイカウツギ……………2

2 { 花柱に毛を散生す……………チョウセンバイカウツギ

2 { 花柱, 小花梗共に無毛……………ヒメバイカウツギ

Philadelphus scabra Nakai, Fl. Sylv. Kor. 15: 50 (1926). var. **glabrescens** Nakai in litt.

ナンセンバイカウツギ. 下部林地にまれに生ずる落葉低木, 新条, 花梗, 葉, 花柱等は皆有毛である。

採集地. 白武洞, 三丁里。 分布. 南鮮 (南海島から白羊山まで)。

備考. 中井博士は本変種は *P. tenuifolius* X *P. scabra* の方が正当かも知れぬと言われている。

Philadelphus tenuifolius Maxim.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 15: 52 (1926).

ウスババイカウツギ. 多くは中腹以下の林地に見られる落葉低木で1年枝は緑色, 花序, 小花梗と共に微毛がある。

採集地. 三丁里, 地藏堂—白武洞, 碧松寺, 臥雲, 上峰谷。 分布. 朝, 満, アムール。

備考. 本種の花柱に毛のあるものを *var. schrenckii* Nakai in litt.—*P. schrenckii* Rupr. ;

Nakai, Fl. Sylv. Kor. 15 ; 53 t. 12 (1926). チョウセンバイカウツギと云い、葉柄、葉等に
僅か毛を生じ花柱は無毛或は殆んど無毛である。

採集地. 地藏堂—白武洞, 碧松寺—艾嶺。

分布. 対馬, 朝, 満, アムール, ウスリー。

又小花梗に毛のない形を *var. pekinensis* Nakai in litt.—*P. pekinensis* Rupr. ; Nakai, Fl. Sylv.
Kor. 15 : 50 (1926). ヒメバイカウツギと云う。採集地. 浮雲峠。分布. 朝, 満, 中国北部。

Ribes L. スグリ属

枝はやや太く葉は長柄, 長いのは 6cm に達す。3 中裂, 裏面脈上は花序と共に細毛を布く

..... チョウセンモミジスグリ

枝はやや細く多数分岐し葉柄は 1cm 以下, 葉は 3 中裂, 両面脈上微毛散生

..... チョウセンザリコミ

***Ribes mandshuricum* Kom. var. *subglabrum* Kom.**—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 15 : 42 (1926)
—Hatusima, Rep. 90 (1934).

チョウセンモミジスグリ. 中腹の谷間の広葉樹林内又は 1500m. 附近の針広混交林内に生ずる落葉
低木。

採集地. 臥雲, 上峰谷, 艾嶺—馬巖, 般若峰, セコル山。分布. 朝鮮特産。

***Ribes maximowiczianum* Kom.**—Ohwi, Fl. Jap. 616 (1953, 1959).

チョウセンザリコミ. ザリコミ. 中腹以下の林地特に谷間の広葉樹林内又は海拔 1500m. 附近の針
広混交林内に生ずる落葉低木。

採集地. 碧松寺—艾嶺, 上峰谷, 楸城里, 智異登山道, 臥雲谷, 般若峰, 細石。

分布. 本, 朝, 満。

備考. 本州産のザリコミは多少欠刻深く側片は更に小葉片を有する形である。

Saxifraga L. ユキノシタ属

葉は長柄, 楕円形, 卵状楕円形, 倒卵状楕円形等, 疎歯牙縁, 花序は多岐, 茎と共に粗毛を布く

..... チョウセンイワブキ

葉は長柄, 有毛, 腎円形, 掌状浅裂, 心脚, 花茎は無葉, 無毛..... ダイモンジソウ

***Saxifraga fortunei* Hook. fil. var. *incislobata* Nakai in J. J. B. 14 : 228, 230 (1938)**—
Ohwi, Fl. Jap. 599 (1953, 1959).

ダイモンジソウ. 各所の森林内の適潤地か又はやや湿潤な岩面に生じ, しばしば小群落をなすも一
般的には少ない。

採集地. 上峰谷, 三峰山上部, 白武洞, 碧松寺—艾嶺。

分布. 樺—九, 朝, 満, 中国, ウスリー。

***Saxifraga oblongifolia* Nakai, Fl. Kor. I : 218. t. 11 (1909)**—Rep. Veg. Mt. Chirisan 34
(1915)—Hatusima, Rep. 91 (1934).

チョウセンイワブキ. 中腹以上の森林内の湿潤地又は湧水ある岩面等に生じ小群落をなすも一般
的には少ない。

採集地. 馬巖, 楸城里, 上峰谷, 智異登山道, 中峰。分布. 朝鮮特産。

HAMAMELIDACEAE マンサク科

Corylopsis Sieb. et Zucc. トサミズキ属

***Corylopsis gotoana* Makino in B. M. T. 15 : 111 (1901)**—Hatusima, Rep. 91 (1934)

Ohwi, Fl. Jap. 620 (1953, 1959).

コウヤミズキ. ミヤマトサミズキ. 多くは下部の岩石地に团状をなして生ずるがまれである。落葉低木。

採集地. 臥雲, 浮雲里, 伴仙洞, 白武洞。 分布. 本, 九, 朝。

ROSACEAE ハラ科

Spiraeoideae シモツケ亜科

Aruncus Kostel. ヤマブキシヨウマ属

Aruncus sylvester Kostel.—Nakai, Fl. Kor. I. 174 (1909)—Hatusima, Rep. 92 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 627 (1953, 1959).

ヤマブキシヨウマ. 中腹以上の森林内又は林縁に生ずる多年草。

採集地. 馬巖一天王峰, 艾嶺一馬巖, 地藏堂, 細石, ウンボンモデミ。

分布. 樺一九, 朝, 北半球の温帯及び亜寒帯一般。

Spiraea L. シモツケ属

- | | | | |
|---|---|--|---------|
| 1 | } | 花は前年の枝の花芽から出て集つてつく。花梗は無毛, 葉は楕円形, 細鋸齒縁, 短柄, 長さ | |
| | | 2~3cm.ヒトエノシジミバナ | |
| 2 | } | 花は新条の先端に円錐花序又は岐散花序をなす..... | 2 |
| | | 葉は長楕円形, 鋸齒縁, 柄の長さ1mm. 内外, 腋芽と共に白毛を布く, 花は円錐花序, 淡紅色 | ホザキシモツケ |
| | | 葉は楕円形, 重鋸齒縁, 下面帯白色, 葉柄は2~3mm. 花は頂生, 岐散花序, 多花, 白色又は淡紅色..... | コゴメシモツケ |

Spiraea microgyna Nakai in B. M. T. 29: 79 (1915)—45: 119 (1931)—Rep. Veg. Mt.

Chirisan 36 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 4: 15. t. 4 (1916).—Hatusima, Rep. 92 (1934).

コゴメシモツケ. 各所の林縁, 低木群, 疎林地等に生ずる落葉低木, 葉は互生, 短柄, 楕円形, 重鋸齒縁, 下面灰白色で脈上には褐色軟毛を疎生するか又はほとんど無毛。

採集地. 馬巖一天王峰, 上峰谷, 地藏堂附近, ウンボンモデミ, 臥雲, 徳洞。

分布. 朝鮮特産。

Spiraea prunifolia Sieb. et Zucc. forma ***simpliciflora*** Nakai, Fl. Kor. I: 171 (1909)—Ohwi, Fl. Jap. 624 (1953, 1959).

ヒトエノシジミバナ. 下部原野にまれに生ずる落葉低木, 全体無毛, 葉は互生, 楕円形, 細鋸齒縁, 短柄, 裏面淡綠色。

採集地. 九竜里一碧松寺, 浮雲峠, 雲峰。 分布. 朝, 中国。

Spiraea salicifolia L.—Nakai, Fl. Kor. I: 174 (1909)—Hulten, Fl. Kamt. III: 42 (1929)—Ohwi, Fl. Jap. 626 (1953, 1959).

ホザキシモツケ. 下部荒野に生ずる。

採集地. 雲峰, 高基里。 分布. 樺一本, 朝, 旧世界の亜寒帯一般。

Stephanandra Sieb. et Zucc. コゴメウツギ属

Stephanandra incisa Zabel.—Nakai, Fl. Kor. I: 170 (1909)—Fl. Sylv. Kor. 4: 27 (1916)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 36 (1915)—Hatusima, Rep. 93 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 623 (1953, 1959).

コゴメウツギ. 中腹以下の森林内に生ずる落葉低木。

採集地. 白武洞, 臥雲, 靈源寺, 地藏堂, 浮雲峠, 蓮洞越, 三丁里, 咸陽, 艾嶺。

分布. 北一九, 朝。

POMOIDEAE ナシ亜科

Malus Mill. リンゴ属

- 低木, 分岐多く葉は倒広披針形又は倒長卵形, 多くは欠刻がある。重鋸歯縁, 果梗は 4mm. 内外,
 果実は径 5mm.ズミ
 小高木又は低木, 葉は広楕円形, 楕円形等欠刻なく細鋸歯縁又は全縁, 果梗は 4~6mm. 果実は
 径 1cm. に達すエゾノコリンゴ

Malus baccata Borkh. var. *mandshurica* C. K. Schneid.—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan
 35 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 6: 39, t. II (1916)—Ohwi, Fl. Jap. 664 (1953, 1959).

エゾノコリンゴ. 各所特に上部峯通りに多く中腹以下では河岸の陽地に主として生ず。

採集地. 九竜里—碧松寺, 馬巖—天王峰, 登山道, 地藏堂—細石, 馬川—楸城里, ウンボンモデミ,
 五峰, 達宮, 般若峰, セコル山, 雲峰。

分布. 樺一本, 朝, 満, 中国, ウスリー。

Malus sieboldii Rehder—Hatusima, Rep. 94 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 665 (1953, 1959).

ズミ. コリンゴ. 下部陽地に生ずる落葉低木で刺枝がある。

採集地. 浮雲峠, 咸陽, 三峰山, 正嶺峠, 雲峰。 分布. 北一九, 朝。

Pourthiaea Decne. カマツカ属

Pourthiaea villosa Decne.—Ohwi, Fl. Jap. 667 (1953, 1959).

カマツカ. 下部林地に生ず。

採集地. 高基里, 臥雲谷。 分布. 北一九, 朝, 中国。

備考. 葉形や毛の多少には頗る変化多く葉柄の長さ 1cm. 位となり, 葉は楕円形或は倒卵形で先端
 は急に尖る形を var. *longipes* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 6: 29 (1916). ナガエカマツカと称し
 ているが, カマツカの一形に過ぎぬと思う。 採集地. 咸陽。

Pyrus L. ナシ属

- 1 { 低木, 葉は卵形又は円形, 長さ 6cm. 以下, 果実小, 球形, 径 1.5cm.マメナシ
 高木, 葉は卵形, 長卵形, 鋭頭, 鋭鋸歯縁, 長さ通例 8cm. 以上, 果実は径 2.5cm. 以上 2
 2 { 鋸歯端は腺状, 花梗は長さ 6cm. に達す, 果実は球形, 径 6cm.チャンバイー
 鋸歯端は腺状とならない 3
 3 { 鋸歯端はやや針状, 若枝, 若葉, 花梗等初め褐毛又は白毛密生, 果実は倒卵形, 径 3~4cm.
 コーシルネ
 鋸歯端は針状, 果実は球形又は卵形 4
 4 { 果実は球形, 径 3cm. 内外 ヤマナシ
 果実は卵形, 径 4~9cm. 美味 チョンシルネ

Pyrus calleryana Decne.—Nakai, Fl. Kor. I: 181(1909)—Fl. Sylv. Kor. 6: 55 t. 25(1916).

マメナシ. 下部陽地に生ずる落葉低木。

採集地. 浮雲里, 高基里, 浮雲峠, 白武洞, 雲峰, 馬川, 登九峠, 達宮。

分布. 本, 朝, 中国。

Pyrus macrostipes Nakai in B. M. T. 30: 28 (1916)—Fl. Sylv. Kor. 6: 52, t. 22 (1916)
 —Hatusima, Rep. 95 (1934).

チャンバイー. 栽培種である。

Pyrus maximowicziana Nakai, Fl. Sylv. Kor. 6: 50: t. 20 (1916)—Mori, E. P. C. 193 (1922).

コーシルネ. 栽培種, 落葉高木, 直径 80cm. に達するものがある。

採集地. 白武洞, 朝鮮中南部に栽培される。

Pyrus ovoidea Rehd.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 6: 48 t. 17(1916)—Mori, E. P. C. 193(1922).

チョンシルネ. 栽培種, 自生品あるとゆうが恐らく Escape であろう。

Pyrus pyrifolia Nakai in B. M. T. 40: 564 (1926)—Ohwi, Fl. Jap. 666 (1953, 1959).

ヤマナシ. 下部陽地に生ずる落葉高木。

採集地. 三丁里, 法華寺。 分布. 本一九, 朝, 中国。

Pyrus sp. (No. 16891)。

葉は卵形或は卵状楕円形, 浅鋸齒縁, 齒端は僅かに尖る。円脚又はやや心脚, 鋭頭, 葉柄は果梗より短或は同長, 或はやや長い。果梗は 2.5~2.8cm. 果実は球形, 径 1.5~1.8cm.

採集地. 白武洞 (16891)。

Sorbus L. ナナカマド属

{ 単葉, 卵形又は広卵形, 円脚, 楔脚, 又はやや心脚, 重鋸齒縁……………アズキナシ
羽状複葉, 小葉は重鋸齒縁又は単鋸齒縁, 有毛又は無毛……………ナナカマド

Sorbus alnifolia C. Koch—Hara in B. M. T. 49: 120(1935)—Ohwi, Fl. Jap. 669(1953, 1959).

アズキナシ. 多くは中腹以下の林地に生ず。

採集地. 地藏堂—細石, ウンボンモデミー—人參谷, 三峰山, 靈源寺, 艾嶺—馬巖, 碧松寺—艾嶺, 法華山, 咸陽。 分布. 北一九, 朝, 満, 中国, ウスリー。

備考. 夏秋の候尚上面脈上に白毛を生ずるものを中井博士は var. *hirtella* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 6: 26 (1916). シラゲアズキナシとしている。この形は碧松寺で採集した。

Sorbus commixta Hedl.—Nakai, Fl. Kor. II: 473 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 6: 23 (1916)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 36 (1915)—Hatusima, Rep. 96 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 668 (1953, 1959).

ナナカマド. 主として中腹以上の林地に多く下部には少い。

採集地. 上峰谷, 細石—碧宵嶺, 三峰山, 地藏堂附近, 般若峯, 楸城里。

分布. 樺一九, 朝。

備考. 葉に毛あるものを var. *pilosa* Nakai, Fl. Sylv. Kor. 6: 23 (1916). ウスゲナナカマドと云っている。ナナカマドにくらべて葉の表面に白微毛を散生し裏面にはやや多く褐毛を生ず, 個体としては表面や裏面には毛の非常に多いものや又冬芽に白毛を生ずるもの等がある。

採集地. 三峰山, 馬巖 (褐毛密生), 上峰谷, 細石—碧宵嶺。 分布. 朝鮮特産。

ROSOIDEAE バラ亜科

Agrimonia L. キンミズヒキ属

Agrimonia pilosa Ledeb.—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 34 (1915)—B. M. T. 47: 244 (1933)—Ohwi, Fl. Jap. 650 (1953, 1959).

キンミズヒキ. 各所の原野, 路傍, 林縁, 林内等に生ずる多年草で全体多毛である。

採集地. 三峰山, 地藏堂—天王峰, 雲峰, 屏峠, 五峰, 馬巖, 地藏堂—白武洞, 徳田, 上峰谷。

分布. 樺—琉, 朝, 満, 中国, ヨーロッパ, シベリア。

Duchesnea Smith. ヘビイチゴ属

{ 果実は不明瞭な小突起点 (多シワの如く見ゆ) を有す。花托は細毛疎生……………ヘビイチゴ
果実に小突起点なくおおむね平滑, 側小葉は更に 2 裂し植物体はやや大きい……………ヤブヘビイチゴ

Duchesnea indica Focke—Nakai, Fl. Kor. I: 191 (1909)—Hatusima, Rep. 97 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 628 (1953, 1959).

ヘビイチゴ. 下部路傍に生ずる多年生匍匐草。

採集地. 白武洞—馬川, 三丁里上, 地藏堂, 臥雲, 碧松寺, 咸陽。

分布. 北—台, 朝, 満, 中国, マレーシア, 印度各地。

Duchesnea major Makino in J. J. B. 2: 19 (1921)—Ohwi, Fl. Jap. 628 (1953, 1959).

ヤマヘビイチゴ. 下部路傍にまれに生ずる匍匐性多年草で果実は平滑である。

採集地. 山德里。 分布. 北—九, 朝。

Filipendula L. シモツケソウ属

Filipendula glaberrima Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 34 (1915)—Hatusima, Rep. 97 (1934).

シラクキソウ. チョウセンナツユキソウ. 中腹以上の草地, 森林内等に普通見られる多年草。

採集地. 細石—碧宵嶺, ウンボンモデミ, 地藏堂—白武洞, 中峰, 臥雲, 三丁里。

分布. 朝鮮特産。

備考. 葯が紅色でも花弁は皆白色である。又花の紅色なものは *Filipendula formosa* Nakai in Fedde, Rep. 13: 274 (1914)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 34 (1915)—Hatusima, Rep. 97 (1934).

ヒガノコソウ. と云っているが北面では遂に採集することが出来なかつた。

Geum L. ダイコンソウ属

Geum aleppicum Jacq.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 7: 14 (1918)—Hatusima, Rep. 97 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 636 (1953, 1959).

オオダイコンソウ. 中腹以下特に下部路傍に生ず。

採集地. 三峰山, 蛇谷, 月坪里, 九竜里—碧松寺, 扉峠, 徳洞, 達宮, 楸城里。

分布. 樺一本, 朝, 中国, シベリア, 小アジア, 東欧。

Potentilla L. キジムシロ属

- | | | | |
|---|---|---|-------------|
| 1 | { | 小葉は掌状5出, 時に3出のものを混ず, 匍枝を有す。…………… | オヘビイチゴ |
| | | 小葉は3或はそれ以上で羽状配列をなす…………… | 2 |
| 2 | { | 茎は花茎様で1~3個の小形葉を生ずるに過ぎない…………… | 3 |
| | | 茎はやや太く数個の葉を生じ花は多数…………… | 6 |
| 3 | { | 葉下面粉白色…………… | チョウセンイワキンバイ |
| | | 葉下面緑色又は白綿毛を布くために白色に見ゆ…………… | 4 |
| 4 | { | 小葉は5~7個, まれに9個, 匍枝はない…………… | キジムシロ |
| | | 小葉は3個, まれに5個のものを混ず…………… | 5 |
| 5 | { | 小葉は鋭頭又は鋭尖頭, 花は1~7個, 径15~20mm. 根茎は僅か肥厚, 匍枝は著しい…………… | ツルキンバイ |
| | | 小葉は鈍頭又は鋭頭, 花は少数乃至やや多数, 径10~15mm. 匍枝は短, 根茎は肥厚する…………… | ミツバツチグリ |
| 6 | { | 茎葉は3小葉から成る。托葉はなかば以上柄に合着する…………… | ミツモトソウ |
| | | 葉は羽状, 下面白綿毛密生, 茎葉の托葉は剪裂又は深い歯牙縁…………… | カワラサイコ |

Potentilla chinensis Ser.—Nakai, Fl. Kor. I: 193 (1909)—II: 479 (1911)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 35 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 14 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 633 (1953, 1959).

カワラサイコ. 中腹以下の河原, 原野等に生ずる多年草。

採集地. 三峰山, 九竜里—碧松寺, 山德里, 扉峠, 徳田, 雲峰, 楸城里, 咸陽。

分布. 本—台, 朝, 満, 中国, アムール。

Potentilla cryptotaeniae Maxim.—Nakai, Fl. Kor. I: 197 (1909)—II: 478 (1911)—Fl. Sylv. Kor. 7: 14 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 633 (1953, 1959).

ミツモトソウ。下部原野に生ずる多年草。

採集地。三峰山下部。 分布。北一九，朝，満，中国。

Potentilla dickinsii Fr. et Sav. var. *brevisetata* Nakai, Rep. Veg. Quelp. 52(1914)—B. M. T. 29: 31(1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 14(1918)—Mori, E. P. C. 199(1922)—Hatusima, Rep. 98(1934).

チョウセンイワキンバイ。中腹以上の岩石地に生ずる多年草。

採集地。三峰山，地藏堂—天王峰，楸城里，馬巖—天王峯，般若峯。

分布。朝鮮特産，種イワキンバイは北一九に分布す。

Potentilla fragarioides L. var. *major* Maxim.—Ohwi, Fl. Jap. 632 (1953, 1959).

キジムシロ。下部原野にまれに生ずる多年草。

採集地。三峰山，三丁里，白武洞，五峰，雲峰，セコル山。

分布。樺一九，朝，満，中国，印，シベリア。

備考。キジムシロの匍枝を出す形を var. *stolonifera* Maxim.—Nakai, Fl. Kor. I: 169 (1909)—Mak. et Nem., Fl. Jap. 482 (1931)—Hatusima, Rep. 98 (1934). ツルキジムシロと云う。

Potentilla freyniana Bornm.—Koidz., Consp. Rosac. Jap. 189 (1913)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 7: 14 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 633 (1953).

ミツバツチグリ。下部原野にまれに生ずる多年草。

採集地。セコル山，三丁里。 分布。北一九，朝，満，アムール。

Potentilla kleiniana Wight et Arnott—Nakai, Fl. Kor. I: 198 (1909)—Koidz., Consp. Rosac. Jap. 186 (1913)—Hatusima, Rep. 99 (1934)—Ohwi, Fl. Jap. 631 (1953, 1959).

オヘイイチゴ。下部路傍，草地等に生ずる多年草。

採集地。馬川—三丁里，白武洞—馬川，徳田，浮雲峠，咸陽。

分布。本一九，朝，満，中国，マレーシア，印。

Potentilla yokusaiana Makino in B. M. T. 24: 142 (1910)—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 35 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 15 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 633 (1953, 1959).

ツルキンバイ。上部尾根通りの原野又は疎林地にまれに生ずる多年草，葉はヘイイチゴに似ている。

採集地。細石—碧宵嶺。 分布。本一九，朝。

Rosa L. バラ属

1 { 茎は簇生し下方には刺を密生す。上部無毛，花は大きくて美しい……………オオタカネバラ

{ 茎に密刺なく鉤刺を散生す，帯緑色，花は白色，熟果の萼片はおちる……………2

2 { 花柱は有毛，枝はほう，小葉は円形又は広楕円形，花梗は無毛……………テリハノイバラ

{ 花柱は無毛，枝はややほうものを混ざるか或は斜上し又は直立す，花梗に腺毛がある……………3

3 { 花梗の腺毛は密生，枝の刺は少なく短，やや鉤状……………ツクシイバラ

{ 花梗の腺毛は密生又は散生，枝の刺は鉤状に曲る……………4

4 { 花梗の腺毛は多いか又は少ない，果実やや小，小葉は倒卵形，1~3cm……………ネバライバラ

{ 花梗の腺毛は少なく果実やや大，小葉は楕円形或は倒卵形，2~4cm……………ツルノイバラ

Rosa acicularis Lindl.—Hara in B. M. T. 49: 201 (1935)—Ohwi, Fl. Jap. 662 (1953).

オオタカネバラ。オオミヤマバラ。上部尾根通りの疎開地，疎林地，林縁等にまれに生ず。

採集地。地藏堂。 分布。樺一本，朝，シベリア，カムチャッカ，北米等。

Rosa maximowicziana Regel—Nakai in B. M. T. 30: 234 (1916)—Fl. Sylv. Kor. 7: 26. t. 3 (1918).

ツルノイバラ。下部畦畔路傍等に生ず。枝の刺は長く鉤状で花序の腺点は少なく花に良い香がある。葉の主軸には毛と腺毛とがある。

採集地. 三丁里, 達宮, 臥雲, 白武洞, 靈源寺, 馬川—白武洞。

分布. 朝, 満, ウスリー。

Rosa multiflora Thunb. var. **adenochaeta** Ohwi, Fl. Jap. 651 (1953, 1959).

ツクシイバラ. ツクシサクラバラ. 中腹以下の林縁, 路傍等に生ず。

採集地. 地藏堂—白武洞, 雲峰, 浮雲峠, 孔安里。 分布. 九, 朝。

var. **adenophora** (Fr. et Sav.)

ネバリイバラ. 下部路傍, 林縁等に生ずる落葉低木。

採集地. 水落. 浮雲峠, 咸陽, 伴仙洞。 分布. 北—九, 朝, 満, 中国。

Rosa wichuraiana Crep.—Koidz. in B. M. T. 37: 46 (1923)—Nakai in B. M. T. 40: 571 (1926)—Ohwi, Fl. Jap. 652 (1953).

テリハノイバラ. 下部陽地にまれに生ず。

採集地. 伴仙洞, 雲峰, 馬川。 分布. 本—台, 朝, 中国。

Rubus L. キイチゴ属

- | | |
|---|---|
| 1 | { 葉は単一, 3中裂, 側裂片は更に2中裂又は浅裂, 重鋸歯縁……………クマイチゴ
葉は3出又は羽状複葉……………2 |
| 2 | |
| 3 | { 葉は3出, 頂片は最大, 下面白毛密生……………3
葉は羽状複葉, 小葉は1~3対, 頂小葉最大……………4 |
| 4 | |
| 3 | { 匍匐性, 枝は灰白毛多く短腺毛が僅かにあるか又は無い。花枝は斜上又は直立, 萼筒に刺がある……………ナワシロイチゴ
直立又は斜上性, 枝は暗赤色の長腺毛を密生する……………ウラジロイチゴ |
| 4 | |
| 4 | { 直立又は斜上性, 小葉は1~2対, 枝に鈎刺散生, 白粉を被むる。花は新条の先端に散房又は複散房花序をなす……………トックリイチゴ
横臥斜上性, 小葉は3対内外, 枝の刺は小形, 真直, 多数, 花は新条の先端に1個宛つく。萼筒に刺が多い……………サナギイチゴ |
| | |

Rubus coreanus Miq.—Nakai, Fl. Kor. I: 188 (1909)—Rep. Veg. Chirisan 35 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 71. t. 29 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 645 (1953, 1959).

トックリイチゴ. 下部陽地にまれに生ず。

採集地. 九竜里—碧松寺, 臥雲, セコル山, 白武洞。 分布. 朝, 中国。

Rubus crataegifolius Bunge—Nakai, Fl. Kor. I: 187 (1909)—II: 475 (1911)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 36 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 57 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 640 (1953, 1959).

クマイチゴ. エゾクマイチゴ. 中腹以下の陽地に普通見られる落葉低木。

採集地. 臥雲, 白武洞, 山德里, 馬川。 分布. 北—九, 朝, 中国, 満, シベリア東部。

Rubus parvifolius L.—Koidz. in B. M. T. 40: 335 (1926)—Ohwi, Fl. Jap. 645 (1953, 1959).

ナワシロイチゴ. 下部路傍草地等に生ずる匍匐性低木。

採集地. 九竜里—碧松寺, 臥雲, 徳洞, 扉峠, 三丁里。 分布. 北—台, 朝, 満, 中国。

Rubus phoenicolasius Maxim.—Nakai, Fl. Kor. I: 189 (1909)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 36 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 70. t. 28 (1918)—Koidz., Consp. Rosac. Jap. 133 (1913)—Ohwi, Fl. Jap. 645 (1953, 1959).

ウラジロイチゴ. エビガライチゴ. 中腹の林縁にまれに生ず。

採集地. 上峰谷, 地藏堂—白武洞, 臥雲。 分布. 北—九, 朝, 中国。

Rubus pungens Camb. var. **oldhami** Maxim.—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 7: 67. t. 27 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 644 (1959).

サナギイチゴ. 下部陽地にまれに生ず。

採集地. 白武洞, 水落, 法華山。

分布. 本一九, 朝, 中国。

Sanguisorba L. ワレモコウ属

- 1 { 雄蕊はおおむね 6~12個, 花穂は長さ 4~10cm. 紫紅色でたれるカライトソウ
雄蕊は 4 個, 花穂は 2~7cm. 2
- 2 { 花序は楕円形又は倒卵状長楕円形, 直立, 長さ 1~2cm. 濃血色ワレモコウ
花序は長さ 2~7cm. 小葉は広線形又は狭長楕円形, 無柄か又は短柄がある。花は白又は
帯紅色ナガボノシロワレモコウ

Sanguisorba hakusanensis Makino in B. M. T. 21: 140 (1907)—Koidz., Consp. Rosac.

Jap. 218 (1913)—Nakai, Rep. Veg. Mt. Chirisan 36 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 7: 16 (1918)

—Ohwi, Fl. Jap. 649 (1953, 1959).

カライトソウ. トウチソウ. 上部の岩石の多い乾性草原に生ずる多年草。

採集地. 馬巖一天王峰, 地藏堂一天王峰, 般若峯。 分布. 本, 朝。

Sanguisorba officinalis L.—Nakai, Fl. Kor. I: 203 (1909)—II: 481 (1911)—Fl. Sylv.

Kor. 7: 16 (1918)—Koidz., C. R. J. 216 (1913)—Ohwi, Fl. Jap. 648 (1953, 1959).

ワレモコウ. 下部草地に生ずる多年草。

採集地. 浮雲里, 八郎峠, 法華山。 分布. 北一九, 朝, 満, 中国, シベリア, ヨーロッパ。

Sanguisorba tenuifolia Fisch. var. *alba* Trautv. et Mey.—Koidz., C. R. J. 219 (1913)—

Nakai, Fl. Sylv. Kor. 7: 16 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 648 (1953, 1959).

ナガボノシロワレモコウ. 下部の湿潤な草地又は水辺に生ずる多年草。

採集地. 浮雲峠, 八郎峠。

分布. 樺一琉, 朝, 満, 中国, シベリア東部, ダフリア, カムチャッカ。

var. *purpurea* Trautv. et Mey.—Koidz., C. R. J. 219 (1913)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 7:

16 (1918)—Ohwi, Fl. Jap. 648 (1953, 1959).

ナガボノアカワレモコウ. 花は帯血赤色。 採集地. 浮雲里, 八郎峠。 分布. 本一九, 朝。

AMYGDALOIDEAE サクラ亜科

Prunus L. サクラ属

- 1 { 花は総状花序, 白色, 密腺は葉身の基部の鋸歯端にあるエゾノウワミズザクラ
花は散房花序, 密腺は葉柄又は葉身の基部にある 2
- 2 { 花梗は葉柄より短かく, 長さ 1cm. 以内 3
花梗は葉柄より長い 4
- 3 { 葉は細く長楕円形, 花はモモ色モモ
葉は倒卵形又は広卵形, 花は淡紅色アンズ
- 4 { 葉は広倒披針形又は長楕円形, 鋭尖頭, 下面脈上は葉柄と共に毛があるエドヒガン
葉は楕円形, 無毛か又はやや有毛のものもある。樹皮は桜皮状, 暗紫紅色
.....チョウセンヤマザクラ

Prunus ansu Kom., Fl. Mansh. 2: 541 (1904)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 5: 41 (1916)—

Ohwi, Fl. Jap. 655 (1953, 1959).

アンズ. 人家に栽培されている落葉高木。

採集地. 白武洞。

分布. 中国北部原産, 各地に栽培される。

Prunus léveilleana Koehne—Nakai, Kōryō Sikenrin no Iappan 39 (1932)—Hatusima, Rep.

102 (1934).

チョウセンヤマザクラ. 各所の林地に生ずるも少ない。葉は楕円形又は倒卵楕円形，円脚，鋭尖頭，鋭鋸齒縁，花梗は無毛，葉柄は有毛又は無毛，若木では葉柄に細毛が密生するものがある。

採集地. 細石—碧宵嶺，地藏堂—白武洞，臥雲，人參谷，ウンボンモデミ，上峰谷，三峰山，般若峰，達宮，碧松寺，咸陽。 分布. 朝，中国。

Prunus padus L.—Nakai, Fl. Kor. I, 214 (1909)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 35 (1915)—Fl. Sylv. Kor. 5: 18 t. 3 (1916)—Koidz., C. R. J. 287 (1913)—Ohwi, Fl. Jap. 657 (1953, 1959).

エゾノウワミズザクラ. 中腹以上の森林内に生ずる全体無毛の落葉高木で葉柄は1cm. 内外，葉は楕円形，鋭頭，鋭脚又は楔状微心脚，細鋸齒縁。

採集地. 上峰谷，馬巖—天王峰，白武洞，ウンボンモデミ，細石，天王峰，般若峯。

分布. 樺—北，朝，旧世界北部一般。

Prunus persica Batsch.—Koidz., C. R. J. 253 (1913)—Nakai, Fl. Sylv. Kor. 5: 33. t. 19 (1916)—Ohwi, Fl. Jap. 655 (1959).

モモ. 栽培されているが，各所に Escape したのを見る。

採集地. 白武洞。 分布. 中国原産。

Prunus subhirtella Miq. var. **pendula** Tanaka forma **ascendens** Ohwi, Fl. Jap. 657 (1953, 1959).

エドヒガン. アズマヒガン. タチヒガン. 下部山地にまれに生ず。

採集地. 三丁里—馬川，碧松寺。 分布. 本—九，朝，中国。

LEGUMINOSAE マメ科

Albizzia Durazz. ネムノキ属

Albizzia julibrissin Durazz.—Nakai, Fl. Kor. I, 140 (1909)—Rep. Veg. Mt. Chirisan 36 (1915)—Ohwi, Fl. Jap. 672 (1953, 1959).

ネムノキ. 下部河岸の陽地に生ず。

採集地. 馬川，咸陽。 分布. 本—台，朝，南アジア一般。

Amphicarpaea Elliott. ヤブマメ属

Amphicarpaea edgeworthii Benth. var. **trisperma** Ohwi, Fl. Jap. 694 (1953, 1959).

ウスバヤブマメ. 下部路傍，原野等に生ずる多年生蔓草。ヤブマメに似て毛は伏臥し葉は薄い。

採集地. 浮雲峠，三峰山，三丁里，登九峠，八郎峠，斗地洞。

分布. 北—九，朝，満，ウスリー。

Astragalus L. ゲンゲ属

Astragalus membranaceus Fisch.—Nakai, Fl. Kor. I, 150 (1909)—II. 466 (1911)—M. Miura, F. M. E. M. L. 123 (1926).

キバナオオギ. 人家に栽培されている多年草で葉は羽状複葉，小葉は長楕円形，両面有毛。

採集地. 扉峠。 分布. 朝，満，ダフリア，オホツク。

Cassia L. カワラケツメイ属

Cassia nomame Honda—Nom. Pl. Jap. 170 (1939)—Ohwi, Fl. Jap. 673 (1953, 1959).

カワラケツメイ. 下部路傍，草地等に稀に生ずる1年草。

採集地. 水落，馬川—白武洞，雲峰，三丁里。 分布. 本—台，朝，満，中国。

Cercis L. ハナズオウ属